

5. 【新たな寺院経営手法（ネットワークと情報）】①

ナンバーをクリック！

【本格経営系】

- ★ 保育所、学童保育、老人ホーム、コミュニティーセンターを複合させた様な施設⇒[NO.83](#)
- ★ 仏像バー⇒[NO.189](#)
- ★ 美術館運営⇒[NO.175](#)
- ★ 温泉⇒[NO.125](#)
- ★ 寺カフェ⇒[NO.54](#), [NO.88](#), [NO.144](#), [NO.154](#)
- ★ 日曜日の朝に美しい音楽とコーヒーを提供⇒[NO.148](#), [NO.177](#)
- ★ 精進料理のレストラン⇒[NO.4](#), [NO.125](#), [NO.146](#)
- ★ 精進弁当の販売⇒[NO.179](#)
- ★ 朝の時間を利用して読書が出来る環境に（コーヒーを提供）⇒[NO.148](#)
- ★ お寺保育所（サポーターは地域の老人会）⇒[NO.122](#)
- ★ 寺院観光バス旅行⇒[NO.171](#)

【情報発信系】

- ★ ミニ FM 局⇒[NO.125](#)
- ★ 寺の新聞を発行する⇒[NO.189](#)
- ★ 案内板などを立ててお寺見学してもらう⇒[NO.81](#)
- ★ 他宗派への理解をアピールする⇒[NO.103](#)
- ★ 寺院にもとからある仏像等を丁寧に説明する看板⇒[NO.125](#)
- ★ 墓の説明会⇒[NO.34](#)
- ★ T 字路の突き当たりにお寺の活動を告知⇒[NO.201](#)
- ★ 布教師紹介のコーナー⇒[NO.104](#)
- ★ 既存の行事を PR する⇒[NO.140](#)

【情報技術系】

- ★ 現代日本社会の問題点について討論、HP で発表⇒[NO.163](#)
- ★ スマホ用お経アプリ開発及び配布⇒[NO.6](#)
- ★ お寺巡りマップをウェブサイトアップする⇒[NO.97](#)

5. 【新たな寺院経営手法（ネットワークと情報）】②

ナンバーをクリック！

【紹介所系】

- ★ 田舎移住のサポート⇒[NO.189](#)
- ★ ボランティアの紹介所⇒[NO.42](#), [NO.43](#)
- ★ 各種コミュニティのブリッジ役⇒[NO.118](#)
- ★ お寺紹介所⇒[NO.97](#)
- ★ 人数確保が必要な時に募集する⇒[NO.103](#)
- ★ ハローワークのお寺（雇用して農作物作り、薪作り、堆肥作りを指導）⇒[NO.146](#)

【寺院ネットワーク系】

- ★ 神社と協力⇒[NO.103](#)
- ★ お寺ネットワーク（様々な活動の情報を寺同士で共有する）⇒[NO.111](#)
- ★ 各寺院から代表を出して何かの大会⇒[NO.103](#)

【地域ネットワーク系】

- ★ 循環送迎バスを出す⇒[NO.189](#)
- ★ 既存の行事を派手にする（町内他宗の寺と組むなど）⇒[NO.103](#)
- ★ 地域の郵便局、農協、福祉関係の各種施設等を訪問する⇒[NO.11](#)
- ★ 無住の寺の寺宝や仏像の現状を地域で把握してもらう⇒[NO.178](#)
- ★ 既存の行事を町ぐるみにする⇒[NO.114](#)
- ★ デイケアサービスへの声かけ⇒[NO.15](#)
- ★ 地域通貨（寺やその周りだけで通じるもの）⇒[NO.38](#), [NO.114](#)
- ★ 子供110番に登録⇒[NO.180](#)

Let's try 腹式呼吸で健康になろう！！		21 才	男性
NO.1	P1	修行	
			⇒ジャンルへ

活性化テーマ『Let's Try 腹式呼吸で健康になろう!!』

1 はじめに

私は小学生の時に日蓮上人様の読経を聴き、心の込められた美しい発声による読経に感動を受け、今でも心に強く残っております。

当時私は「どうして、こんなに響きのある声を出すことができるのですか。」と上人様に質問をしました。そのとき上人様は「日頃から、腹式呼吸といって、お腹を使って声を出すように訓練しているからですよ。また腹式呼吸というのは、読経だけに必要なのではなく、心と身体のバランスをとるのにも非常に効果的な役割を担っているんですよ。」と丁寧に教えていただきました。

そこで私は今回の「お寺の活性アイデア募集」として、お寺の和尚様と共に『腹式呼吸を学び、皆で読経し、心身共に健康になることができたらとても素晴らしいことではないか』と思い、『Let's Try 腹式呼吸で健康になろう!!』という活性化テーマを設けようと強く決意致しました。

2 活動に対する思いと概要

近年、自殺による死亡者が全国的に増加し、深刻な社会問題となっています。日本では、毎年3万人以上が自らの命を絶っており、その自殺率は世界の中でも高い水準にあります。自殺の背景には、「健康問題」「失業」「多重債務」「家庭問題」などさまざまな問題が影響し、「うつ病など」の心の病気を引き起こして自殺に追い込まれるケースが非常に多く見受けられます。

うつ病は「心の風邪」とも表現されることがあります。心が疲れてしまったとき、一人で悩みごとを抱え込むのではなく、家族や友人、他者と互いに支え合い、心の休憩場所を確立することができれば、少しずつではありますが、自殺や心の悩みを抱える人も減少していくのではないのでしょうか。そこで、心身共にリラックスし緊張をほぐすための手段として「腹式呼吸の活用」は非常に有効な手段であると私は考えています。

寺コミュニティアラルト		60才	女性
NO.4	P1	修行／会場提供／展示会／相談窓口／本格経営／境内・伽藍の開放	
			⇒ジャンルへ

N01

① 名称 寺コミュニティーアラルト
お寺を舞台にしたア行イ

・地域の老若男女が集い
明るく元気を 所にたれるように。

1. 寺古屋 (子供館)
2. 早稲が出来る (大人の精神修業)
座禅
3. 図書館 (寺とはほど理解できる本や
地域から本を集めておける
音読したり、借りしめたりする)
4. レストラン 精進料理を格安で集める
5. ショップ (早稲はいてる商売をやる
その地域の特産品)
6. シアター (地域の祭り
郷土芸能など
がやられる
地域の人が発案する時も利用する)

N02

7. 宿 坊 (格安で宿泊できる)

8. 悩み相談 (格年々の悩みを
主眼か聞かせる)

9. 料理教室 (ヘルシー精進料理
を作る)

10. お寺のボランピア
施のせいで、お寺を維持する
のに必要は作業の負担を減らす。

11. 焚き火、お風呂、お茶の場所
寺の格式を壊さず、地域に
開きを開き、古くから、寺
がねは、作ってきた
開放的な いかに場
にしたいと思う。

スマートフォン用お経アプリの開発と配布			62 才	男性
NO.6	P1	情報技術		
				⇒ジャンルへ

いまや携帯電話におけるスマートフォンの占有率はうなぎ登りの勢いです。
やがては全ての携帯電話がスマートフォンになるかも知れないとも噂されるほどの普及具合です。

そこで、宗門からスマートフォン用に、法華経のお経本アプリを開発・配布をしていただければ、誰もが手軽にいつでも何処でも法華経拝読が可能となり、広く多くの人に便宜をもたらすと考えました。

電子書籍のお経本版といえるでしょうか。

意識しなくとも、スマートフォンさえ持っていれば自動的にお経本を常に携えていることになります。

お経本を持ち歩かなくても済むし、寺院も参詣者用のお経本を用意しなくてもよくなります。とくに初心者や未信徒には、紙製のものより取っ付きが良いと思われます。

音声機能(オン・オフ、スイッチ付)があれば、読経練習にも便利に使えます。

さらに使い方も工夫次第で広い展開が考えられます。

例えば、通勤電車の中でも不自然なく活用できるかもしれません。

このアプリの性格上、無料配布が望ましいと思います。

なにより、みんなが液晶画面を指先でツーツーしながらお経のページをめくる姿を想像するだけでも楽しくなってきます。

お寺は NPO の元祖である		62 才	男性
NO.11	P1	地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

「お寺は NPO (非営利組織) の元祖である」

1. 一般社会では、仕事はいい人の所に集まる傾向があります。
2. お寺の住職さんは、地域の郵便局、農協、福祉関係の各種施設等を時々訪問しよう。
3. 必要を感じたら、介護の資格をとろう。
4. 「お寺と TPP」について考えてみよう。
5. 要するに住職(行者)が変われば、寺をとりまき環境も変わると思っています。

お寺と地域のこれあい はとても大切で長くつづくような
イベント的な人があつることが望ましい。
早めのお知らせ 計画(報告・連絡・相談)安全管理
得意面 きちりと一定のルールをつくり お寺におとづれる人々に
「知らなかった」と言われることのないように気を付ける
いつかしてコミニケーション 人々とのあつたと書いて人々に
と読めか 本當にむつかしいが失敗をおそれず積極的にアイデアを
必ず全部 拾っていく。決して否定はしない。一ツカバイン様の説きと
受けとめ 以外なところからヒントをつかみ 大きな楽しい展開へと
導くことがでさる。その時の場の状態に応じて ことさし
展開が 出ぬ。

- 1 地産招集 私の田舎でお長アイデアで地域の地場産名物
限定品 等の名店をつくり かなり うるおたらしい。
- 2 フリーマーケット いなくなつた 衣服 食器 バッグ 花かん
絵画 楽器 大工道具 等おもに楽しい。
- 3 大軒カーのPR会 宣伝も悪くないと思う。相対決金の如く 人々に試験
等 せねなく 差上げるサービス付きも楽しい。空間づくり
- 4 ライブ・コンサート 若者連のおつまりの場として ときめかた
もりわがるのも 世代交代としては良いもの
- 5 シミ絵、R.H. 展覧 古々長きものの発表会 雨天決行という条件を
望ましい。
- 6 お笑い大会 売れない漫才師連による お笑い大会。
あるいは吉本工業に 無料で場所をお貸した
という ことで 未来のスターが生まれることを祈る。
- 7 お食事会 真夏のやわらか流し 真冬のおでん ラどん
地元農家の人々の食材の持ち寄りで もと一流の板前
フックさん連による ボランティアで 場をもちあげる
- 8 カラオケ大会 月に1〜2回 野外で思いっきり 年輩者中心に
おまつり パーティ気分での のりのり。
- 9 ガーデニングクラブ 花の好きな人々がグループをつくり お寺内の花づくり
なるべくお金を使わず 梅わけ さし木 種 等 持ち
お寺を好きな花で キレイにする。

ウォーキングコース 年輩の方々、中高年者によくお見かけするのだから
公園等でのウォーキング、お寺でも安全なバリアフリー
をつくり、途中で休けいできるベンチ、木陰、足湯
等を つくって おさいせん箱も必ず設置する
ちょっと変えたら おもしろい。アイデアではウォーキング
の安全な道が できるのなら スタンプ台、スタンプ
をつくり、何日一回上なら、〇〇賞とかお寺様
からの ごほうび なんていうのも、おばちゃん
達の 楽しみ の ひとつ になる かもしれない。

1/ 地元でのダイカサービス 私の親も高期高齢者で認知、足腰の悪くなるのを
への お声かけ おくらせるわのり/ビツリに かはわせて...るか)
お寺で 車いす用のトイレ が おて花とか外観の
美しい所が あるのなら ダイカサービス等の
所へも どんどん おまかけ下さい。 の お声も
かけてほしい。戦争を知っている人達、ものが
なかな悪条件のなかを生きぬいた我々の人生の
大先輩達を、ウェルカム精神で おもてなしを
してあげてほしい。高齢者の親を持つ娘として切なる
願いである。

2 園児達の園庭 葉っぱの落ちる頃、落ち葉を園児に拾って
もらって、その葉っぱで、焼きたもづくりをする。
子供達の 手づくりの おもいでづくりができる。

老若男女 向いず、みんなが気持ちよく お寺でつくる おもいでづくり
人とおのあつたを つなぐ、人向らしい心を育つための
これからの場として、お寺さんにも、仏教用語で悟るための
教室も、必要性は十分あるか。庶民のみんなが楽しく
あつまる努力、一セカが仏様の縁によってあつまる
どんな様も、おなちよ下さ... という、手づくりのぬくもりは
まず最初に、お寺さんの仏心からスタートしてほしいと思う。

親子おやつ寺子屋 お寺で学ぶ「お葬式、お墓の事」		55 才	男性
NO.34	P1	セレモニー／情報発信	
			⇒ジャンルへ

親子おやつ寺子屋

お寺で作って、食べて、遊んじゃおう

【要旨】

近年における経済状況の悪化による時間にゆとりのない保護者の増加、働く母親の増加や核家族化によって祖父母などからによる食文化の継承不足などなど、将来の日本、世界を担う子供たちにとって必要な食育の現状における環境には大変厳しいものがあります。

これらの要因を背景に 2005 年に制定された食育基本法により、子供たちの食の充実を図るための取り組みが多方面において活発に行われてきておりますが、広く仏教界、また身近なお寺における食育活動はいかがでしょうか。

食育基本法でうたわれている‘感謝の念と理解’の求めるものは‘いのちに合掌’の精神と根を同じくするものと思います。

おやつ作りを通じ、地域に暮らす親子のコミュニケーションを育み、おじいちゃん・おばあちゃんの生活の知恵を学ぶ事やふれ合いを通じた‘絆’を感じ取り子供たちのこころの活性化及び地域の活性化を図りたいと考え表記の提案をいたします。

【概要】

- 1、料理やおやつ作りの腕前に自信のある、または評判の檀家さんや地域の住人による‘おやつ作り’の指導。(順番制で担当)
- 2、対象は親子、家族で参加できる方。もちろん子供だけでも良い。
- 3、会費制とし 1 回千円以下が望ましい。
- 4、回によっては家庭での手作りおやつ持参でみんなで食べる事も。
- 5、お寺さんには場所の提供（台所と食事の場）ならびに食に関する法話をお願いします。

お寺で学ぶ「お葬式、お墓の事」

【要旨】

2006 年に 108 万人、2040 年には 166 万人に達するという多死社会（国立社会保障・人口問題研究所推計値）を前に、社会全体での問題としてよりも、個人としての死の問題は自分自身の安心及び残された家族に対する切実な将来の不安要素であります。

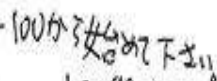
しかしながらお葬式やお墓のことは、分からない事だらけでその時にしなければ専門家に聞かないものと思われます。

また専門家に聞くとと言っても商売優先の葬儀社や石屋さんに聞く事くらいしか出来ません。お寺さんに直接聞く事はなかなか無いのではないのでしょうか。

そこで、お寺さんがお葬式の意味や葬儀の手順、手続きを教える勉強会を行ってはいかがでしょうか。またお墓の説明会も望まれるものと思います。

入で、使い道も方法も
23あります。

24



1~99までは

● 二つの174472072.00

[illegible]

(15)

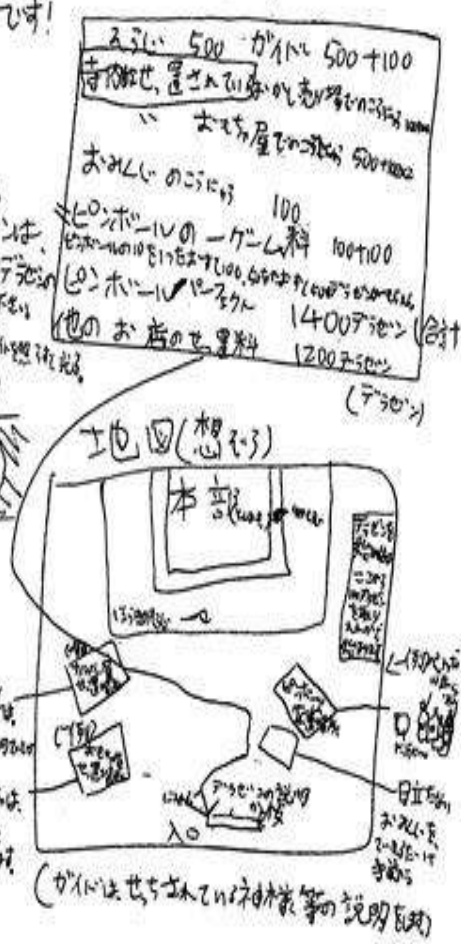
これでお寺を

このようにして作らる

そしてまた、勝利に導かれ

亦之封!

みほうさん かしこいね

$$= 22.76$$


地域コミュニティの中心に		40 才	女性
NO.42	P1	同じ趣味の会／置場提供	
			⇒ジャンルへ

私は、パート勤めの主婦ですが2人の子供がまだ赤ちゃんの時期は、家で子育てをしていました。毎日家の中にいると、大人も子供も退屈になる時間があります。そんな時、ちょっと出かける所があるといいのになと いつも思っていました。近所のお寺だったら、散歩ついでに出かけるのにちょうどいいと思い、アイデアを募集させて頂きました。

毎日お寺で住職が読むお経を聞き、その後は住職さんがその日のニュースについて話したり、皆で話合ったりするのもいいと思いました。

また、衣類や不要になった道具などをリサイクルできる拠点になると、エコにつながり活気的だと思います。お寺に集まる人達が、匿名でまだリサイクルできる物をお寺に知らせ、それを希望する人が現れたら当人同士で引き渡しをするなど、工夫して活用できるといいです。ホームページを利用すると、近くのお寺とも情報交換ができて更に利用しやすいと思います。

他にも、東北からボランティアの募集や農業の手伝いやアルバイトなどを載せると、お寺からの紹介という事で安心して参加でき、ニートや引きこもりの人の手助けになると思います。

日中家にいますとピンポンと女性が訪問してきて、悩み事などありませんか？と何かの集まりの誘いをしてきます。私は、姉や友人に何でも相談できるので、他人に話さなくても大丈夫ですが、そうでない環境の人は、どこかに居場所を見つけようと一生懸命なのかなと思うと、寂しくなります。毎日誰か勧誘しないといけないくらいなら、お寺でお経を聞いて自分でも読んでみたりして、心を落ち着かせていたほうが癒されます。

私の案ですが、理想ばかり書かせてもらいました。でも、実現すると素敵だと思います。宜しくお願いいたします。

ミステリーボランティア		62才	女性
NO.43	P1	紹介所系	
			⇒ジャンルへ

ミステリーボランティア

地域のさまざまな活動を体験し、自分にあったボランティアをみつけよう！

学生たちへのボランティア活動の奨励、団塊世代の定年にともなう多くのゆとり時間など、地域には社会貢献をしたい人々が溢れています。しかしながら、どのような活動をしたよいか見つけられないため、多くの能力が日常生活で眠ったままです。

地域行政も障害者・老人・子供・教育・医療と縦割りで、単一の活動を募集しますが、実際個人がすぐ係わりを持つには、現況が解らない、自分にできるか?など、心理的なハードルが高いようです。

私の友人にこんなことがありました。一流企業を定年退職した女性で、これからは社会の役にたちたいと、すぐ区のボランティアに参加しましたが、そのやり方や集まっている人々と合わないなど、自分はボランティアに向いていないのではと挫折したそうです。私は長年の経験上、“自分にふさわしい活動”が必ずあるとさまざまな例を提案しました。いまでは責任感をもち、活き活きとボランティアを楽しんでいます。

今回は、お寺の地域力をいかして、このようなミスマッチを解消するアイデアを考えてみました。

1、まず「OO委員会」を立ち上げます。代表は地元で信頼を集める方がよいでしょう。

一般の人々が参加しやすいように政治色・宗教色がでないように、お寺は場所を貸すぐらいのイメージで。

2、地元でお手伝いを必要としている団体を調査します。

*老人介護施設 *児童養護施設 *各種作業所 *学童保育 *病院 *学校 *市民学校・大学 *行政 *社会福祉協議会 *一般のボランティアグループ *各種行事開催など、沢山あります。単に体力の奉仕ではなく、知力を必要とされるケースもあります。

3、1年間を通して、定期的（2ヶ月に1回とか）に“違うボランティア活動”に参加できるようなプログラムを作成する。

1回ではわかりにくい活動は2回続けることも必要でしょうが、違う体験を提供することが目的です。

例えば、お寺に集合し現地に参加、帰りはお寺で本日のミーティング、次回の告知。その時点で本日のボランティアを続けたい希望者には、相手施設に紹介し、お互いにコンタクトをとる。その後、このプログラムにもどることも可能です。

ポイントは意見交換ができる定例会とすることです。仲間づくりをめざします。この年間プログラムで、自分にふさわしい場所を見つけた人は、そこの団体に直接登録して活動を開始します。定例会への参加も継続してもらいましょう。数年たてば、参加者のなかから役員を選び、団体施設の開拓や参加者募集を担当してもらい、組織化することもできます。

ミステリーボランティア		62 才	女性
NO.43	P2	紹介所系	
			⇒ジャンルへ

4、個人に限らず、団体での参加登録も受付けます。

*学校のボランティア部 *ボランティアグループ（グループはあるが、どのような活動をしたらよいか探しているケースが多くある） *趣味グループ
*会社関連グループ（外国人に日本語を教えるなど）

一般的な告知は、区報など信頼性がある公共誌がよいでしょう。地元の商店、図書館、区役所、公共の施設などに、趣旨を説明し、チラシを置いてもらいます。特に若者の参加は力になります。ホームページを作成し募集しましょう。

5、基礎をつくるまでには時間がかかりますが、定期開催を続ければ、団体施設や参加もパターン化でき、またクチコミで拡がり（A 施設が関連の B 施設を紹介）作業は次第に楽になります。

現在のボランティア組織は、内部で固まり、他との関係をはかる方法を知らないため、機能が硬直化しているケースが多く見受けられます。その現況に横の繋がりをもたせる効果を期待したいと考えます。

6、これを機会に地元のさまざまな分野と、定期的にコンタクトがとれるようになり、お寺も地域の一員である姿勢が解ってもらえると幸いです。

地元で安心して楽しみながらイイ死にかたができるために		不明	不明
NO.54	P1	本格経営	
			⇒ジャンルへ

これから日本は2035年に向けて超高齢化社会に突入していきます。現状において病院、施設、在宅において所謂要介護認定を受けられて様々な場面でサービスを利用して生活をされています。ただ、その中に精神的問題、家族間の問題、当然独居の問題などなどの理由で外出したい気持ちはあるのに上手く外出出来ない。とゆうようなケースが、この先のものすごく増えると思っています。そこでコンビニの倍近い件数を抱えているお寺が動けば、まずその方々の外出機会が増えます。そのお寺での人との交流によってネットワークが生まれます。当然、口コミでお寺の評価が地域内に広がります【広告&宣伝費にお金をかけなくても良いということになります】次にそのネットワークの方々が亡くなった時、お願いされる。寄付も入る。とゆう流れとなる。

じゃあその流れをどう作るか？

それはズバリカフェです。地域の人達が気軽に集まれる場所をまず作る。そのカフェに強い営利性はなくてもむしろ茶道を楽しむ。お寺にいけば、お茶&お菓子が食べられる【当然有料です。】全国でお菓子等 サービスにかんするコンテストをやっけていき機関情報誌に載せれば、さらにお金をかけずに人をあつめることが可能になってきます。

『家族が年をとり、介護の手間がかかるようになるのは当然』『家族が世話をするのは当然』『嫁が世話をするのは当然』という考えと、『年寄りはお座敷でじっとしているもの』『年をとったのだから寝ているものだ』という考えで、お年寄りが自宅で寝たきりになっていても、それはこれまでの家族の歴史の中では、特におかしいことではないと据えられる感覚は根強く存在している。また、そう簡単にその考えを変えることはできない。しかし、その中には、介護者の負担への配慮、療養者のよくなりたという気持ちや障害があっても何かやりたいと思う気持ちの尊重は、押し隠されてしまっている。 そういった表面的には見えない、奥深い部分を紐解いて、オープンにしみんなを笑顔に導ける存在は？と考えた時、人は誰かに頼りたく&相談したい。その受け口として 先生と言われるような存在の人であり場所が必ず拠り所として必要になる。 　　そうゆう位置付けの場所としての【寺カフェ(コンビニ)全国展開】を提案した

と思います。

病院ではえられない心のゆとり。病院ではえられない地域住民の方々との笑顔&助け合いの輪。ドクターからはえられない精神的負担の軽減。 などなど 各地のお寺の和尚さん達が、たちあがってくれたら自殺者や孤独死減など色々な意味で日本は平和の方向性に少しずつでもむかえるんじゃないかな？と思います。

お寺は、病院の後、最後にお世話になる場所ではなく、病院に通う必要もない元気な時から集まれるコミュニティになっておくことが、地域住民の為にもお寺が生き残るためにも必要と思います。

いまこそ出番だ！ お寺！ = 難しいこと抜きに 立ち上げろ！ みんな笑顔のために

お寺見学 数珠作りの会		28 才	女性
NO.81	P1	同じ趣味の会／情報発信	
			⇒ジャンルへ

私から寺を見たとき思い浮かぶ事は、
お墓参りと初詣以外には行かず、
祖母の家に届く日蓮宗新聞をまれに見るくらいでした。

このお寺の活用アイデア募集のポスターを
見たときに私のような人がよりお寺について知る事が出来る
方法があれば良いと思いました。
その「軸」をもとに以下を考えました。

(1)お寺見学

今工場見学や施設の見学は若者から親子を中心に人気のある娯楽です。
本屋には、工場見学のガイドブックが並んだり、
夕方のニュースでも特集が組まれるほど定着しつつあります。

いつも見ている商品の作られる工程が分かり、
工場の人も分かり商品が身近に感じられる事が人気のある理由だと思います。

そこでお寺見学をしてみてもいいかなと思います。

- ・日蓮宗についてやご本尊や施設の案内
- ・よりよいお祈りやお経の唱え方
- ・お彼岸やお盆、お墓参りなど季節の行事の意味や正しい方法

土日などに開催し、カップルや親子などあまり宗教になじみのない人に
気軽に来ていただく事が目的です。
見学をしてお坊さんと顔なじみになって頂く事で
突然の不幸や相談がある時などに来ていただきたいと思います。

(2)数珠作りの会

私は数珠を持っていません。
相場もよくわからず、デザインも出来ればいいもので
長く使えるものがあれば買いたいと思うのですが
なかなか良い機会もないです。
そこで、数珠を作る会があればよいと思います。
手作りであれば愛着が湧きますし、
自分の分が出来れば家族や友達にもプレゼントする事が出来ます。

来場者全員に制作キットを買っていただき、
お坊さんが先生になり、制作します。

いつでも身近に 赤ちゃん～爺ちゃん婆ちゃんまで安堵感を		35 才	男性
NO.83	P1	土地を貸す／本格経営	
			⇒ジャンルへ

近年は、専門に特化するという建前の基、何もかもが細分化されてしまい、結果、横の繋がりが無くなってしまったような感があります。代表的な言葉として、省庁を指す時などに用いられる「縦割り」という言葉が物の見事に現状を言い表してくれています。

縦割りの全てが悪いわけでは無いけれど、右手のやっていることを左手が知らない、(又はその逆)では困ります。

昔は寺社仏閣が町村の中心にあり、そこにはある種の威厳も備わっておりました。現代では町も街へ移り、あらゆる点で巨大化し、また五感を襲う周囲からの刺激が強烈になり、と同時に寺社仏閣も威厳を失ってしまいました。そのため、心の拠り所が無くなった現代では「キレる」という言葉が免罪符の用に扱われ、混沌の様を呈しています。

現代で寺社仏閣が昔のような威厳を取り戻すことは、おそらく不可能です。だとすればそれにかわる何かを提供することが必須になってくると思われます。

何故人は、京都奈良を初めとして、観光で寺社仏閣をこれほどまでに訪れるのでしょうか？それが、信仰心からでないことは明白です。では何がそれほどまでに人々の心を惹きつけるのでしょうか？

昔の建物に興味がある？

庭園の美しさ？

それらも勿論考えられますが、根底にあるものは「安堵感」与えている事だと私は思います。

では、現代でどのようにしたら安堵感を人々に与えられるのでしょうか？

私が考えていることは、寺社仏閣の敷地を利用し、保育所、学童保育、コミュニティーセンター、更には老人ホームを複合的に混在させたような場所を提供してはいかがでしょうか？

現代では共働きが主流になり子育てに多くの時間を割けないこともしばしばです。そこで、地域のお年寄りに活躍してもらうとともに、学童の年長の子供が世話をすることで、世代間のコミュニケーションが図れ、子供は目上の者を敬うという気持ちが芽生えてくるでしょうし、共働きの両親は地域に感謝をすることにも繋がるでしょう。逆に、お年寄りは、子供と接することで、地域とのつながりを再確認することもできますので、現代にありがちな孤独死なども少なくなると考えられます。

小さなお寺では寺同士が協力して役割分担をし、連携を模索することもできるでしょう。

お寺が地域との関わりを積極的に持とうとすることで、「安堵感」を与えるようになり、それが、有名な寺社仏閣だけではなく、地域のお寺も人を呼び込めるようになると思われます。

それらを再構築することによってお寺も活性化していくのではないのでしょうか？幸いにもコンビニエンスストアよりも数多くのお寺が日本にはあるとのことなので、日本全国、どこに行っても変わらないコミュニティーが存在するということを提供することが出来れば、自然と活性化につながります。

それぞれが独自に行っても良いのですが、宗派を超えて連携しては如何でしょうか？アイディアを求めるだけでなく、自分たちも努力することは必要ではないのでしょうか？

お寺活用についてのご提案		43 才	女性
NO.88	P1	境内・伽藍の開放／本格経営	
			⇒ジャンルへ

長屋のような寺子屋のような

- ・ 国籍・性別・年齢を問わない、地域密着型”寄り合い所”

＜活用例＞

- ✓ 子連れやお年寄りが気兼ねなく立ち寄れるカフェ
 - 実例：あかぎカフェ(新宿区神楽坂 赤城神社内)
 - ☞ 年齢・国籍を問わず、スタッフを募集し、店内外での『交流』の場を実現
- ✓ 子どもとお年寄りの交流の場(各教室ごとに参加費を決定)
 - お年寄りや定年退職者による寺子屋風の放課後スクール(宿題のお手伝いやかんたんな工作などを楽しむ『学び』の場)
 - 未就学児や学童を対象とした、昔懐かしい遊びを体験する『育み』の場
 - ・ お手玉、すごろく、かるた、百人一首、駒回し、メンコなど、これからの世代に伝えていきたい遊びを伝える場
 - ☞ 地域在住のお年寄り・定年退職者からスタッフを募集し、『交流』の場を実現
- ✓ イベント(参加費はできるかぎり無料に対応)
 - 落語、地元の小中高や演奏家たちによる演奏会などを楽しむ場
 - ☞ 地域在住、都内、近隣県から有志を募り、『交流』の場を実現

実現するに当たり。。。.

- ・ 必要機材・物資の確保
 - 地元で調達できるかを確認 (区役所等の助力が得られるとよい)
- ・ 地元の人材の確保
 - 地域在住のお年寄りや定年退職者を募集 (区役所等の助力が得られるとよい)
- ・ 有志の確保
 - 地元・都内・近隣県で、現役・退職問わず募集 (区役所等の助力が得られるとよい)

お寺活用についてのご提案		43 才	女性
NO.88	P2	境内・伽藍の開放／本格経営	
			⇒ジャンルへ

その後の展開として。。。

- ・ 子育てママ世代、お年寄り、定年退職者が気軽に利用できる”交流の場”を目指して

＜活用例＞

- ✓ 教室の開催(週/月単位での開催による短期・中長期)
(各教室ごとに参加費を決定)

- 料理教室、パン教室などの『ものづくり』の場
- ヨガ、ピラティス、フラダンスなどの『体を動かす』場
- ネイルアート、アロマテラピーなどの世代を超えた『交流』の場
- 書道、陶芸、パソコン、外国語(主に英会話)などの『文科系活動』の場

＜実現に向けて＞

講師の確保

- 地元・都内で、現役・退職問わず募集 (区役所等の助力が得られるとよい)

保育士・ヘルパーの確保

- 地元で、保育経験者(退職)を募集 (区役所等の助力が得られるとよい)

地域への還元

- ・ 参加費の一部を地域活動のために寄付
- ・ イベント有志への謝礼(金額はその都度検討)

キャラクター大作戦～全国に広がる笑顔の輪			53 才	男性
NO.97	P1	情報技術／紹介所		
				⇒ジャンルへ

日蓮さまに関する資料は、たくさんございますが、私たち地域に住む身近なお寺のは情報はなかなか入ってきません。

いつ頃できてどんな方がこの地に建てられたのか？

と、若い人たちはもちろんの事、私たちでも把握できてないのが現状です。

まずは、自分がお世話になっているお寺の歴史を知りたいと思い、各お寺のお話をわかりやすく絵本や漫画で紹介してみてもどうでしょうか？

先々ではPCや携帯でも見れるようにして、お寺のキャラクターを日曜学校や檀家さんに募集をかけ

キャラクターを活用する事で、お寺もさらに身近なものと感じるのではないのでしょうか。

キャラクターを使ったらいろんなグッズもでき、キャラクターを見て「あっ、〇〇寺の車だ！」とか子供からお年寄りまで気づいてくれて

お寺での催しなどの告知のポスターやチラシなどにもフルに使用し定着させます。

各地でキャラクターが増えてきたら、日蓮宗お寺巡りの旅(仮称)として各キャラクターが紹介するマップ図を制作したらどうでしょうか？

今まで知られていなかった素晴らしいお寺の紹介もでき、歴史もわかります(ウェブ上でもアップ)。

ひとつにまとめるのは無理があると思いますので、九州編とか四国編などと分けてわかりやすく作ります。

また、近くのお寺が集まって合同で催しをする時などキャラクターがいるだけで、楽しくなると思います。

他のお寺のキャラクターに会って、そのお寺の歴史もわかり日蓮さまの教えが、さらに深まるのではないのでしょうか。

今の時代は何でも流れが早く飽きるのも早いです。

しかし、仏さまの教えは無くしてはなりません、私も三歳になる孫がいます。

このコたちにも残していけるような愛され親しまれるキャラクターを作ってみてはどうでしょうか。

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

地域社会のためのお寺の活用アイデア

地域から個人へ 地域から世界へ 「活性化」

お寺は地元の長老

町のリクリエーションセンター

町の情報網

町のなんでも屋！

過去と現在と未来、
人と地域と世界を
つなげる役割の場所

はじめに

日蓮宗のホームページを拝見し、立派で分かりやすく、うまくできていると思いました
何も知らない私は、いろいろあるんだなああと勉強になり、また興味も湧きました
しかし、地域の段階に行くと、私達一般の人間は、まったくなにも知りません。
普段の生活では、まず日蓮宗のホームページを見ようとは思わないと思います
お寺の前を通りかかっても、なぜか閉鎖的なイメージで、自分には関係のない場所と
いった感じです。

でも、おもむきは立派で素敵な建造物だなあと、惚れ惚れしながら前を通ります。
ホームページ内のリンクされている地域のお寺のページに行くと、残念ながら、分か
りにくいです。

ほとんどがマップでしたし。まだまだこれからなんだろうな、やはり年配の方が多く、
やりにくいんだろうなと思いました。

2年前に母を亡くした時に、初めてお寺やお坊さんと接して、改めて日本の風習や仏
教の人を思いやった気持ちに触れた気がします。

そこで何も知らない私が思ったことを簡単に箇条書きにしてみました。

この募集のことを知るのが遅れてしまい、あわてての応募になってしまい、申し訳ご
ざいません。

もし、分かりにくい箇所、説明不足の箇所があればお気軽に質問していただいて結構
です。

乱筆乱文をお許してください。

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

お寺の弱み

お寺のことを知られてない

お寺とこんなことやりたいと考えたときに、「お寺って何ができるの?」「お寺ってどういうところ」などまったくお寺について知らない。でもこれって一般的な意見だと思う。全国にあるのに身近に感じたことがない。。
昔からあるもの、お墓のあるところ、ご先祖様や亡くなった人々を供養してくれるところ
宗教的なところ、
どちらかと言えば、あまり行きたいと思うような場所ではない。

お寺のイメージ

実際、イメージが暗い
お金がかかるイメージ
坊さん来てもらったら、結構なお金をあげないといけないイメージ
お坊さんが派手な格好をしてるイメージ
どんな行事があるかいまいち不鮮明
コンビニより数があるのにほとんどいかない、行く機会がない
コンビニみたいにコンビニエンスではない
そこにある意味、理由があんまり分らない
まだ神社のほうが活気があるイメージがある。

お寺と一緒にこんなことをやってみたい!

お経コンテスト

お経書初め

お寺ゲームでお寺の勉強(全国のお寺の神経衰弱とかカードゲーム、百人一首的なゲーム)

町の商店の露天、祭り

バザー

フリーマーケット

座禅大会

修行体験

いろんな対戦や大会

人道のマナー教室

修行で学んできたことを教えて欲しい

盆や供養の時だけでなく、もっと説教して欲しい

いろんな業界の人をイベントとしてお寺に来てもらって、講習やセミナーみたいに関心のある人の説教もお坊さんの説教と一緒に聞いてみたい。

落語家や芸能人をよんでのイベント

お寺のこと知りたい

実はみんなお寺のこと、もっとちゃんと知りたいはず。
今はお寺のことを教えてくれる人が少なくなったから。
逆に今はインターネットや情報社会。メディアやテクノロジーを利用して、お寺だからこそ、時代をこえていってほしい。

なぜ、そこにお寺が建ったのか
どうやって、何年に、誰が、誰のためにつくったのか?

どれぐらいかかってつくったのか?
そこにある人の紹介、像の紹介などをわかりやすく、手軽に知りたい、教えてほしい。
お寺と神社の違いとは何か?
その歴史など。

そのほかに
修行ってどう?
修行でつらかったこと
お坊さんになってよかったこと
などあまり知られてないことなど

お寺の強み、魅力

全国にある
たくさんある
建造物
歴史
仏教、文化
ネットワーク

歴史と繋がっているところ
多くのお寺が昔からそこにある＝
その土地のことを一番知ってる、
一番の地元の人である

無宗教や異教の人でも、きがるに行けるし、行事でいけること

お寺にしかできないこと

和尚の教え、説教(心が洗われる)
供養
ご先祖様との架け橋

など、まだまだあるとは思いますが、あまり知らないのだから

お寺への提案

お寺にやってもらいたいこと

お寺をもう少し昔のようにカジュアルな場所にする

お寺と神社の協力

宗派を超えたつながり

他宗教への理解しているところをアピール

ただの宗教団体ではないことをアピール

お寺を活性化することとは、忙しくなること、それをお寺の人間は十分踏まえてやってほしい。逆にそれを嬉しく思えない怠け者の人はどうかと思う。
人が来ても、忙しがらずに接して欲しい

ゴスペルの教会などは顔見知りの人たちが定期的に通い、歌って踊って祈りをささげているまるで若者がクラブへ行くような感覚に見える(本当はちがうが、やってることは一緒なきがする。。)そんなお寺があってもいいと思う

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P3	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

お寺でこんなことをやったら、地域が活性する！ 1

子供

保育園、幼稚園、学童、小学校からの社会見学、実習の場として定期的に行くところ
社会、歴史、文化、宗教の時間
香道、着物、かるて大会、など
遊び感覚で学べる場としての利用

親子の公園デビューのような感覚でお寺デビュー

その地域で生まれた子供の命名を和尚さんにかいてもらう

大人

ほやきのコーナーを設ける
ご意見箱のようなもの
そこから和尚が毎週、毎月、披露し、それについて語り、意見を聞く
和尚は毎週、本部へ、またはネットで報告すること

サークルの集まり場
こんなサークル、集まりをつくりたいといったことの掲示板をつくる
がんばってる人の報告など
例：スポーツクラブでこんなイベントがある、したい。人数確保が必要な場合など

マナー教室
マナーや道徳についてのお説教
例：ペットブームですが、犬の糞の始末。

地域の問題を一緒に考える会
お互いに意見を出し合い
試してみる。
次の会でどういう結果や思いが芽生えたのか話合う
日々の生活、1つ1つを意識して生活するようになる
問題ばかりに着目するのではなく、いい所はどんどん伸ばして行き、他の地域の見本になれるように、前面にだしていく

老人

集いの場所として
みんなでいろいろもってきてお茶する

将棋、囲碁の大会場所

老人ができる労働の機会の場(情報交換、求人、など、お寺が親会社として機会を考える)

小話大会
お坊さんの修行のちょっとした話、お年寄りの昔のちょっとした話、(落語やよせ話みたいな感じで)

がんばっている老人の自慢大会
がんばっている老人に聞こう！

老人が多い時代
お寺が老人がつどえる所、活動の情報交換の場になれば。
最近ではジムで元気なご老人達が生き生きと仲良く励みあって健康を維持している姿をよくみかける。
今まで一生懸命日本を支えてきた年代の人々の中で、暇をもてあましてる人も多い、ほそぼそと暮らしている人も多いと思う。
もう、何もしたくない人達はそれでいいのかもしれないが、私の目にはただ死ぬのをまっているようにしかみえない。
人それぞれ、いろいろな問題や事情があるとは思いますが、個人的にはまだまだがんばってほしい。
がんばっている老人がいるならそれをもっとサポートしてあげれるシステムをつくりたい。

お寺でこんなことをやったら、地域が活性する！ 2

地域で

これからのリサイクルやエコの中心的な場所として、寺がリサイクルの業者と地域の住民との架け橋というのが当たり前の状態になってほしい。(これからどんどんリサイクルや環境についてのビジネスが増えていく。
その中でお寺が物の大切さやなどを教えると同時に先頭にたって、日本の地域のリサイクル事情をまとめ、事業を展開する。それは地域密着型のお寺が出来ることだと思う。
さらにお寺は全国にネットワークがあるメリットがあるので、情報を提供、共有、できるので、地域の声が全国に繁栄しやすい

バザー、物々交換の場

商店街限定の出店(出店専用の店は限定で)
新商品の紹介などをかねて、宣伝、お寺に行くとお得なお店のクーポンがもらえる
お寺を通して現地特産物の宣伝(観光産業としても)

地域の団体同志の集会場として、
(町内会、自治会、商店会、政治家の事務所、など)(この会では今こんな活動をしています、商店街の売り上げが先月は赤字でしたとか、1つの団体が抱えている企画や問題などを違う団体同士で話しあい、意見交換の場としてお寺は最適な場所やポジションではないだろうか？政治で言う国会みたいな場所、でも決めるのは各自)

全国で

インターネット、メディアを通してつながる
お寺同志の情報交換、競い合い。
例：日蓮宗本部主催 かるた選手権、剣道選手権など
地方のお寺から代表出て、優勝争いする)

お寺のブログ(今日の和尚の一言とか今日のイベントの告知、感想など)
もうちょっと、地方のホームページを見やすく、わかりやすく、また各お寺がホームページに書き込みやすくてできるよう提供する

お寺ラリー
お寺スタンプ
お寺おたく(電車オタクのような感じ。(けっこういてるので、そういう人をメディアをつかって出すのもよし))
イベントを増やし、今日はここのお寺でスイカ割り大会があるから、ここの寺に行ってみようみたいなこと

世界で

交換留学生
仏教の修行を経験したい外国人、英語圏の人
仕事として英語を教えたり、英語のブログを書いてもらって世界との交流。(ただ何を書いたか英語がチェックできる人が必要)
修行もおこなってもらう

「可愛い子には旅をさせろ」プロジェクト
これから留学したい学生へのスポンサー活動や協力や教育
例：仏教信者の大学生へ1年間語学留学への夢の手伝い
逆に学生は仏教の教えを広める。
その学生はお寺に留学の目的、仏教活動の企画、計画書などの提出

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案		48才	女性
NO.104	P1	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信	
			⇒ジャンルへ

現状分析

「地域社会のためのお寺の活用アイデア募集」ということは、今、お寺と地域社会が離れていることを表しています。また、悪徳坊主という言葉や金の亡者として僧侶を批判する意見も目に付きます。宗教離れが進み、無宗教者が多くなってきているのが現状です。

これらは、宗教が皆の目に触れにくくなったのが原因と思われます。お寺が伝統の上に胡坐をかいて、檀信徒や地域社会や一般の方々と共に存する努力を怠っていたような気がします。地域社会に深く溶け込んでいれば、宗教に対する無知ということもなくなり、無責任な批判を浴びることも少なくなるでしょう。深く地域に根ざしたお寺作りを考えてみました。お寺が活性化すれば、地域も活性化すると思います。

活性化と一口に言っても、お寺や僧侶や寺族の特徴を基にした考えが必要だと思います。全部が当てはまるわけではありませんが、おおよその長所としては、

寺院・敷地が広い

- ・駐車場が広い

- ・静かである

- ・建物が大きい

- ・大人数が集まることを想定した設備

- ・畳の部屋がある

僧侶・地域を知っている

- ・地域住民を知っている

- ・地域住民に知られている

- ・信頼されている或いは一目置かれている

一方、問題点としては

寺院・人口減少や過疎による檀信徒の減少

- ・檀信徒の減少による経営不振

- ・地域との接点が減り、敷居が高く感じられ閉鎖的

僧侶・多忙により留守がち

- ・後継者不足

地域とのつながりという面では、町内会等で僧侶と面識があっても、檀信徒でなければ一般住民が寺院を訪れることはあまりありません。お墓参りや法事をするだけのところという認識をまず改めてもらわなければ、人は寄ってきません。広く門戸を開いて人を集める必要があります。この「人が集まる」には、「宗教的な集い」と「それ以外の集い」があります。「宗教的な集い」とは、もちろん仏教、日蓮宗の教えを中心としたものです。「それ以外の集い」とはただ単に人が多く集まることですが、人の交流が盛んになればお寺の繁栄に繋がります。それを、年代やグループ別に方策を考えました。

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案			48才	女性
NO.104	P2	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信		
				⇒ジャンルへ

宗教的な集い①～若者、女性～

現在、将来に対する不安やストレスの多い生活から、若者や女性を中心として、癒しを求めてパワースポット体験やヒーリンググッズに頼る傾向が顕著になっています。お寺で体験修行をする人も珍しくありません。ただ、そこで終わっては無意味と考えます。日帰りや数日間の宗教的な生活を通してリフレッシュするだけでなく、日蓮宗に関わってもらわねばなりません。日蓮宗でもホームページに少し情報を載せていますが、これではアクセスする側から言えば情報不足で、ひとつひとつ探していかなければなりません。宗門で体験修行募集要項のきちんとしたマニュアルを作れば、実施を思案中のお寺は参考にできますし、情報を欲しい人にとっても、有益です。全ての寺院で統一された募集要項は無理でも、比較対象ができる情報を多く入手できます。

以下はマニュアル作成までの具体例です。

1. 体験修行を実施中のお寺の成功例や、反対に試行錯誤中の所に聞き取り調査。
2. 体験修行者にアンケートを実施
3. 委員会で検討、アドバイザー選任
4. マニュアル作成（募集の告知、設備、費用、料金、カリキュラム作成等）
5. 寺院への告知
6. 初めて実施する寺院に人的、物的支援。助言
7. 成功例に対する褒賞。

体験修行は日数によりカリキュラムが変わりますが、具体例として

1日目

900 集合。オリエンテーション
930 面談
1000 瞑想（唱題行）
1130 料理
1200 昼食、片付け
1300 写経
1430 教学の勉強
1600 読経
1700 料理
1800 夕食、片付け
1900 面談
2000 反省・感想文
2030 入浴、就寝

2日目

600 起床、洗面
630 読経
700 料理
730 朝食、片付け
830 掃除
930 面談

以降、1日目と同じ

上記の特徴は、少人数を対象とし、面談の時間を多く取っていることと、遊びの部分が少ない（レクリエーションではない）ことです。1回あたりの人数が少なく、かつ僧侶が対応する時間が長いので、経営の助けにはなりませんが、じっくりと向き合えます。こういったシンプルなカリキュラムに参加する体験修行者は大なり小なり悩みを抱いて門を叩きます。こちらからお願いして来てもらっているわけではなく、自発的に訪れるのですから、お寺としても一歩踏み込んだ対応をして、継続的に日蓮宗と関わってもらい、ゆくゆくは檀信徒になればと考えます。

反対に、自然が豊かであったり、近場に観光地があるといった、何かしら特徴のあるお寺は、レクリエーションの一環として開催できます。カリキュラムも表層的なものになると思われますが、知ってもらうこと自体が重要であり、経営上、大事なことです。

いずれの場合も、忙しいお寺では難しいと思われます。そこで、場所だけ貸して、ノウハウを知っている僧侶に全面的に委託するという方法もあります。

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案			48才	女性
NO.104	P3	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信		
				⇒ジャンルへ

宗教的な集い②～壮年までの男女～

宗務院のホームページでは、Q&A コーナーや法話などがありますが、それとは別にメールやスカイプでの悩み事相談も開設してはいかがでしょうか。宗教に関することだけではなく、人生相談に僧侶が回答を寄せます。当番弁護士の僧侶版で、担当者を各管区に作り、回答します。人選が難しいかもしれませんが、相談の内容別に専門を分けて対応すれば可能と思います。

宗教的な集い③～中高年～

日蓮宗には専任布教師と常任布教師がいます。ただ、こういった人か、内容はどうかはわかりません。布教師の紹介コーナーを作ってはいかがでしょうか。名前、写真、履歴、得意分野等の情報を、教師間で共有できれば、法話を頼む時の参考になります。

ただ、法話会の単独での開催が難しいお寺は、宗務所等に頼んで、2,3ヶ寺をまとめる必要があります。ここで重要なことは、必ずお寺で開催することです。

宗教的な集い④～一般～

宗教離れの昨今、家族が亡くなって初めてお寺（僧侶）とコンタクトする人もいます。そういった時は、葬儀社からの紹介であったり、親類・知人のクチコミなどが主な理由です。しかし、お布施が安くて済むとか、家から近いなど、あまりに安易な理由でそのお寺の檀家になるのは、一生懸命布教に努めている者にとっては、拍子抜けする状況です。もっと真剣に選んでほしいと思いますが、一方で情報が足りないというのは、こちらの落ち度かもしれません。

こういったことを踏まえて、詳細な寺院情報を宗務院のホームページに載せることを提案いたします。結婚相談所のマッチングシステムやホテル検索システムの寺院版です。既に、名前や場所、写真の情報は入手できますが、それ以上の情報が入りません。ホームページに接続して、地域を選び、写真や歴史、活動内容、僧侶のプロフィール等から勘案して、選んでもらうシステムです。現在お寺によっては、リンクしているところもありますが、もっと大規模に統一された寺院紹介が必要です。安易に檀家になって後悔されたり、名ばかりの檀家になられるより、自分で選んで檀信徒になった場合、お寺への貢献は高いと思われます。

それ以外の集い①～高齢者～

- 高齢者の特徴
- ・時間に余裕がある
 - ・長年培ってきた得意なものがある
 - ・一線の仕事から退いているため、役立っているという実感に乏しい
 - ・所属しているものが少ないと、世間との交流が少ない

が上げられます。上記の僧侶の特徴の所で住民を知っていると書きました。檀信徒が主であっても、誰がどんな仕事をしていたとか、何の免許を持っているとか、あるいはどんな家に住んでいるとか、誰と住んでいるとか、子供はどんな人と結婚したとかかなりの個人情報を持っています。住民も信頼しているからこそいろいろな話をします。それを生かして、お寺或いは地域のお知らせ（ネット含む）上に掲示板を提示してはいかがでしょうか。

ボランティア募集以外でも、町内の小さな文化センターとして掲示板で募集もできます。お寺という場所柄多くの人が利用できるのも、各種教室も開催できます。一般的には華道、茶道、書道、コーラス等が考えられますが、あくまで茶飲み話の延長のような雰囲気、仰々しくない形でそれぞれが得意なものを教えあうというスタイルであれば、気後れせずに参加できると思われます。その道を極めるのではなく、少しずつかじるという形にし、先週は時事問題の講座で、今週は野菜の育て方、来週は法話（時々入れる）などなど、町のそれぞれの達人による教室であればいろいろな人が責任を持って教えられ、他方受講者も飽きることもなく、また趣味の分野で新たな発見があったり、お寺に来る理由となります。地域の達人名簿を作り、交流を深められればと思います。

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案		48才	女性
NO.104	P4	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信	
			⇒ジャンルへ

それ以外の集い②～小中学生とその親～

小中学生は、お寺とほとんど縁がありません。葬式は葬儀社で、お墓は郊外の霊園だったりすると、お寺に足を踏み入れたこともないかもしれません。まずは地域の学校と掛け合って、社会や生活等の教科の中でお寺を見学させて、地域の歴史や文化について僧侶に話してもらいます。お寺の存在を認識させることが先決です。その上で、上記の掲示板に告知して、放課後の子供の勉強場所や遊び場所としてお寺を開放します。子供が参加できる伝統行事への参加を促すため、親に役割を持たせます。小さなものでいいから必ず何かの役をつけます。何もないと興味が湧かず参加しない場合もありますが、役割を与えることにより、そのなかで真面目にやりとげる特性を日本人は持っています。子供がいることにより、親が姿を見せ、親が来ると子供は引きずられて来ます。若い世代がお寺にすることが重要です。

それ以外の集い③～一般～

人が義務でもないのに行くところは、大きく分けて食べる所と買い物する所、趣味の場所です。他方、お寺は広い敷地（駐車場）があり、建物も大きい。デフレやエネルギー問題、地球環境のことも考え、節約の意識に拍車がかかっています。そこで、お寺で蚤の市を開くことを提案します。大掛かりなものではなく、周辺地域を対象にしたものです。学校でもバザーはありますが、出品内容が限られていますし、基本的に無料で提出しなければなりません。小学生の子供がいない家では関係もなくなります。

翻って高齢者の家は、長年住み続けていればいるほど、不用品や大きい家具であふれかえっています。断捨離という言葉も数年前から聞かれ、高齢者でなくても身の回りを整理して、シンプルな生活を求めています。地域のお寺で蚤の市を開くのなら、出品してもよいとかがえるのではないのでしょうか。

売り手も住民、買い手も住民です。お寺は場所を提供し、仕組みづくりをし、アドバイスします。テーマ別に開催し、例えば春は大型家具、夏は洋服、秋は手作り品、冬は贈答品など。大型家具は運ぶのが大変なので写真やサイズを表示し、興味があれば家に見に来てもらうなど近所ならではのことができます。逆に、欲しい物を提示し、買い物客に売ってもらうこともできます。具体的に提示されると家の中の死蔵品を思い出すものです。物々交換の可能性もあります。

お寺としても、飲食物は衛生法上ダメかもしれませんが、問題なければ、冬に限って、お寺の檀信徒に手伝ってもらい、火を通したもの（スープ類）やお菓子、コーヒー等を有料で提供してもいいかもしれません。敷地内での開催はトイレ使用などで電気代や水道代がかかりますので、有料無料あるいはお布施でなどは、そのお寺ごとに考えて頂ければとかがえます。

お寺ネットワーク		24 才	男性
NO.111	P1	境内・伽藍の開放／置場提供／寺院ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

・ 概要：私は、地域やコミュニティを活性化するために、お寺のつながりを再構築することを提案する。私の、お寺と共に、あるいはお寺を舞台にした地域やコミュニティを活性化するアイデアは「お寺ネットワーク」である。お寺ネットワークとは、地域社会の主体をむすび、人、財、情報などを伝達・交換する仕組みである。地域社会やお寺には様々なつながり（ネットワーク）がある。これを地域やコミュニティが活性化するために、構築、または再構築する。

お寺ネットワーク

—77.000. 無限大の組合せ—

1章 はじめに

1.1 結論と要約

私は、地域やコミュニティを活性化するために、お寺のつながりを再構築することを提案する。私の、お寺と共に、あるいはお寺を舞台にした地域やコミュニティを活性化するアイデアは「お寺ネットワーク」である。

お寺ネットワークとは、地域社会の主体をむすび、人、財、情報などを伝達・交換する仕組みである。地域社会やお寺には様々なつながり（ネットワーク）がある。これを地域やコミュニティが活性化するために、構築、または再構築する。本稿では、コミュニティと地域社会は同じ意味とし、以後地域社会で統一する。

1.2 本稿の構成

本稿は4つの章からなる。1章では、結論と要約、本稿の構成を提示する。2章では、お寺ネットワークとはなにかを説明する。3章はお寺ネットワークの具体例を6つ紹介する。4章で全体をまとめ、今後の展望を述べる。

2章 お寺ネットワーク

お寺ネットワークとは、お寺と共に、あるいはお寺を舞台にした地域社会のつながり、その仕組みである。

お寺ネットワークとは、地域社会にある「結びつけられるもの」が、「結びつけるもの」によって結びつけられているシステム¹である。「地域社会にある結びつけられるもの」の例として、人、家、企業、電話器、コンピュータなどがある。「結びつけるもの」には、伝達・交換するものと、伝達・交換されるものがある。伝達されるものの例としては、人、財、情報、通貨などがある。伝達するものの例としては、コミュニケーション手段（会話、固定電話線、光ファイバー回線）、交通手段などがある。これら「結びつけられるもの」が「結びつけるもの」によって結びつけられるのをお寺が手伝う。これがお寺ネットワークである。

人、家、企業、電話器、コンピュータなどの「結びつけられるもの」を「ノード」とする。「結びつけるもの」をリンクとする。このノードとリンクという言葉を使ってお寺ネットワークを説明すると以下のようになる。お寺ネットワークとは、地域社会にあるノードがリンクによって結びつけられているシステムである。

お寺ネットワーク		24 才	男性
NO.111	P2	境内・伽藍の開放／置場提供／寺院ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

お寺ネットワークを構成する要素は、ノードとリンクと結び方である。ノードもリンクも例に出したもの以外にもたくさんある。これは、その地域やお寺によって異なる。結び方とは例えば、①と②である。①はノード(○, ×, △, □)をすべてリンク(=)で結ぶ方法である。②は☆を中継してノードをリンクで結ぶ方法である。このように、お寺ネットワークの要素は、ノードとリンクと結び方である。

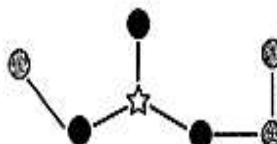


このお寺ネットワークの具体的な仕組みや、どのように地域社会を活性化するかを3章で説明する。

！本稿では、システムを仕組みや制度とする。

3章 お寺ネットワークの具体例

①寺ネット：お寺とお寺を結ぶシステム(目的は情報の共有)



●はインターネットが使えるお寺、黒線はインターネット(厳密には回線など)、◎は電話が使えるお寺、青線は電話、◎はインターネットも電話も使えないお寺、赤線は手紙や直接の会話など、☆はホームページ。このシステムではノードはお寺、リンクは情報とコミュニケーション手段である。

このようなシステムをつくれば、コミュニケーション手段により頻度や量に差はあるが、お寺間の情報の共有が可能になる。

②お寺の生活体験

お寺の生活体験とは、お寺に泊まって、お寺の生活を体験するものである。具体的な内容は、お寺と利用者によって異なる。

お寺の生活体験が地域社会に与える影響は、利用者のお寺に関する知識の増加、お寺と利用者の親交の深化、地域外の利用者の場合は観光客数の増加である。これらが地域社会を活性化しているのかは人によって認識が異なる。私の認識では、知識の増加や親交を深めることは地域社会の活性化である。

ここでのお寺ネットワークは寺ネット。地域のネットワークとお寺でつくる町ネット³である。どうしても、より多くの人に生活体験を利用してもらえるかを考える。そこで、インターネット上にある宿泊予約サイト⁴から学ぶ。寺ネットを使い、生活体験ができるお寺の情報をまとめて、ホームページなどに公開する。さらに、お寺は多くのインターネットサイトと異なり実体がある。したがって、実際のお寺からも情報発信する。このときに役立つのが地域のネットワークである。町ネットにお寺宿泊体験の情報を伝達しネットワーク内で共有してもらう。こうしてより多くの人にお寺宿泊体験を知ってもらうことが、お寺に足を運んでもらう第一歩になる。この第一歩を助けるのがお寺ネットワークである。

² 地域ネットワークとは、その地域に既存のネットワークである。例えば、子ども同士のつながり、お母さんの井戸端会議、居酒屋の顔見知りつながり、商店街の組合、自治会、学校などである。

³ 町ネットとは、寺ネットと地域のネットワークを結んだものである。

⁴ 宿泊予約サイト
楽天トラベル：<http://travel.rakuten.co.jp> じゃらんnet：<http://www.jalan.net/> など

お寺ネットワーク		24 才	男性
NO.111	P3	境内・伽藍の開放／置場提供／寺院ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

③防災物資の管理

お寺で地域の防災物資を管理する。

お寺が防災物資の管理を行うことが地域社会に与える影響は、安心である。いざという時の備えができていて安心して暮らせる。これが地域社会を活性化しているのかは人によって認識が異なる。私の認識では、安心が増すことは地域社会の活性化である。

ここでもお寺ネットワークは寺ネットと町ネットが主役である。お寺は全国のお寺と連携を取りながら防災物資を管理する。東日本大震災で被災したお寺の経験もお寺間で共有する。また、お寺にどのような備えがあるかを町ネットを使って地域に発信する。お寺だけで物資を揃えるとなると、負担が大きい。そこで町ネットを使う。町ネットでお寺に物資を提供できる主体(個人、会社などの集団)を集う。また、自治体や行政とも連携する。このときお寺ネットワークは、お寺、地域社会の主体(個人、学校、企業、病院)、行政と大きなシステムになっている。しかし、お寺は全国に77,000ある。この数を活かし、その地域ごとの小さな問題まで把握し、その地域にあった防災計画を立てる一翼を担う。お寺ネットワークは、安心して暮らせる町づくりの基礎となる。東日本大震災の被災地には、多くの物資や人が集まった。しかし、それらを効率的に振り分けるのは困難である。全国のお寺の分布が人口と比例しているのであれば、この問題も解決できる。被災地以外のお寺で物資や人を集い計画を立て、被災地のお寺に届け、活動する。日頃のネットワークを活かし情報を共有することで、国や行政だけでは手の届かない範囲を補うことができる。

④地域のふれあい市場

お寺に市(いち)をつくる¹。参加者は地域社会の主体、交換あるいは販売する品物は主体が望むものである。地域社会の主体とは、住人や働きにきている個人、家族や学校、商店、会社、役所、お寺などの集団である。交換あるいは販売する品物は、食品、日用品、事務用品などの財、サービス、需要や供給を含む情報など任意のもの・ことである。

お寺の市が地域社会に与える影響は、地域経済の活性化、地域のコミュニケーションの活性化である。地域経済が活性化するような市の例は蚤の市(フリーマーケット)である。お寺に各々好きなものを持ち寄り、交換あるいは売買する。地域のコミュニケーションを活性化するような市の例は、体験型講座(ワークショップ)である。スポーツ、音楽、美術、インターネットなど体験し学ぶ。

ここでのお寺ネットワークは主に町ネットである。②お寺の生活体験と同様に、より多くの人にお寺に足を運んでもらうことが市を盛んにする第一歩である。地域社会で市に関する情報が共有されれば、あとは出来る限り参加者に任せる。防災物資の管理とは異なり、個人の財や趣向に関することは、環境さえ整えば自ずと発展していく。お寺は市が円滑に行えるように後方支援する。地域での情報の共有ができていれば市は比較的簡単に開くことができる。また、お寺間で市に関する事件事故などトラブルの情報を共有することで、市の質を向上させることができる。このようにお寺ネットワークは、経済やコミュニケーションを活発にするアイデアを下支えする。

¹具体的な伝達方法の例：地域の回覧板や掲示板、学校新聞や地域新聞、地域のボス的なお母さんなど

²お寺で商業活動などが禁止されている場合は、物々交換に限定したり、場所をお寺以外にする。

⑤お寺の畑

お寺に1メートル×1メートルの畑を作る。77,000あるお寺が各一つの畑を作ると、全部で77キロ×77キロの畑ができる。

お寺の畑が地域社会に与える影響は、農業に関する知識の増加、食糧自給率の上昇、地域の農作物の発見あるいは再発見である。これが地域社会を活性化しているのかは人によって認識が異なる。私の認識では、自分たちが食べるもの自分たちで作ること。その土地ならではの食べ物があることは地域社会の活性化である。

お寺ネットワーク		24 才	男性
NO.111	P4	境内・伽藍の開放／置場提供／寺院ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

ここでのお寺ネットワークは寺ネットと町ネットさらに、寺ネットと大学などの研究機関を結ぶネットワークである。寺ネット・町ネットで畑に関する情報を共有する。情報の共有があれば地産地消に参加する人を集めることが容易になる。農業体験は、学校や障害者施設はもちろん、若い女性や第二の人生を考えている人にも人気がある。これらの利用者にお寺で農業体験ができることを伝えやすくするのが、寺ネットや町ネットである。

全部で77キロ×77キロの畑が新たにできるのだから国や地域の食糧自給率は上昇する。全てのお寺が畑を作れるわけではないが、1メートル×1メートル以上の畑を作れるお寺もある。お寺ネットワークにより、お寺間、地域とお寺の情報共有ができていけば、耕作放棄地、高齢化により畑の維持が難しい農家などの情報が手に入る。これをもとに、お寺が呼びかけ畑を維持・再生する。お寺間で情報の共有ができていけば、実験施設としても使える。例えば、全国のお寺にある畑で同時に同品種の植物を育て、その成長の変化を観察するなど大規模な実験が行える。専門知識がある大学などの研究機関と連携すれば、その土地に適した農作物の発見、あるいは再発見も容易になる。このように、ただ作るのではなく、情報を共有することでより地域社会は活性化される。その情報を共有する仕組みがお寺ネットワークである。

⑥会話の場

具体例の最後に、お寺ネットワークの最も簡単な利用方法を紹介する。それはコミュニケーションの道具として使うことである。twitter, mixi, facebookなどはインターネットを使ったコミュニケーションの道具である。これは人々が話せる場所をインターネット上で提供したものである。お寺ネットワークにはインターネットも含まれるので、同じような仕組みを作ることができる。さらに、お寺は実際に建物があるので、インターネットと現実の両方で会話をすることができる。これらを活用してもらうためには、地域限定、実名公開、茶が飲めるなどの工夫が必要である。ただ人と話せるそれだけで多くの人が集まり、賑わう。これがお寺ネットワークの最も簡単な利用法である。

4章 おわりに

以上の具体例は、情報を共有するためのお寺ネットワークである。しかし、お寺ネットワークは情報以外にも伝達(交換)できる。③防災物資の管理で紹介したように、物流のためのお寺ネットワークもある。本稿で紹介したお寺ネットワークの具体例や活用方法は、お寺ネットワークの可能性の一部である。子育て支援の拠点、障害者支援の拠点、地域の防犯対策の拠点、エイズの検査場、限界集落の冠婚葬祭の主体、寺子屋、ただボーっとできる場所など、よりよいお寺ネットワークのかたちや活用法をお寺と地域の人で考えてもらいたい。おそらく、お寺ネットワークは本コンペに集まるアイデアの基礎にもなる。多くのアイデアは情報網があれば、より地域社会を活性化することができるだろう。

お寺ネットワークとは、お寺と共に、あるいはお寺を舞台にした地域社会のつながりである。何も新しくない。ただ、今あるものを、今使えるもので結ぶ、それだけである。インターネット、電話、さらには車さえ無かった時代からお寺も地域社会も「つながり」もあった。それを今更と思うかもしれない。しかし、現代に溢れる便利なものを用いてもう一度、地域のつながりを考えてみる。私とお坊さんがお寺で挨拶をした。これもお寺ネットワークである。お寺のホームページに海外からのアクセスがあった。これもお寺ネットワークである。お寺ネットワークとは縁の束とも、絆の集まりとも取れる。つながりたいという思いに応えるのもお寺ネットワークである。

お寺の新しい地域通貨-寺通貨「縁」		29 才	女性
NO.114	P1	地域ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

地域 × コミュニティ × お寺

お寺の新しい地域通貨

寺 通 貨

縁

～円(YEN)から縁(EN)へ。

お寺発、つながりを作る新しい地域通貨のかたち～

寺通貨「縁(EN)」のススメ

*** 日常に根ざした、継続的なお寺活用法としての「縁」**

現在、日本には約77,000ものお寺があるといわれており、その数はコンビニエンスストア（約42,000）を遥かにしのぎます。しかし、若い世代にとってお寺と関わる機会は家の法事のときぐらいで、地元住民以外の単身者の中には、自分が住んでいる地域のお寺の名前もよく知らない、という人も多数存在します。時代が変化するにつれ、お寺を取り巻く状況も変化し、地域とお寺の関係には新たな展開が求められており、現在さまざまなお寺で地域の様々な立場の人々とつながるためのイベントが催されています。このような一時的な活気だけでなく、もっと継続的に、地域の日常にコミットするためのアイデアとして、そして地域の課題を解決する第一歩として、地域通貨ならぬ“寺通貨”「縁(EN)」を提案します。

お寺の新しい地域通貨-寺通貨「縁」		29 才	女性
NO.114	P2	地域ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

* コンビニで円を消費するより、お寺で縁をつなごう

町おこしのアイデアとしてよく耳にする地域通貨。ある特定の地域、コミュニティ内においてのみ流通し、人と人をつなぎ相互交流を深める役割を担っています。縁をつなぐ、それはまさに地域においてお寺が担ってきた役割。人と人とのつながりが見えにくくなる今だからこそ、限定された地域内での新たな通貨という形を通して、新たな縁、新たなコミュニティの姿を、お寺と地域の人々とで共に作りあげていく。20世紀を代表する現代アートの巨匠ヨゼフ・ボイスは「身体を血液がめぐるように、金は社会を流れるべきだ」という言葉を残しました。昼も夜もなく煌々としたコンビニで、どこから来たのか分からないお菓子やジュースを円で手に入れるより、地域において縁を流通させる。そこに、もっと豊かな社会のありかたのヒントが隠されているかもしれません。

寺通貨「縁」の考えかた、デザイン

* 考えかた

- 一、「縁」は円（法定通貨）と交換しない
 - 二、お寺が発行し、地域住民に配布する
 - 三、配布された住民は、「縁」に
「自分が地域の人にしてあげられること」を書く
(例：「日中お子さんを預かります」「食事の支度の手伝いをします」
「一緒にお茶を飲んで話相手になります」など)
 - 四、お寺が主催する「縁日」（縁を交換するためのマーケット）に、自分の「縁」を持って集合
 - 五、集まった人で「縁」を交換する。交換相手の「縁」の内容が自分に必要ない場合、その「縁」をまた別の人と交換する。
こうすることで、直接交換した相手以外にも「縁」がつながる
 - 六、「縁」でつながった人同士で、縁日終了後にコミュニケーションが発生する
 - 七、お寺は、ふたたび新しい「縁」を発行し、「縁日」を開催する。
- ※お寺は「縁」の発行先を把握し「縁」の信頼性・安全性を保証する。

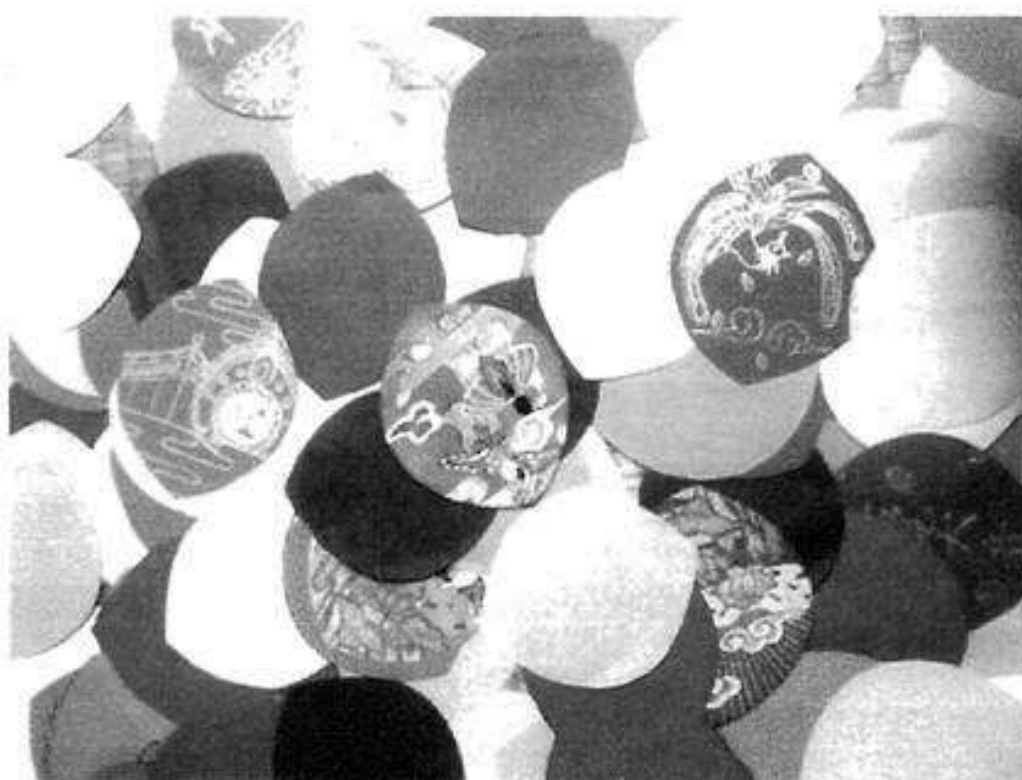
お寺の新しい地域通貨-寺通貨「縁」			29 才	女性
NO.114	P3	地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

*デザイン

円よりおしゃれに、かっこよく。

散華型 地域通貨 「縁(EN)」

集めると嬉しい、見た目にもキレイな散華の形をした、お寺ならではの通貨デザイン。性別や年齢別、あるいは町内ブロック別などに色を変えると、集めたときの楽しさは倍増です！



お寺の新しい地域通貨-寺通貨「縁」			29 才	女性
NO.114	P4	地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

「縁」の活用具体例いろは

い 仕事を持つ忙しいママ×時間のある主婦

主婦の「縁」

= 「学校から帰ってきたお子さんを夕方まで預かります」
地域のベテラン主婦に子どもを見てもらえて安心。
ママからの「縁」が主婦に必要な場合、別の人に渡し、新たなつながりが生まれる。

ろ 思春期の中学生×一人暮らしの大学生

大学生の「縁」

= 「お悩み相談、話だけ聴くくらいでもよければできます」
家庭の中で相談できない悩みなどを、少し年上の人に相談することで、中学生に地域の中で別の居場所ができる。

は 単身赴任サラリーマン×料理上手なおばあちゃん

おばあちゃんの「縁」

= 「手作りのお惣菜をちょっとお裾分けします」
外食が続くサラリーマンにとっては嬉しい、手作りの食事のお裾分け。

・・・等々、他にも様々な立場の人がつながる可能性は、地域の人の数
= 「縁」の数だけ大きくなります。

人と人をつなぐのは「円」ではなく「縁」！
お寺発行のユニークな地域通貨「縁」で、新たな人のつながり、
コミュニティを作るお手伝いを、いかがでしょうか？

見える化から考える地域へ シナジー・ブリッ寺プロジェクト		36 才	女性
NO.118	P1	紹介所	
			⇒ジャンルへ

概要

寺がアクター（主体）となり、地域の既存のコミュニティ間の連携を促し、シナジー効果（相乗効果）を地域にもたらすことで、地域活性化ひいてはお寺の活性化をめざす。最終的には、地域構成員すべてがアクターになる。

実践編

STEP①：個々の寺院では住職のみならず、総代をはじめとする現在のお寺にある組織構成員（檀信徒）がこのプロジェクトの主体者である。住職は総代らに主体者たる自覚を促し、地域に根づく前述の既存のコミュニティ（PTA、組合、青年会、老人会、自治会、児童会、商工会、婦人会、NPO、ボランティア団体、学生サークルなど）を把握させる。

STEP②：個々のコミュニティの代表者と「〇〇町の人生アクティブマップ」をお寺で共同製作して、地域住民に公開する。地域や人生、生活のどのような場面において、そのコミュニティが必要なのか、利用できるかをマッピング化して、地域住民に公開・活用してもらうのである。

●マップ製作では各コミュニティが目的、メンバー紹介、それを達成するための手段を明らかにする。たとえば地元農家の組合が「新鮮で美味しい地場野菜を地元の人に食べてもらい健康な暮らしを送ってもらう」などの目的をメッセージとして伝え、メンバー紹介と、それを達成するための手段と消費者との接点（販売場所など）を絵あるいは文で視覚化する。一方、独居老人支援のNPOなら「独居老人が安心して暮らせるように身の回りのサポートをする」などとメッセージ化して、やはり手段と接点を視覚化する（もちろんマップには寺も入る）。

●マップ製作の真の目的は、それぞれのコミュニティに自己資産の見直しと、地域とのかかわりを見つめ直す作業を促すことである。製作の際、抱えている課題を「困ったリスト」にあげてもらい共有化する。アクター（寺関係者）はコーディネーターのように、それらのコミュニティの課題や目的を見ながら、マッチングあるいは「橋渡し作業」を行う。たとえば「新鮮な野菜を食べてもらいたいけど大手チェーン店に押されて困っている」（農家組合）と、「買い物困難な老人をサポートしたいけどスタッフが足りず困っている」（独居老人支援NPO）を、別のコミュニティ（学生のボランティアサークルなど）をスタッフとして、支援するなどの橋渡し作業をするのである。●このように枠を超えた活動を生み出し、相乗効果が起きるマップを練り上げていく。

STEP③：完成マップの公開方法は文書、メール送信など、世代や地域に応じた方法で行う。

STEP④：寺では、上記の「集い」を定期的に様々な方法で行い（盆踊り、法要、イベントなど）、継続的に個々のコミュニティ間の交流を維持し、発展させていく。

●たとえば「〇〇町の人生アクティブ講座」などコミュニティの得意分野を生かしたカルチャー講座など（例：伝統工芸職人「手に職あれば世界中で暮らせませす講座」、弁護士「虎の子を守る講座」、芸者「新入社員に伝えたい芸は身を助く講座」、僧侶「法事も楽しくお経の一つも覚えよう講座」etc・・）。あるいは、防犯や災害時に地域資産をどのように生かすか講座など、多様な使い方ができると思われる。後はそれぞれの問題点を共有し解決の方向に向かうこともあるし、また新たな問題点が生じるかもしれないが、つながりが生まれれば、対話、討論、提案などを通じて地域が活性すると思われる。ここで、主体はそれぞれのコミュニティ（地域住民）に転換する。お寺は主体者からサポーターとなり、支援し続ける。地域が活性すれば寺院に経済的にも還元されるし、この過程で、寺そのものが抱える様々な課題も自ずと解決されていくと思われる。

なぜこのプロジェクトなのか？

●東日本大震災で明らかになったように、昨今、地域のつながりの重要性、地域コミュニティの必要性が再評価されている。現在、各地域にはそれぞれの地域に応じたコミュニティ（PTA、組合、青年会、老人会、自治会、児童会、商工会、婦人会、NPO、ボランティア団体、学生サークルなど）がある。だが、それぞれが持てる力を地域活性化あるいはコミュニティの目的達成のために最大限、発揮できているかといえは実はそうではない。

●なぜなら、個々のコミュニティの資源（ヒト・モノ）には限りがある。また、同じような立場のメンバーが集うために、発想も固定化されがちになり十分な問題解決能力をもてないこともある。たとえば一つの地域に、表現空間を求めているアート団体A、寂れた商店街を持て余している商店街B、ゲートボールのメンバー減少に悩める老人会C、後継者難に悩む伝統工芸団体Dがあると想定した際、それぞれのコミュニティの中だけではいずれも解決しづらい問題である。事実、そうした例は全国に見られる。

●本プロジェクトは、せっかく存在する地域のコミュニティをより一層活性化させるため、この資産のバラバラの現状に、寺がアクターとなって情報収集を行い、地域住民の資産として「見える化」（可視化）し、コミュニティ同士の連携をはかることで、問題解決および新しいアイデアの提案につなげること（シナジー効果）を目的とするものである。

●ここで寺が主体者になることでのメリットは大きく二点ある。第一に寺の資産である構成員（檀信徒）は様々な年代・職業の人間の集まりである。地域のコミュニティすべてに誰かしらかかわっていると思われる。第二に、寺に本来の役割を取り戻させることができる。かつては生老病死の様々な場面に寺はかかわり、そのために寺があったからだ。

●結論

本プロジェクトを遂行することにより、各地域や寺の状況により異なるが、地域住民自身が己に向き合い、地域の問題を認識し、解決・活性化させるプロセスを住民と寺が共有することで、地域をよくする「仕組み」が生まれる。この仕組みを、歴史的に地域にとって重要な役割を果たしてきた寺が時には主体となり、時にはサポートして関わることで、地域における寺の役割もまた再構築することができる。これにより地域と寺が活性化できる。

お寺で子育てサポート		33 才	男性
NO.122	P1	本格経営	
			⇒ジャンルへ

私には1歳半になる子供がおります。

ぜひお寺に活躍していただきたいことがあります。

お寺に地域における子育てサポートセンターの役割をお願いしたいです。

一時的に子どもを預けられる『お寺保育所』

保育園を経営するほど大がかりなことではありません。

まずはお寺で登録制のサポーターを募集します。

例えば、ある程度日時を定めて参加できる方をレギュラーサポーター。

日時は決められないが、自身の都合にあわせ参加希望の方を準サポーター。

地域住民が気軽に参加できる仕組みが理想です。

ある程度仕事も現役を引退し、子育ても終わり時間にゆとりができた

60歳過ぎ位のかたにはレギュラーサポーターになっていただき

定期的に子供をあずかっていただけることができれば

預ける親としても安心感があります。

他には高齢者のかたにもサポーター登録していただき

折り紙や、あやとりなど昔の遊びなどを子供たちに

教えてもらえるのもありがたいことです。

高齢者の方も誰かに頼られるといった刺激が

生きがいになったり子供たちの笑顔で元気をもらえたりもするのではないのでしょうか。

準サポーターとしては専業主婦などが自分の都合に合わせて

参加してもらえたらよいと思います。

もちろんお寺ならではの、お坊さんには習字や道德教育

掃除の仕方などを教えてもらいたいです。

これらのことをお寺を中心としたボランティアで行えれば

それにこしたことはありませんが恐らく中々人材も集まらないかと思います。

そこで子供を預ける側はお布施として 預かっていただく事に対する

気持ち(ある一定額)を納めます。

お寺はサポーターの方へそのお金で報酬をお支払する仕組みはどうでしょうか？

価格は決めた方がよいと思います。

お金をもらう以上参加者は責任感をもった行動になるかと思います。

超高齢化社会の中で高齢者の方にも活躍できる場を提供できます。

若い夫婦のにとって少しでも子育てに対する不安解消につながれば

少子化対策にもつながると思います。

待機児童問題がさげられるなか保育園の整備が進んいますが

もっと気軽に安心して子供を預けることができる環境があれば

とても助かります。

この様にしてお寺を中心とした

地域の子育てを支援する仕組みがあれば

赤ちゃんから高齢者まであらゆる世代の人々が

コミュニケーションをもつことができ、

街全体の活性化につながると思います。

■他のアイデア

【坊主カフェ】

過疎地において、お寺でカフェを経営し街の集いの場所を作る。

【坊主デリバリー】

過疎地域においてお寺が食品や日用品を

届けてくれるような仕組みがあると良いのでは・・・

お寺がコンビニと協力するなど・・・

お寺で子育てサポート		33 才	男性
NO.122	P2	本格経営	
			⇒ジャンルへ

『お寺は遊びに行く場所』にしよう！！

私は現在 23 歳です。私は小さい頃から祖母や父母から「ご先祖様は大事にするものだ。」
「なにか良い事があったときは仏さまに感謝をなさい」と教わり、良く家の仏壇にも手を合わせます。幸い父方のお墓も母方のお墓も近いこともあり 1 カ月に一度はお墓参りにお寺に行っています。

そんな私でもお寺と言われて思い浮かぶことはお葬式、お墓、法事です。誰かが亡くなったときに行く場所、亡くなった人を供養するところと言うイメージです。あまり明るいイメージがありません。

でも私の周りの友人はお寺に行く機会すらほとんどない子が多いです。お盆やお彼岸でさえ行かない子も少なくありません。お寺離れしている人が多いと思います。

今回そんな状況を少しでも変えられるのではないかとアイデアを考えてみました！

やっぱり子供の笑い声や楽しんでいる様子を見るとこちらまで元気になります。なので子供がたくさんお寺に集まれば、お寺の暗いイメージが無くなりお寺が活性化されるのではないかと思います。

私は近くに公園がないのでいつも神社で遊んでいました。なのでお寺も子供が遊べる場所としたらどうでしょうか？子供達が遊びに来たくなる場所にするには、お寺は楽しい場所であればいけません。今の社会、テレビゲームやおもちゃは親から買ってもらえるので物珍しくものではないでしょう。

なので昔の遊びを教えるのはどうかと思いました。

ご住職や檀家さんでボランティアをしてくれる人を募って、週末などに『**お寺で遊ぼう！！**』みたいな形でイベントを開きます。このイベントは誰でも参加できるイベントです。

そこで竹馬、ベーゴマ、あやとり、手遊び、凧上げ、カルタなど昔の遊びを教えてあげます。体験型みたいな形で実際に作ってみるのも良いでしょう。竹馬を作って遊んだり・・・家では昔の遊びはしないだろうし物珍しくて興味を持てただけなのではないでしょうか。

こちらのおもちゃ等はいつお寺に遊びに来て使えるようにしておき、お寺に子供達が自然と遊びに来たくなるようなお寺にしたいです。

このイベントを通じて隣の学校の子と友達になれたりコミュニケーションの幅も広がると思います。

そんなお寺が実際にあったら、私は小学生の頃遊びに行っていたと思います。

お寺で遊んで育った子供達が大人になり自分の子供達に伝え、いつまでもお寺が子供達にとって大事な場所として存在してほしいです。

子供達の笑顔が見れるお寺こそ活性化するにあたって必要なのではないのでしょうか。

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P1	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

現状

お寺の規模は様々ですが、ある程度の大きさの敷地があって周りは塀に囲まれていて、門を入ると本堂らしき瓦屋根が見え、参道の左右にはお墓があり、あまり手入れが行き届いていない庭が広がっているというのがごく一般的なお寺の作りといえるでしょう。少し奥には庫裡があってガレージから車が覗いていたり洗濯物が見えたりします。さらに「信徒会館」などという名前のついた、お金のかかった感じの新しい建物が建っていたりします。しかし、家のお墓でもない限りそのお寺をわざわざ訪ねることはまずないでしょう。訪ねるのは、知人の葬儀がたまたまそこで執り行われたときだけになるはずです。

お寺の施設もその運営も我々の日常生活からはかなり離れたところに漂っています。

施設

お寺は建築基準法では、建築物の用途の区分コード番号 08160、「神社、寺院、教会その他これらに類するもの」として扱われていて、避難設備や防火設備や消防設備を基準通り備え、都市計画法による規制を満たせば建築が可能になります。しかし、例えば本堂の設計上の使用人数を 200 としても実際にそれだけの人が集まるのは年に数えるほどで、「伽藍堂」にそれだけの消防設備が本当に必要なのかと不思議になるほどです。お寺をもっと活用してもらうためにはお寺はもっと多目的化しなければならないというわけで、いわゆる「多目的室」を準備しても実際はごく限られた檀家の方がたまに利用する程度になりがちです。

多目的化を探るためにお寺という施設に合いそうな建物を建築物の用途の区分から順に見ていくと、「一戸建ての住宅」はすでに庫裡がありますから実現しているといえます。「長屋」、「共同住宅」、「寄宿舍」、「下宿」、これらは僧坊という形で過去には一般的であったといえるでしょう。現在ではお寺の「アパート経営」ということになるでしょう。少子化のいま、「幼稚園」からはお寺は撤退しつつあります。「小学校」から「各種学校」までの教育機関は各宗派として取り組んでいます、個々のお寺としては難しいでしょう。「図書館その他これに類するもの」はお寺の所蔵または死蔵図書を気軽に閲覧できるようにするなどしてすぐにできそうです。さらに「博物館その他これに類するもの」もたとえ文化財に値しないお仏像であっても縁起などを丁寧に説明すれば魅力のあるものになるのではないのでしょうか。「老人ホーム、身体障害者福祉ホームその他これに類するもの」は宗教的に是非取り組みたい施設ですが、現実の管理業務まではとても手が回らないので敷地の一部を提供するというような方法になりそうです。ただ、定期的にお年寄りや障害者を訪問してお話しをすることはできそうです。「保育所その他これに類するもの」も幼稚園と似てはい

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P2	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

ますが、働く女性のためにこれからいっそう需要が増え、法規制上の問題が整理できればお寺が取り組みやすく直接社会貢献できる施設といえます。「児童福祉施設等」も境内にはそのまま作りにくいですが、お寺の存在理由を高めることにはつながりそうです。「公衆浴場（個室付浴場業に係る公衆浴場を除く）」は、例えば境内に温泉が湧いたりすればもっとも有効なコミュニティー形成のツールになります。「診療所」も「病院」も直接は手をだせませんし、縁起が悪いと言われがちですがホスピスを見舞うなどしてお寺の活動範囲を広げることはできます。「公衆便所、休憩所又は路線バスの停留所の上屋」はどうでしょうか。観光寺には付き物です。「体育館又はスポーツの練習場」は、サッカーグラウンドは無理でしょうが、ちょっとした平らな芝生を提供するだけでも子供たちがボール持って遊びに来るのではないのでしょうか。（日本ではサッカーは泥土の上でやるらしい、と言われていいますから。）「ホテル又は旅館」は宿坊としては馴染みが深いですが小さなお寺でも「ペンション」程度はできそうです。朽ちそうな山寺の冷え切った部屋で一晩過ごすのもおつなものでしょう。「日用品の販売を主たる目的とする店舗」はおみやげやお守りやお札を売れるお寺にはすでにありますが、これから名物を作るのでは不自然です。それでもちょっとしたお寺グッズを用意すると「普通の人々」がお寺に行くきっかけになるはずです。「飲食店」「食堂又は喫茶店」は、企画次第ではかなり成功しそうです。精進料理だけでは競争力はありませんが、スイーツも用意して、ゆったりとした落ち着いた空間に「日蓮文集」などがさりげなく置いてあれば忙しいサラリーマンでも週末など偶然手に取って自分の日常を振り返るきっかけになるはずです。そのほかの店舗類では、馴染み易いのは本屋ぐらいでしょう。自家販売の豆腐なども「お寺お寺し過ぎる」とはいえ座りがいいもののひとつでしょう。「学習塾、華道教室、囲碁教室その他これに類する施設」はすぐにでもできそうです。機能的かつおしゃれなモダンジャパニーズのスタイルで小さな庭と小さな建物を提供すれば裏原宿にも負けない集客力がありそうです。華やかな青山、表参道、原宿にも行き場のない人はかなりいるのです。行き場のない人が行き倒れにならない場を提供するのは店舗企画業者ではなくて本来お寺であるはずで。

さて、「映画スタジオ又はテレビスタジオ」は一見唐突ですがその地域だけをカバーするFM局を立ち上げるのはその気になればできそうですし発信能力は抜群です。当然その局のサイトも立ち上げて寂しい少年少女に自殺を思いとどまらせることもできます。「自動車車庫」はもうすでにお寺のトレードマークです。企画力がなくても土地さえあればできるたんなる収益事業です。「自転車駐車場」はパークアンドライドが進めば駅近のお寺であれば人が立ち寄ってくれるきっかけにはなりそうです。またこどもの自転車の練習場に境内を使わせるくらいの度量はほしいものです。「倉庫業を営まない倉庫」も土地さえあればすぐにできますが何も生まないでしょう。「劇場、映画館又は演芸場」はすでに昨今のお寺の定番となりつつあります。本堂などでコンサートや寄席や社会派ドキュメンタリー映画会を開催するのがはやっていますが、本格的なプロを呼ぶような興業は税制上の問題もあって難しいのでどうしても発表会のようなレベルに成りがちで観客層の広がりにはつながりに

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P3	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

くいようです。「公会堂又は集会場」はまさに本来のお寺の機能でしょう。ただすでにずっと本格的な設備を備えた公共あるいは民間の施設が十二分にある時代では普通のお寺ではそれに対抗できる施設で勝負はできません。対抗できるのはその中身で、法話のレベルや討論会の企画ということになるでしょう。「展示場」は比較的大きな空間のあるお寺としては内容によってはその場を貸して、例えば仏具展などを催してもいいのではないのでしょうか。

「ダンスホール」も無理がありそうですが、ソーシャルダンスを練習できるホールはそんなに多くはないのでフローリングの床が無駄に広がっているようでしたら貸してもいいのではないのでしょうか。「火葬場又はと畜場、汚物処理場、ごみ焼却場その他の施設」については、まずはこのカテゴリー分けに愕然とせざるを得ないとともに建築基準法の教養のなさに呆れる他はないのではないのでしょうか。お寺に火葬場が併設されていること自体は自然ではあるかもしれませんが普通のお寺が自前で火葬場を持つことはまずはないでしょう。

ところで、お寺の多目的化によって実現されるはずだと考えられているコミュニティーとは一体何なのでしょう？

コミュニティー

コミュニティーという外来語が何を意味するのかを理解するのは容易ではないようですが、何か共通の課題や作業や時間を持つことによって仲間意識が生まれて共同社会が形成されていくことをどうやら意味しているようです。具体的にはスポーツ、趣味、芸能、お祭り、学校、生産活動（工場など）、一緒にお買い物、一緒に旅行、一緒に宴会などがそのきっかけになるのではないのでしょうか。簡単にいえばお金や地位にしばられて損得勘定で成り立つ社会とは別の共同体（Gemeinde）ということになるのでしょうか。この 21 世紀に損得勘定以外の集まりが可能なのか疑問ではありますがリタイアすると突然、利益社会（Gesellschaft）から切り離されて行き場のない老人になる人が増えています。それだけ見ても何らかのコミュニティーすなわちゲマインデ（Gemeinde）が求められているようですが果たしてそれをお寺が多少でも提供できるのでしょうか。

Gemeinde というドイツ語は、カタカナ日本語のコミュニティーに相当するだけでなく、とりも直さず教会の信徒の集まりのことにほかなりません。日本でいえば従来の檀家のことです。信徒あるいは檀家は利益社会から離れて共同体（Gemeinde）を形成しそれが教会やお寺を支えているということです。したがってお寺が檀家で成り立っている以上、鼻からそこにコミュニティーすなわちゲマインデ（Gemeinde）が成立していなければならないのです。にもかかわらずお寺にコミュニティーがない、すなわちゲマインデがない、それは檀家がないということです。檀家がいても檀家だけの仲間意識で固まってしまって「普通のひと」と気軽にコミュニティーが持てない村社会になっているようです。ですから「檀家の力で建てた会館」は「普通の人」にただで使わせるわけにはいかないというような意見がまかり通るのです。そこにはすでに利益社会が垣間見えています。

Gemeinde の発祥の地、ドイツではどんな様子なのでしょう？

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P4	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

隣の芝生

ドイツのごく一般的なプロテスタントの教会は街や村の比較的真ん中に他の建物にごくなじんで自然に建っています。お寺では本堂の前の底の下まではいけませんが気軽にずかずかと内部にはいつても中に入れます。教会にはふつう塀はなく昼間は扉に鍵はかかっておらずいつでも中に入れます。キリスト像を盗んでいく族はそうはいないようです。回廊などがない小さな教会では建物はその教会堂それっきりです。牧師の住む牧師館はふつう道路を挟んで反対側のごく近くに建っています。それとは別に信徒会館(Gemeindehaus ゲマインデハウス、カタカナ英語ではコミュニティーホール)が近くにあります。これは信徒(檀家)が中心となって様々な宗教活動を行うごく質素な建物です。そこには受付と事務所を兼ねたような部屋とクローゼット、集会室、図書室、いくつかの小部屋、地下に倉庫やトイレが備えられています。簡単な宿泊も可能です。牧師館が近くにない場合にはそこにお悩み相談の部屋があります。誰にも言えない悩み事や繰り言を、アポをとってから牧師に相談しに行くのです。牧師は必要な場合には精神科医を紹介し、警察や弁護士や市の福祉係などに連絡します。牧師には当然守秘義務があります。

信徒会館を切り盛りするのはだいたいご近所のご婦人方です。若者の教会離れは著しくてゲマインデはどこも老人会と化しています。70年代には若者を呼び寄せるために教会ロックコンサートが盛んに開かれましたが、それはとてもクールとは言えないレベルの音楽だったので特効薬にはなりませんでした。信者の減った教会は文化センターなどに改装されています。

墓地は教会に併設されている場合もありますがだいたいは市立の共同墓地でいずれにせよ墓地の管理は牧師の仕事ではありません。牧師の仕事は埋葬までです。したがって墓地からの収入はありません。教会は教会税と寄付金によって運営されています。牧師は教区から派遣されてくる一種の公務員で、新任にあたってはゲマインデによる面接があります。ゲマインデが牧師を選ぶのです。牧師の人柄も大事ですが、説教の内容が大きな決め手のようです。聖書の一節を引用しながらヴィヴィッドな政治問題や人権問題をとりあげて論じるような説教が多いようです。例えばもうすでに50人以上もの兵が亡くなったアフガニスタンでのドイツの軍事活動をどう考えるかというような差し迫った話題です。

個人経営商店のお寺とはまったく違って牧師は経営について頭を悩ます必要はありません。ただこの教会離れを止めたいとは思うでしょうが、当然ながら基本的には個々人の問題であって宗教者が直接左右できるものではないことは明らかです。それでも少なくとも結婚式、洗礼式、堅信礼式、復活祭、クリスマス、葬式には教会は欠かせません。また、もともと教会には音楽は付き物です。パイプオルガンが鳴り響いてゲマインデのコーラスが歌えば教会はすぐにコンサートホールに変わります。管弦楽や子供たちの聖楽隊などの演奏会が開かれることも多いので教会まで足を運ぶ機会はお寺に比べると多いようです。ゲマインデの総代には地域の有力者がつくことが多く教会の維持に尽力している様子はお

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P5	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

寺と同じでしょう。

イスラム諸国ではまだ宗教の影響力が強くて日常を支配しているように見えますがその中でも最も近代化に成功しつつあるトルコの大都会イスタンブールでは金曜ごとにモスクに行く若者は減ってきています。観光モスク以外のこじんまりしたモスクもふつういつでも扉はあいていて好きな時にお祈りができます。大きな音の掃除機でじゅうたんを掃除中でも気軽に入れるのです。

東部の田舎からドイツに出稼ぎに来ているトルコ人たちはおしなべて信心深く宗教に寛容な政策をとっているドイツにはモスクがかなり建ちはじめています。それには驚くほどの寄付金が集まるのです。信者減少に苦しむ教会から見たらうらやましい限りでしょう。外国人労働者としての悲哀を共有する彼らにはまさにコミュニティが必要です。言語、モラル、食事、娯楽など日常の広い範囲にわたってゲマインデを形成します。ドイツのモスクの中には一階がトルコ食品のスーパー、二階がモスクという建物もあるくらいです。それはトルコ人の団結を強めますが、あくまでドイツ人社会とは統合していかないという意味表明にもなります。そうであればただ金を稼ぐためにドイツに留まっていってほしくないという感情がドイツ人たちの間に生まれるのも自然です。しかしそうしたゲマインデに固執しないで個人として自立して生きていく二世や三世のなかにはすでにドイツ社会で重要な地位をしめているひとたくさんいます。彼らはむしろ利益社会でのびのびと育っていくのです。

精神性

ところがその利益社会で成功してもあるいは思い通りにいかなくても、いずれにせよ人は非物質的なものになんらかの価値を見出しているようです。インドの不可解な臭いやダライラマの意外な現実主義やタイの小乗仏教に魅力を感じる人だけでなく、アユールヴェーダやヨガに頼ろうとする健康オタクや環境問題や自然保護活動に身を投じる人などにもスピリチュアルなものに価値を置こうとする姿勢があります。

やはりお寺はこのスピリチュアルなものに価値を置こうとする姿勢に答えていくことをおろそかにしては存続する意味がないのではないのでしょうか？

資金があればお寺はいくらでも施設を充実できます。飲食店、物販店、音楽ホール、ホテル、貸事務所、ブティック、スタジオ、バー、シネコンなどの一大複合商業施設のなかに申し訳程度のご本堂を残して経営基盤を強化することもできますが、それはもうすでにお寺ではないでしょう。かつて建築は宗教建築と世俗建築の二つに大きく区分されていて施設自体の規模や魅力度は圧倒的に宗教建築が勝っていました。宗教は施設自体の魅力で人を呼ぶことができましたし、そこにはディズニーランドにも劣らない仕掛けがあって一日ゆっくり楽しめたのです。現生のご利益を約束してくれるお札やお守りは一年しか効き目はありませんよ、といわれればどうしてもリピーターが増える道理だったのです。お参りといえば物見遊山を兼ねた一大娯楽でした。いまのお寺がまたこのような複合施設とし

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P6	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

て民間の世俗建築に対抗できる娯楽を提供できる環境にあるとは到底いえません。

そこで残るは当たり前ながら日々の地道な布教活動だけになります。とはいえこのままではジリ貧は目に見えていますからいくつかの改善策が必要です。

ともかくお寺に立ち寄ってもらうためにお寺が何をやっているかを伝えるホームページの充実は最低限必要でしょう。基本的にはメールでほとんどすべてのやり取りができるようにしてお寺への要望なども簡単にメールで送れる双方向システムとし、住職や世話人の顔写真、意見などもたくさん入れてまずは敷居を低くしておく必要があるでしょう。

たとえお寺に立ち寄っても本堂の軒先くらいまでしか入れないような施設ではちょっと雨でも降れば誰も行きません。気軽に入れるロビーのような空間が必要です。入ろうかどうかと迷わせるような豪華な造りではなくて散歩の途中に休憩するようなおしゃれなカフェや甘味処といった感じでしょうか。もちろん施錠などされていないで、土足のまま入ってそこからまた扉を開けて出ていけば釈迦堂や祖師堂に向かえるお寺のエントランス空間です。そこにいきなり住職がでてきても構えてしまいますから、だれもいなくていいのです。身延ではあまりに気軽にどんどん奥まで自由に入っていきますから、かえってこんな管理でいいのかなと不安に思えるくらいですが、なんだかほっとして、また来てみようかと思わせる雰囲気があります。教会でもモスクでも基本的には施錠されていない内部空間が用意されています。できれば釈迦堂にも祖師堂にも入れるようにしてせめて外陣からでもお像を近くで眺められるようにしたいものです。軒先で追い返すのはお寺だけです。

檀家制度で経営していく以上、墓地はお寺の生命線ですから古い墓地を整理したり新しい区画を作ったりして販売し新しい檀家を増やしていく作業を厭うわけにはいきません。その際できればただ単に空いているところを墓石で埋めていくようなレイアウトにするのではなく、なんらかの軸線を基準にするなり、ところどころベンチを設けるなり、水屋をデザインするなりして、墓地自身にほっとする空間を作り上げたいものです。郊外の公園墓地はきれいですがまったく宗教性が感じられません。寺墓地はやはり歴史と精神性を感じられるとともに、お水とお花とお線香をあげたらそそくさと退散したくなるような場所ではなく、しばらくじっと想いを巡らせられるような雰囲気になりたいものです。それだけでも「普通の人」はもう少し頻繁にお寺を訪れるはずです。

たまには住職の話でも聞いてみようと思ってもまとまった法話が聞けるのが平日の昼間だったり早朝のお勤めのときだったりして普通の人には到底スケジュールの調整は不可能です。日曜日は法事などで稼ぎ時ですから普通の人相手の相手をしている暇はないようです。これに比べてもともと日曜日という制度を決めたキリスト教はこの日を有効に使って、もうあまり人が集まらないとはいえ毎週必ず説教を行うわけですから普通の人にとってずっと楽なスケジュールを提供しています。時間の有り余っている年金生活者のスケジュールではなく、一般勤労者にも配慮したイベントの提供が必要です。例えば毎週末に瞑想の時間を提供したり、お教を聞く会などを開けば少なからず人は集まりそうです。就業時間の短いドイツでは夕方の6時くらいから2時間ほどいろいろなシンポジウムなどを企画し

お寺の活性化の可能性		不明	男性
NO.125	P7	境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化／相談窓口／本格経営／キャラもの／情報発信／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

て討論の機会を作っています。ちょっとしたサンドイッチとミネラルウォーターくらいでよく仕事の後に集まれるなと思いますがこれがコミュニティを生んでいくのです。

たとえ古臭い言葉で書いてあっても聖書は読めば何が書いてあるかわかりますが、お教はそのままでは理解不能です。現代語訳なら当然わかるのですが普段耳にしている響きとは似ても似つかないので応用が利かないのです。そしてその内容が簡単すぎてあまり有難味を感じられなくなります。漢文の読み下しくらいがちょうどいい重みでしょうか。仏教に興味を持っている人は実際たくさんいます。皆密かに一人で本を読みながらそれなりに考えていますが今一歩進んでもっと深く知りたいと思っても尋ねる相手がいないのです。教えられて学んで考えるのが仏教ではなく実践そのものだななどといわれても普段の日常でそんな時間はありません。お寺にいても住職は頼りになりそうにもないか、恐れ多くてつまらない質問をしにくいと思うほど愛想がなかったりして結局適当なところでお茶を濁している人は多いのではないのでしょうか。各自のレベルと興味に応じた仏教講座をおしゃれに展開すれば相当のひとが集まるはずです。

住職に魅力があって熱心に活動していればそのお寺には地域の人が集まりコミュニティが生まれて Gemeinde (檀家) は盛んになるという、なんの変哲もない結論に至ることになりました。

日本を元気に-日本の活性は地方都市の地域から。			45 才	女性
NO.140	P1	情報発信		
				⇒ジャンルへ

子供(高校2年生と中学2年生の男子)を育てながら感じてきた事があります。
 色々なお葬式にも出て、法事にも参加して、子供に精神教育もどきを夫婦でしてきていますが、
 家に仏様がいなかったり、近年の新興宗教の台頭により、私たちの世代は、親世代からも本当の
 宗教と言う物の宗旨やおまつりの仕方等知らない方が多いと思います。

昔から「お寺に来てもらって」の話から始まるお寺の世界ですが、今の時代はそうではないと思います。
 行きたくてもどんなときに行っていいのか、お寺との関わり方もわからないのが現状です。

子供の夏休みの修行道場を親子参加にしたり、日蓮宗の檀家の末裔だけでなく参加出来るようにしたり、
 全市内の町内会の青少年部に呼びかけて、夏休みにお盆の役割やお寺でのイベントを考えたりと、沢山
 地方都市からのお寺の役割は絶大に大きいと思います。

除夜の鐘も突けると言うPRもしたらいいと思いますし、31日の夜にお参り出来るのも、若い世帯はほとんど
 知らないのではないのでしょうか。

日本を元気にするのは、地方都市の小さい地域からです!!

アートで、お寺	やっぱり寺子屋	お寺で学ぼう	48 才	女性
NO.144	P1	本格経営		
				⇒ジャンルへ

* アートで、お寺

お寺という雰囲気にもマッチする、音楽・演劇を行う。

老若男女が集える。

一緒にカフェやマルシェ（手作り市）も行える。

* やっぱり寺子屋

地域の大学生や退職者と協力して、小中学生の勉強を見てもらう。

（ボランティアか、定額の徴収などで）

進めて行くうちに、あそび等のイベントにもつながる。

（教育格差の課題解決につながる）

* お寺で学ぼう

宗教から発した言葉の意味を探り、現代人に生活の再発見。

その他、何でもあり。

講師は、住職でもいいし、誰かゲストにしてもいい。

ハローワークのお寺さん		不明	女性
NO.146	P1	修行／土地を貸す／紹介所／本格経営	
			⇒ジャンルへ

農作物づくり、収穫、あと、炭焼き、薪づくり、堆肥づくりなど、を指導、敷地内に仕事場を提供し、就労の場とする。少しでも就職難にお役に立つような。庭掃除、お寺のお仕事などでも。お寺をハローワークのような存在に少しでもいいのでは。具体的な内容はまだですが。お仕事を提供しては如何でしょうか。

お茶を飲めるところをつくり、お稽古事の教室(子供から老年まで)をつくる。

これからは農業が大切かと思います。自然の中にいる人間ですから、自然とともに生活すれば、心身ともに健やかになれると思います。

座禅はお寺ならではの。短時間の座禅会を催して、住職さんとのコミュニケーションをはかつては。精進料理の提供なども。

パラパラと羅列しました。

お寺で朝読書！		48 才	女性
NO.148	P1	同じ趣味の会／本格経営	
			⇒ジャンルへ

タイトル「お寺で朝読書！」

アイデアの概要:朝(6時半ごろから9時ごろまで)の時間帯をお寺の本堂や境内の一部を近所の人に開放して、通勤・通学前や、朝のウォーキングの途中に立ち寄って読書をする空間を提供する。

セルフサービスのコーヒーや紅茶、お茶類のティパックもおき、実費程度の費用で利用可能にする。

お寺はうちの近所にも点在していますが、なかなか足を踏み入れる機会はありません。

まずは、老若男女が気軽に立ち寄れるところになればいいな、と思います。

最近、小中学校を中心に朝に読書タイムを設けている学校も多いですし、ビジネスマンでも朝に習い事をしたり勉強会をしたりと、朝の時間を有効活用している人が増えています。お寺は静かに心を落ちつけられる場の雰囲気がありますから、読書にも快適な場になると思います。家の近くで、会社の近くで、学校の近くで、と身近なところになじみのお寺ができて、落ち着いて自他に思いをはせ、毎日を大切に生きられるといいなあ、と思います。

お寺合コン お寺女子会 寺カフェ 座禅会			27 才	女性
NO.154	P1	修行／交流が目的の会／会場提供／相談窓口／本格経営		
				⇒ジャンルへ

①お寺合コン【寺コン～寺婚へ】

- ・独身のお坊さんが増えている。
- ・独身女性の中にはお坊さんと出会いたい人が結構いる。
- ・普通に生活をしているとお坊さんと出会う機会がない。
- ・普通の婚活パーティーでお坊さんがいると驚くが、寺コンなら、お坊さんと付き合うのがOKな女性が来るので先に繋がりがやすい。
- ・お坊さんの婚活の場を広げる。
- ・世の中のお坊さんと出会いたい女性の出会いの場を広げる。
- ・普段なかなか接する機会のないお寺のことについても触れる場があると、付き合ったり、結婚を意識する上では、将来を描きやすい。

※私は、お坊さんが素敵だと思うし、お寺に嫁ぐのもいいかなと思うので、そういう方と出会えるなら、出会いたいと思っています。
しかし、普通に生活しているとお坊さんと出会う機会がないので、こういう場があると嬉しいです。

②お寺女子会

- ・女子会ブームの今、お寺を開放して、女子会の会場にする。
- ・精進料理を食べながら、いつもの女子会とは違って、静かにしっかりと女子会をする。
- ・普段接することのないお寺の様子を知らせることができる。
- ・女子会の中では、よく恋バナなどがメインになるが、そういった悩みなどをお坊さんに相談し、仏教の導きなどを踏まえ、解決方法を見出したり、話を聞いてもらう。

③寺カフェ

- ・おしゃれカフェが増える中で、いつもとはちょっと違ったカフェタイムを過ごしたい。
- ・お寺でカフェをすることで、お寺の様子を知ることができる。
- ・寺カフェしながら、お坊さんと仏教の話や世間話をする。
(複数よりも1人での来店の方が望ましいかも)
- ・普段の生活に疲れたりしたときに、ホッとする癒しの場として寺カフェを提供。

④座禅会

- ・座禅をしてみたいと思っている人たちに気軽に来てもらえる座禅会をひらく。
- ・座禅をした後は、仏教についてお坊さんから話を聞いたり、精進料理を食べたりして仏教に触れる場を提供。
私は仏教に興味があります。
しかしながら、なかなか仏教に触れる機会もないし、お寺に足を運ぶのも、通常では気軽には行けない。
こういった状況を踏まえながら、気軽にお寺を身近に感じてもらえるようなイベントがあると、お寺にふれあいやすいと思います。

現代日本社会の諸問題を討論する場にする			35 才	男性
NO.163	P1	情報技術		
				⇒ジャンルへ

現代日本社会の諸問題を討論する場にする。立正安国の道場とする。
 (原発、財政再建、社会保障改革、自殺対策、少子化対策、など)

具体には、毎週討論内容を決めて、自由参加で討論を行う。
 出来るならば、各お寺の意見をまとめ、全国の日蓮宗寺院の総計を取り纏めホームページなどで発表する。

要約

「今迄寺院で培われた精進料理を弁当として、院内又は門前で弁当として販売する事です。」

現今、不景気の中、サラリーマンの多くは、小遣の減少に遭遇しているのが実状です。その為、昼の弁当代を減らしている人が大部分です。それ等の人々の為、寺で今迄に培かれた精進料理、或いは精進料理風の弁当を格安で販売されたら地域の皆様に喜ばれるのではないかと思っております。また、その地域が観光地であれば、観光客の弁当として、或は土産品としても喜ばれる事と思います。

そして、一寺だけでなく、ある程度のグループで作って頂ければ経費も安くなる事です。販売買もアルバイトを利用すれば、雇用の場を提供出来るのではないでしうか。(地域の仕出屋を利用して良しではなにかいずれにせよ伝統ある精進料理を弁当として、しかも格安に食する事が出来れば、地域社会との交流の幅も広がり、地域の活性化にも貢献出来る事と信じてをります。是非、実行をお願いします。

精進料理	乳幼児祈願	老人臨終正念	観光	防災拠点など	70才	男性
NO.171	P2	同じ趣味の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／本格経営				⇒ジャンルへ

その他のアイデアとして、

1. 寺院の何かのイベントの際、新生児や一才児の健康と成長を祈願する日を作ってはいかがでしょうか。
2. 同じように、老人達の為、安寧に成仏出来る祈の日を造らねてはいかがでしょうか。

3. 地域の観光旅行会社とタイアップして、有名寺院の観光をバス旅行として企画されてはいかがでしょうか。

4. 防災拠点として適地であれば、食料品、水、自家発電機等の備蓄をされ、地域の人々に提供されたらいかがでしょうか。

5. 発表の場の少ない学生さんや趣味家の発表の場の提供

6. 老人達の交歓の場として、ラジオ体操や講演会などの会場の提供

7. 地産品の販売の場として朝市など

8. 市町村の粗大ゴミから良品を選び、保持して

いる市町村のリサイクル品の販売の場を提供する
9. 遊地の図書館の場を作る。

以上の様な事を思いつきました。お役に立てれば幸いです。

靜因景福町桑原の地に住民が何百年
 間にもわたって守り給ひてきた二十四体の仏
 像群がある
 國の重要文化財である。未だ阿彌陀如来像の
 頭部の内側には、大仏師実成の銘が出土
 してゐた。実成は鎌倉時代の蓮慶より少し
 後の仙師ゲル、ノ慶派のひとりで、阿彌陀如
 来像は向かって右側に慈悲とあり、水月觀音菩薩
 及び左側に智慧とあり、水月觀音菩薩を祀えて
 あり、阿彌陀如来像と両脇侍仏と合わせて阿
 彌陀三尊と呼ばれてゐる。この阿彌陀三尊は
 かつて大英博物館に出品されたことがあり、
 近年この所蔵り最久金沢文庫に展示された。
 阿彌陀三尊と並んでゐる木造樂師如来坐像
 は平安時代中期の藤原時代の作とせられ、
 國史指定彫刻（有形文化財）である。高き一
 メートル一〇センチメートル、体躯と円満な表
 情をもち、顔と手首とが、製作者は阿彌陀
 三尊と同様に四方仙師と呼ばれ、中央仙師の五
 体の者とせられてゐる。

葉師如來像の因りにはお守り十二神将ハ
 這つていて、木造の十二神将の頭の上に于
 支の彫りもつか束、といふ十二神将の高
 は、いずれも一人一トル余りある
 阿弥陀三尊と重訂如來の二つの仙像群の間
 には、中富時代末期につくられたとせられ
 聖智菩薩 地藏菩薩像 毘沙門天立像などの
 ほかに、東南所指定の有形文化財五体が並んで
 いる。
 桑原地では古くは、神奈川県相模川の箱根
 権現の神領地、といわれ、いくつも建てさ
 れた寺には仙像がまつられ、時代が下るに
 つれて寺は相次いで廃寺になつたが、地元の
 住民たちは仙像を一カ所に集めて守つてきた
 といふより、一カ所に集めた二十四体の仙像
 群は、長瀬寺といふ寺の境内を借りて建てた
 茶師屋に寄託して来た。そして寺の住職の老
 人が土曜と日曜日に、一般の人の見学に村
 庭にてきた。敷地の三尺四方に、約四平方
 路線ハ入らないといふもので、茶師屋の仙

[illegible]

年中行事 ペット供養 避難訓練 剣道 諸道 そば教室ほか			39 才	女性
NO.177	P1	同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／土地を貸す／一般年中行事／仏教年中行事／本格経営		
				⇒ジャンルへ

- ・お寺の行事
- ・年中行事に参加 1月～12月迄。
- ① 節分 豆まき
 - のり巻作り 一般の人たちがのり巻を作る(恵方巻)
 - (みんなで作って、いけどき、おれぞ(持ち帰って。))
- 3月 雛祭 つま雛飾りの作り方を学ぶ。
- つま雛の中に願いを書いて、つます。
- 4月 おしゃや葉の誕生を学ぶ。
- 和芝居で一生を見せ、後で"みんなで"カレーを食べる。
- お寺で作る。みんなで"持ち帰る。"
- 5月 こどもの日 →みんなで"魚"を作ってふるまえる。 子どもの作り方を学ぶ。
- 7月 セタ →みんなでおかい"雑巾"をぬぐ。 その雑巾で"お寺のぞん"。
- 9月 十五夜 } 農作物などに感謝
- 10月 十三夜 } すきとすき等の和とおまんこを食べる。
- 12月 忘年会 → 年に1度 背負ったものを忘れる日
- つかない暮らしを願い、人並みに悩みや苦しみ、悲しみを取り、毎日を生きている。
- ★ 中には、大切な家族を病気や事故等で"なくし、深い悲しみの中で、誰にも話す人もいない方もいます。
- 動物を亡くした方もハートロスで"なかなか、落ち込んで、なかなか、元の毎日にもどすのは、たいへんなことです。
- (動物の法要をする。人間も宗教関係なく。)
- (手を合わせると持ちか、一緒だわ。)
- ★ ストレス解消法 → 各地に人に聞く、落ち込んだ時にも、
- すがすがしリフレッシュ出来るかも知れません。
- ★ 地震の避難訓練
- 実際は、そのようにいかなくても 日頃、やっていけば、体が動くわ。
- お寺は、広いお庭だから。
- ★ 剣道教室
- ★ 書道教室 → 心をみかく。今の気持ちを題材にする。
- ★ 日曜日の朝 美しい音楽とコーヒータイム
- 午前10:00～正午くらい
- ★ 1週間ごと、1箇月ごと。
- 何か今までは、謝らねえにきたものを、心をめて謝る。
- 過去のものでも。
- ★ そば教室
- 出来上がった、仏様にめしあげて、いただき、その後、私たちがいただきます。
- ★ お寺めぐりなど。 フリーマーケット・お祭りなど。
- 歴史を学ぶ。

郷土情報ライブラリー「Lotus Station」		39 才	女性
NO.178	P1	同じ趣味の会／会場提供／地域ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

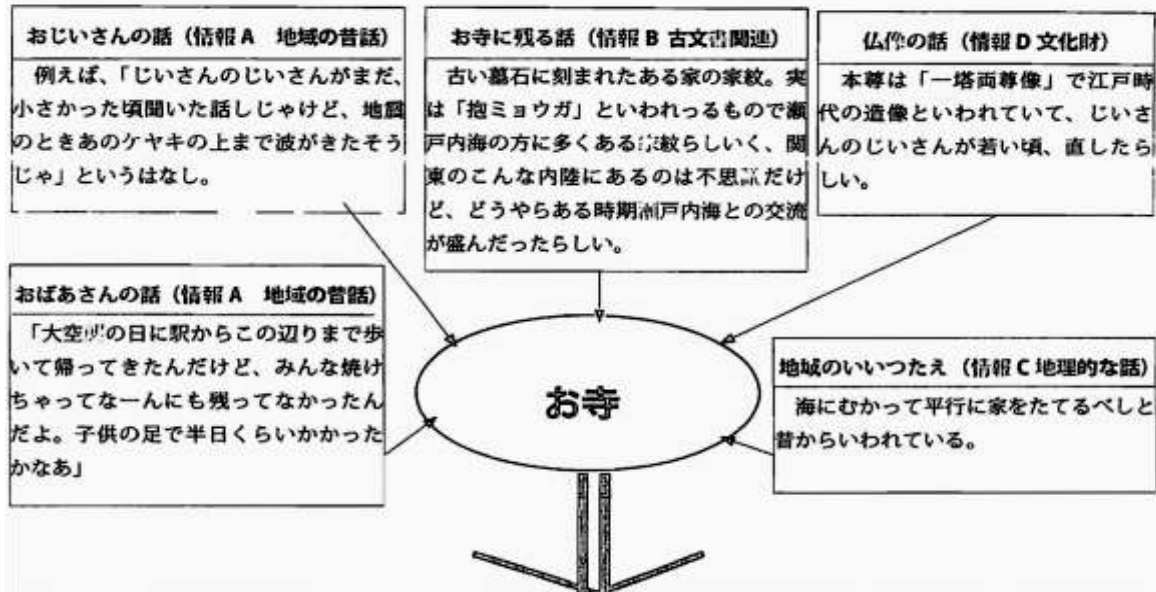
「不確かな情報も貴重な情報になる」

地震や津波、台風に大雪、洪水に日照り。そして、戦争。わが国は長い歴史のなかで東日本大震災規模の大きな災害に何度となく見舞われてきています。これからもそれを回避する事は出来ないでしょう。しかし、それらの災害による甚大な被害を被ってきたにも関わらず、現在の日本は高い生活水準の中、道徳的な生活を維持しています。それはなぜか。日本人のもつ他人と協力して、何かを成し遂げる「和の精神」で数々の国難を乗り越えてきたのではないのでしょうか。このコミュニティパワーの一端を担ってきたのが、お寺という存在であったことは事実であります。政治家や為政者はその時代で絶えず変化していきますが、役場や学校、集会所機能をあわせもったお寺という宗教施設はかわることなくそこに存在し続けます。このお寺としてのコミュニティパワーをいまこそつかってみてはどうでしょうか。

近所のおじいさんやおなたのおばあさんがおばあさんからきいた昔話、地域に伝わる言い伝えや風習などをあつめて、まとめて、共有する。確かなデータや証拠のない情報を大学や役所は情報として認めませんが、お寺なら郷土に伝わる不確かな情報もあつめて、まとめて、共有することで貴重な情報にかえる事ができるのではないのでしょうか。

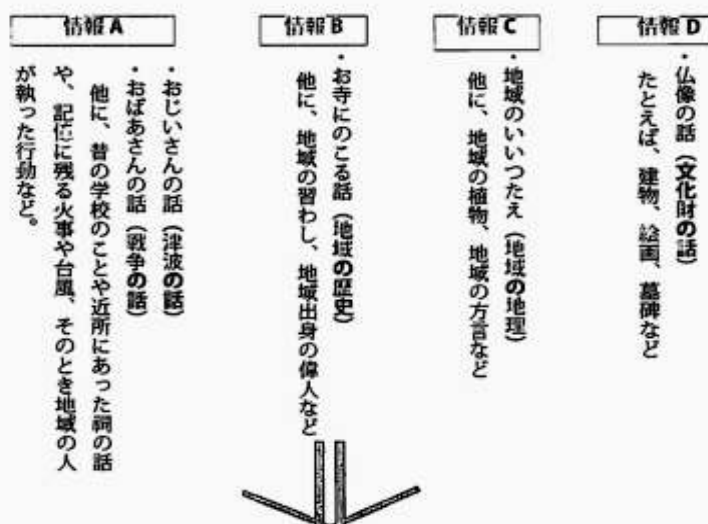
情報をあつめる

地域のいろいろな情報をひろく募集する。たとえば地域の広報誌や法要の挨拶で、「みなさんの知ってる地域のこと、をお寺に集めましょう」とよびかける。



情報をまとめる

あつまった情報をみんなでまとめる。地域の中からボランティア会員を募集して集まった情報をまとめていく。



情報を共有する

情報をひろく公開し、地域住民と共有する。図書館のように自由に閲覧でき、かつ自分の知っている事、知った事を提供する事が出来る。あくまでも地域に根ざした情報ステーションである。

郷土情報ライブラリー「Lotus Station」		39 才	女性
NO.178	P3	同じ趣味の会／会場提供／地域ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

・寺院には長い歴史があり、その歴史は地域の歴史でもあります。歴史がもつ情報は確かなものから不確かなものまでさまざまです。行政や学校はその情報の真偽を確かめ、不確かなものは記録しないし、情報を確定するには発掘や調査、科学的実験など時間やお金もかかります。そのような情報ではなく、地域に伝わる昔話や古老の話など証明が難しいけど伝えられてきた生の情報をお寺であつめて、まとめて共有し、また次の世代に伝えていく。

例えば、千葉の九十九里には元禄時代にたてられた18基の石碑があります。それぞれが「千人塚」「百人塚」「津波塚」など呼ばれていて、その里には「浪切不助」とよばれる古刹があります。この石碑は元禄の大津波後にたてられたらしく、これは当時の人たちからのメッセージなのです。その大津波でたすかった当時の人の古文書にはそれには「大なる地震押し返して揺るとき、かならず大津波と心得て、家財捨てて早く岡へ逃げ去るべし。(略)高きところはたすかる」と記されており、この文書も石碑同様先人からのメッセージなのです。しかし、今回の震災までは「百人塚」「千人塚」も存在も明らかでしたが、その伝承を知っている人も少なく、知っていても「ここまではこないだろう。昔の人がすこし大げさに言っているんだ」くらいに認識していたそうです。このような事象は全国にあり、その情報の多くを持っているのは地域の寺院なのです。

・集まった情報を整理することで、専門的な分科会ができます。「地域の歴史が得意なグループ」や「昔話を聞くのが好きなグループ」、「フィールドワークが好きなグループ」、「古文書が好きなグループ」などなど。分科会がそのままカルチャーセンターとなり、人の幅がひろがっていきます。

・地域住民から積極的に情報をあつめ、まとめ、積極的に公開提供することで地域に根ざした相互補助の関係を樹立する。

郷土情報ライブラリー「Lotus Station」		39 才	女性
NO.178	P4	同じ趣味の会／会場提供／地域ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

その先に

情報ステーションとして機能すると、その先にもっと多くのことができるようになります。

お寺の多くは防犯上、夜など門戸を堅く閉ざしていると思いますが、人が交流し、多くの人を受け入れる事に対応できるようになれば、震災時、シェルターとして帰宅困難者や負傷者を受け入れる事が出来るようになるのではないのでしょうか。コンビニエンスストアより多いお寺だからこそできる働きであります。

ただ、人の交流が盛んになると、上記のようなメリット以外に防犯上のデメリットが発生します。寺宝の盗難や火の不始末による火災などです。火災に関しては、出入りする人やまわりの人たちが注意したり、防火建物にする以外にさける方法がありませんが、盗難に関しては少なくとも人の交流がデメリットになるばかりではありません。

盗難の被害は無住のお寺や秘仏に多く見られます。それは、管理する人がいないことや、所有者や僧家が現状を正確に把握していない為におこっているのです。まずは、専門家に依頼するまえに、それぞれのお寺で現状を正確に把握し適切に対処することが大事です。

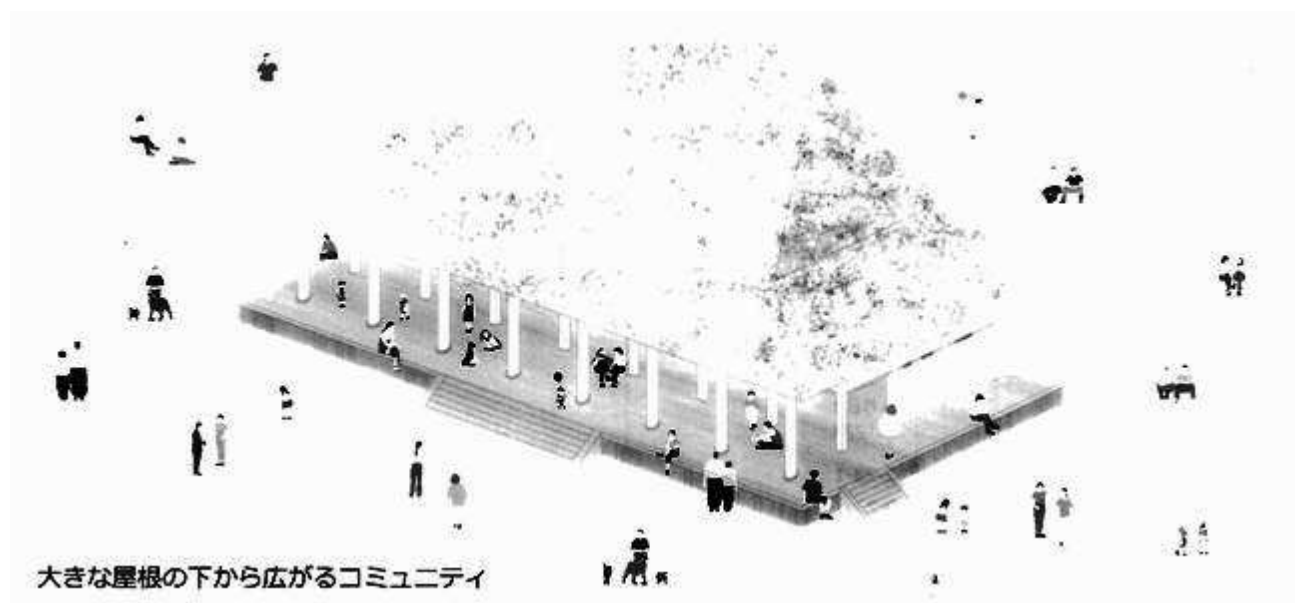
たとえば

- ・仏像は何体いらっしゃるのか。大きさは？おもさは？
- ・安定した自立は確保されているのか？
- ・損傷がどれくらいなのか。持ち上げたとたんバラバラになってしまいそうなのか？
- ・安置されている場所の状況は？ などなど。

そのためには多くの人材が必要になりますが、情報ステーションとしてお寺が機能すれば、人材の確保も容易になり寺宝の状況を多くの人と共有することも可能になります。情報の共有は情報流出するというマイナスの側面とともに、監視する眼が増えるというプラスの側面ももっています。

人の交流は、地域情報を次世代に伝えていくとともに、お寺の歴史も伝えていくことになるのではないのでしょうか。

大きな屋根の下から広がるコミュニティ		34 才	男性
NO.179	P1	勉強会／公園化／本格経営	
			⇒ジャンルへ



大きな屋根の下から広がるコミュニティ

お寺はその尊厳なイメージから、現代では行事の時以外は少し敷居の高い場所になっています。また観光地として、地域の人のためというよりは、観光客のための庭や建物を鑑賞する場所になっています。

ここでは地域の人たちが気軽に立ち寄れて、楽しく時間を過ごすことで、地域に対してここからコミュニティが生まれるような3つのアイデアを提案します。

①お寺を公園にする。

- ・大きな屋根面を緑や花で覆うことで、地域の優しいシンボルとなります。
- ・本堂の建具を開放することで、地域の大きな緑側となります。
- ・敷地全体を緑の公園にして、誰でも入りやすい明るい雰囲気をつくります。

②精進料理のお弁当

- ・食の安全や健康志向などから、精進料理のお弁当をお寺で作ったり、買ったりできるようにします。
- ・精進料理のお弁当をお寺の公園・緑側の好きなところで食べられるようにすることで、楽しい、ゆっくりとした時間を過ごします。

③ネットワークで全国につながるお弁当レシピ

- ・全国各地にあるお寺の、その地域独自の精進料理のレシピをインターネットを使ってネットワーク化します。
- ・地域色豊かな、楽しいお弁当のネットワークをつくります。

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

地域社会のためのお寺の活用アイデア

(1) タイトル「行けば、ご縁と笑顔がある」

概要「目標は、お寺は、誰でも立ち寄り受け入れてくれる場所として認識してもらう。目的は、1年後、地域の皆さんで行事をよりいいものに作り替え、自分達の手で『わくわくカレンダー』を創り、継続していく」



(2) アイデアのコンセプト「全国のお寺どこでも、どのお坊さんでも低予算ででき、お坊さんも楽しめる」



参考資料の留意点

- 日付、費用、内容、名称等は、自由に変更可能
- 初めは馴染みがある行事から行っていき、お寺に慣れて頂く
- お寺の仕事や自分に差し支えない範囲で行う
- もし可能であれば、行事に「説法」の時間を取り入れる
- お寺やスタッフの方は、「笑顔」と「元気な挨拶」で迎える
- 別紙のカレンダーは、インターネットから無料ダウンロードのため、自分達で作成できる

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

通年

クリーン・アップ(清掃活動)

第3土曜日 毎月1回。掃除は作務(さむ)の一つで「塵を払い、垢を除く」ことで心(自己)も磨くことにつながる

- お寺の役割: 行事の主催。作務(さむ)に関する説法を説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - ほうき
 - ちりとり
 - トング
 - ごみ袋
- 必要なこと: 出勤の記録、管理



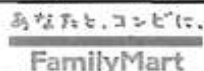
【協力企業】

お近くの店舗もしくは企業の CRS 担当まで、直接お問い合わせ願います。企業によっては、清掃終了後、飲み物を提供して頂ける場合もあるかも。

マクドナルド



ファミリーマート



ドコモ



スターバックス



JT



アルミ缶の値段

アルミ缶



100円/1g

- 洗う必要はありません。
- 缶の形状は、丸缶のままでも潰しても結構です。

《重さの目安》

45Lのゴミ袋に一杯詰めたとして

・丸缶の状態で 約1.5kg

・潰した状態で 約9kg

※スチール缶は買取出来ませんが、無料回収致します。



アルミ缶のタブだけを集めると何かもらえるってホント？

「アルミ缶のタブ(とって)を集めると車輪やがもらえるという話がありますか、どこへ持参したらいいですか？」という問い合わせがありますが、当協会では、そのような事業に関係していません。下記の理由により、タブだけを集めるような事は賛成していません。

理由①タブを無様に取り外そうとするとケガをする恐れがあります。

理由②アルミは重量で取り扱われるので、タブだけを集めるより「アルミ製丸ごと」集めたほうが何十倍もリサイクル価値があります。

理由③タブだけを集めるのは、協会、コンビニから、コダレ様になります。

タブを取り外して「アルミ製丸ごと」リサイクルした方が安全で効率的です。もし、お知り合いにタブだけを集めている方がいたら、アルミ缶そのものをリサイクルするようすすめてみてください。



出所: アルミ缶 リサイクル協会

レンタル・サイクル(観光用)

毎日
または土日

お寺の駐車場を利用し、地元の自治体へ協力し、観光へ貢献する。また、観光客も自然と来てくれる



- お寺の役割: 駐車場の提供
- 費用: 無料もしくは有料(自治体による)
- 用意するもの
 - なし

行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P3

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

通年

お取り寄せ会

第2土曜日

毎月1回。ネットから皆の人気の高いお取り寄せを取り寄せ、皆でワイワイ楽しく頂く。家族のみでは送料がかかる、食べきれない、けど、食べたいという要望を満たす



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 有料(実費を参加者人数で割り勘)
- 用意するもの
 - PC
 - お茶
 - 紙皿、紙コップ(持参でもOK)

音楽活動の支援

練習日

コーラス、演奏、バンドをされる方に練習の場を提供



- お寺の役割: 場所の提供
- 費用: 有料(1時間 1,000円)
- 用意するもの
 - なし

ご縁掲示板

毎日掲示

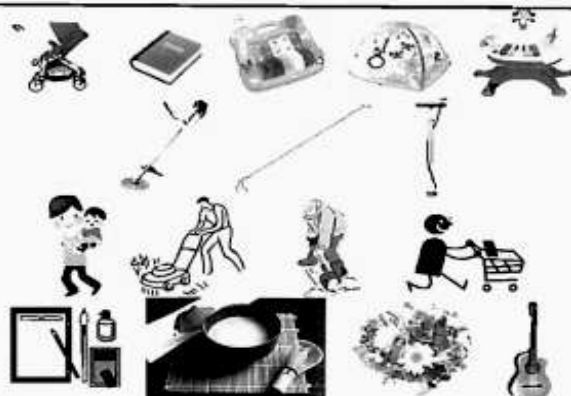
お寺の掲示板の一部を利用し、下記を通じて、物を大切にし、ご縁を結ぶ



- お寺の役割: 掲示板の提供
- 費用: 無料もしくは有料(1枚 50円)
- 用意するもの
 - 掲示板

※責任は、当事者間で取る

例



- ①使用可能な不用品を譲る
 - 本、ベビーカー、三輪車、おもちゃ、色鉛筆
- ②有料で機械を貸す
 - 草刈り機、枝切りバサミ、自転車の空気入れ
- ③実労働
 - 子守り、草刈り、雪かき、お掃除、買い物
- ④教える
 - 書道、茶道、フラワーアレンジメント、ギター

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P4

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

1 月

七草がゆ

7 日

一年の無病息災を願って食べる。御節料理で疲れた胃を休める



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 有料(材料費+水道代 50~100 円)
 - お茶碗、箸は、エコ推進のため持参
- 用意するもの
 - 下記の材料
 - 調理なべ(参加者の家庭から借りる等)
 - 割り箸(忘れた方用。参加者からの寄付)
 - 台所スポンジ(参加者からの寄付)

材料(4人分)

米	1 合(180ml)
七草	適量
塩	少々
白ごま	適量
黒ごま	適量

作り方

1. 米はといで、水900mlとともに土鍋に入れて、沸騰したら弱火にし30~40分ほど炊く。途中ふきこぼれそうになったら、ふたをずらして蒸気を逃がす。
2. 七草は細かく刻む。
3. おかゆが炊きあがる5分前に、塩少々をふり入れて七草全体に混ぜる。器に盛って白ごま、黒ごまをふる。



セリ



ナズナ



ゴギョウ



ハコベラ



ホトケノザ



スズナ



スズシロ

出所: キッコーマン株式会社

成人の日

第 2 月曜日 大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます



- お寺の役割: 着付けの場所として提供(美容室は狭いのと、着付けは広い場所が必要なため)
- 費用: 有料(人件費+会場代 500~1,000 円)
 - 着付けのみ。着付けに必要なものは持参
- 用意するもの
 - 着付けができる方
 - タオル(雨・雪だった場合に濡れた箇所を拭うため)

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P5

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

2 月

豆まき

3 日 春が来る季節の変わり目に豆を撒いて邪気を追い払い、無病息災を願う風習



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 無料(毎年無料で行っていると思われるため)
- 用意するもの
 - 鬼のお面
 - 福豆
 - みかん
 - 袴(着衣しなくても OK)

恵方巻き

3 日 節分の夜にその年の恵方に向かって目を閉じて一言も喋らず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじり(丸かぶり)するのが習わし



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 有料(材料費＋水道代 50～100 円)
- 用意するもの
 - 下記の材料(参加者に具を一部分づつ調理、持参してもらい、お寺では巻くのみ)
 - 巻きすも持参
 - 濡れタオル(お手吹き用)

材料(2人分)

ご飯(温かいもの)	2カップ
かんぴょう	約50cm
生しいたけ	3枚
卵焼き(市販)	80g
かに風味かまぼこ	3本
きゅうり	1/2本
焼きたまご(Ａ)	2枚
酢	大さじ1と1/3
砂糖	小さじ2
塩	少々
きゅうり(Ｂ)	大さじ2
水	大さじ4

作り方

1. ご飯に(Ａ)の合わせ酢を加え混ぜる。
2. かんぴょうは塩少々(分量外)をまぶしてもみ、水洗いし、2等分して熱湯で5分ゆでる。
3. 生しいたけは軸を切る。
4. なべにご飯をぎった(2)、(3)、(Ｂ)を入れて中火で煮て味を含ませる。生しいたけは薄切りにし、かんぴょうとともにご飯をきる。
5. 卵焼きは1cm角の棒状に切る。
6. きゅうりは縦半分に切り、さらに縦4～6つ切りにする。
7. 巻きすにのりをおき、(1)を平らに広げる。のりの手前1cm、奥3cmは、ご飯を広げず、残しておく。
8. ご飯の中央に、しいたけ、かに風味かまぼこ、かんぴょう、卵焼き、きゅうりの順に並べる。
9. 具が動かないように指でかるく押さえながら、巻きすごとくまわりと巻く。

2012 年の恵方の方角は、おおよそ北北西(北微西。北北西やや右)正確には壬



出典: キッコーマン株式会社

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P6	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

3 月

ひな祭り

3 日

赤ちゃん・子どもの健やかな成長と厄除けを願う行事

※2 月、節分、立春を過ぎた大安、友引に飾り、3 月 3 日夕方から片付け



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供(各家にある雛人形をまとめて飾る場として提供)
- 費用: 有料(ひなあられ代 50~100 円+甘酒 100 円)
- 用意するもの
 - 雛人形(もし、お寺にあればそちらを飾る)
 - ひなあられ
 - 甘酒

【Q&A】

- 左大臣が右で、右大臣が左なのはなぜ？
雛人形は、お内裏様とお雛様に対して、それ以下の段にいる人たちが向き合った設定になっています。つまり、お内裏様、お雛様以外の人たちは実際と左右が逆になっているのです。
- 白い顔の人と赤い顔の人がいるのはなぜ？
位の高い貴族は、男性でも化粧をしていたので、白い顔をしています。泣き上戸の顔が白いのは、お化粧をしているからではなく、顔色が悪いため。
- お雛様は何歳？
お雛様のお顔は、18 歳のときの顔で作られています。最近人気のある木目込み人形の雛人形は、赤ちゃんや子どもの顔で作られているので、雰囲気はかなり違いますね。
- お内裏様が持っているものは何？
お内裏様が手に持っているものは「笏(しゃく)」と言い、朝廷の式次第を書いた台本のことです。
- お道具は何を意味しているの？
鏡台や茶道具、重箱などのお道具は、結納の品です。余談ですが、雛人形にはお道具や飾り物が多く、しまうときにわからなくなってしまうことも多いので、飾る前に収納時の写真を撮っておくと、片付けるときにどれがどの箱なのかわかるのでおすすめです。
- 雛人形の雛壇が赤い理由は？
赤は血の色。神社の鳥居が赤いのと同じく、魔よけの意味があります。そのため、雛人形の雛壇には赤い毛氈を敷くのです。
- 立ち雛はなぜお道具がないの？
お道具や飾りのたくさんあるお雛様と比べて、お道具がない立ち雛。これは、お内裏様とお雛様が表を歩いている設定のためです。

出所: All About 田中 梨香さん

行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P7

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

3月

東日本大震災供養のための写経

11日

または土・日

東日本大震災の犠牲者を供養するため、般若心経を写経する



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 無料もしくは有料(500～1,000円)
郵送料(山形県へ送付する場合のみ)
- 用意するもの
 - 左の見本(BA)
 - 筆(筆ペンでも代用可能)
 - 墨
 - 紙
 - 机
 - 座布団
 - 封筒(山形県へ送付する場合のみ)

【一萬の祈り】

2011年10月9日、計1万2,463枚の写経を山形県の月山の経塚へ山伏らによって埋設しました。2012年も9月か10月に実施予定です。写経にご協力頂ける場合は、写経の郵送先を教示致します。また、お坊さんや参加者の方々が写経を動行し、月山の頂上まで運んで頂くことも可能です。(宿坊は用意させて頂きませんが、交通費、宿泊費等全て自費となります。お布施等で集められてもよろしいかと思います)。なかなかお寺から離れられないお坊さんにとって、出かける機会となり、他のお坊さんとものご縁も結ばれるきっかけになれば幸いです。ちなみに、月山は映画「おくりびと」の舞台になったところでもあり、「死と再生の聖なる山」と崇められています。

月山山頂に震災の犠牲者供養の経塚建立

山形新聞

Yamagata News Online

2011年10月09日 21:51

東日本大震災の犠牲者を供養しようと、庄内と内陸にまたがる月山(1984メートル)山頂に9日、経塚が建立された。全国各地や海外から寄せられた1万枚を超える般若心経の写経を、それぞれに込められた思いとともに霊峰の頂に収めた。

出羽三山の主峰月山は古来、死者の霊が集まる場所とされている。犠牲者を供養するとともに、震災の教訓を後世に伝えようと、羽黒山伏らで実行委員会(星野文雄委員長)を組織し、5月から写経を募り始めた。海外の26カ国からも約3800枚が寄せられ、先月中旬に目標の1万枚を突破。計1万2463枚が集まり、山伏たちが動行で一枚一枚を読み上げた。

この日朝、実行委員会のメンバーら約20人が手分けして写経を背負い、鶴岡市側の合目を出発。午前11時ごろ山頂に到着した一行は、月山神社裏に設けられた塚に写経を埋め、建立祭を行った。澄み渡る青空の下、山伏たちが一心に祝詞を唱え、犠牲者の冥福と被災地の一日も早い復興を祈っていた。星野委員長は「犠牲者の魂が集まる場所で、供養とともに復興祈願への思いを発信していくことが重要だと思う」と経塚への思いを語っていた。



完成した経塚の前で、震災犠牲者の冥福や被災地の復興を祈る山伏たち。月山山頂



出所:「山形新聞」、映画「おくりびと」



行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P8

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

4月

子ども110番

入学式後の
中旬

児童等が助けを求めることができる民間協力の拠点「子ども110番」の人や場所(施設)の把握

子ども110番のいえ

助けを求めたことがあったときは
ここに助けを求めましょう



小平市立
小中協同会
小・中・高



- お寺の役割: 行事の主催。「子ども110番」への参加により地域の安全に貢献。登録は、各自治体、最寄りの警察署にご相談下さい
- 費用: ステッカーは無料配布(※地域で定着しているマークを使用)
- 用意するもの
— 「子ども110番」の地図があれば、それを配布。なければ独自に作成(コピーは学校へ依頼)
- 協力者: 学校、PTA、警察、駅、タクシー、「子ども110番」のいえの方

小学生6年生が入園・入学した子供を連れて、「子ども110番」の家、お店、駅、タクシー、お寺を巡り、人や場所(施設)を把握

【例】

平成19年(2007年)7月

東丘小学校 安心・安全マップ

図	説 明
①	メゾン千代03～07 2号館 3号館 4号館 5号館 7号館 8号館 9号館
②	ガーデンビル
③	ウオッシュ
④	東丘A32～A36 スチールハウス
⑤	ローレルコートあかしやの丘
⑥	東丘1～5号
⑦	東丘11～13号
⑧	東丘メゾンシティ (1～4号館)
⑨	東丘メゾンシティ (5～7号館)
⑩	公園C1～C30



出所: 沼中市新千原町

行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P10

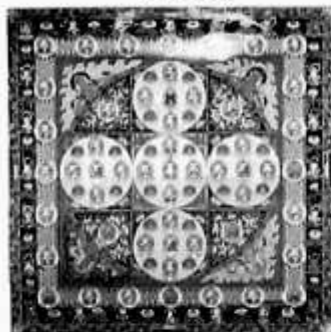
修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

6月

曼荼羅(まんだら)づくり

仏教の世界観を表現した絵画「曼荼羅」を自分で作成することにより、仏教への理解を促す。給食の牛乳瓶のふたの裏を利用し、仏様の画像を貼るか梵字を書く。子供は、夏休みの自由課題として提出できる



※金剛界曼荼羅(あくまでも例です)



牛乳瓶のふたで作成するためエコ

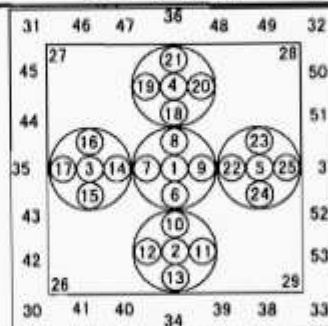
- お寺の役割: 行事の主催。曼荼羅の配置図と説明
- 費用: 無料(できれば)
- 用意するもの
 - 給食の牛乳瓶のふた
 - 各仏様の画像
 - のり
 - 下図のような配置図
 - 背景のための厚紙もしくは画用紙。自由に絵を描いてもらう
 - 梵字の場合は、筆、墨が必要

少ない(4~8)場合



1人で作成可能

多い(53)場合



5つの円、外側、背景の絵など、作成パーツ分けて、クラスみんなで作成

五仏	十六大菩薩	内の四供養菩薩	賢劫十六尊
1 大日	10 金剛薩埵	26 金剛蟻	38 弥勒
2 阿閼	11 金剛王	27 金剛鬘	39 不空見
3 宝生	12 金剛愛	28 金剛歌	40 滅惡趣
4 阿弥陀	13 金剛喜	29 金剛舞	41 除憂闇
5 不空成就	14 金剛宝	30 金剛香	42 善象
四波羅蜜	15 金剛光	31 金剛華	43 大精進
6 薩埵金剛女	16 金剛幢	32 金剛燈	44 虚空蔵
7 宝金剛女	17 金剛美	33 金剛塗	45 智幢
8 法金剛女	18 金剛法	34 金剛鉤	46 無量光
9 業金剛女	19 金剛利	35 金剛索	47 月光
	20 金剛因	36 金剛鐺	48 賢護
	21 金剛語	37 金剛鈴	49 光網
	22 金剛業		50 金剛藏
	23 金剛護		51 無尽慧
	24 金剛牙		52 弁積
	25 金剛拳		53 普賢

出所: 金剛界曼荼羅 / <http://www.igoch.co.jp/html/pgmethod/new/mandala/kongo/index.htm>

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P11	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

7 月

石文(いしぶみ)

土・日

石文(いしぶみ)とは、人が言葉を持たなかったころ、自分の想いを相手に伝えるために、石を渡した。もらった人は、その石で、相手の感情を読み取る。親子、友達、初めてあった人などで手軽に楽しめる



出所:映画「おくりびと」

- お寺の役割: 行事の主催。相手を想う大切さを説く
 - 費用: 無料
 - 用意するもの
— 石
 - 必要なこと: 石がある所への移動(川、山、公園等)
- ※図書館で映画「おくりびと」の DVD を借り、図書館や区・市民館でご覧になるか、プロジェクターを借りられれば、お寺での上映後に実行されることが望ましい



ロンドン・オリンピック観戦

7 月 27 日～
8 月 12 日

ロンドン・オリンピックが開催される。なでしこジャパンを皆で楽しんで応援しよう!



- お寺の役割: 行事の主催。会場とテレビの提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
— テレビ
- 必要なこと: お知らせ

スポーツ観戦

試合開催日 野球、サッカーの日本シリーズを皆で楽しんで応援しよう!



- お寺の役割: 行事の主催。会場とテレビの提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
— テレビ
- 必要なこと: お知らせ

NO.180	P12	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	⇒ジャンルへ
--------	-----	---	------------------------

7月

家紋

土・日

家紋から自分のルーツを知る。お墓の家紋を調べるために、お墓参りすることを促し、お墓参りの作法を知り、先祖に想いを寄せることの大切さに気づいてもらう

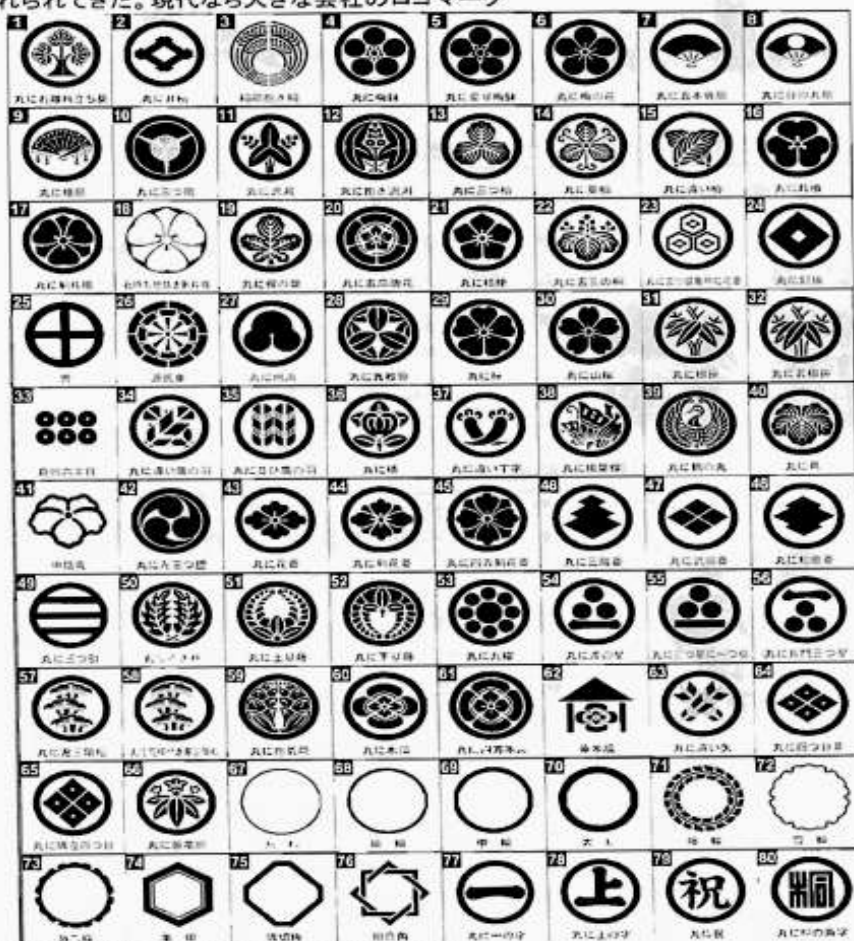


丸に三つ葵(まるにみつあおい)
徳川家の紋。ドラマ水戸黄門の印籠にも使用

- お寺の役割: 行事の主催。家紋の由来やそれぞれ意味を説明。またお墓参りの作法を教え、先祖供養の大切さを説く
- 費用: 無料もしくは有料(コピー代など実費のみ)
- 用意するもの
— 家紋の一覧表
- 必要なこと: 自分のお墓の家紋を調べる

【家紋】

およそ2万点あり、家系・血統・家柄・地位といった自分の出自を表すために、平安時代頃から使われてきた紋章のこと。読み書きができない人でも一目で見分けることのできるため、衣服や調度品など、生活の様々な場面で取り入れられてきた。現代なら大きな会社のロゴマーク



出所: 家紋一覽表 (<http://www.catseye.co.jp/koinobori/kanon.htm>)

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P13	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

8 月

お盆のためお休み

15 日

本業が忙しいと思われるため、お休み

※旧暦、新暦で 7 月の地方もあります。適宜、ご調整ください。

時間的な余裕がありましたら・・・

お盆の風習

土・日

地元の風習のやり方をまとめた用紙を配布もしくは掲示板に掲示



「精霊馬」(しょうりょううま)

故人の靈魂がこの世とあの世を行き来するための乗り物

- お寺の役割: 先祖供養の大切さを説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - 地元の風習のやり方をまとめた用紙の作成

釜蓋朔日



1 日を釜蓋朔日(かまがたついでち)といい、地獄の釜の蓋が開く日であり一般的に 1 日からお盆である。この日を境に墓参などして、ご先祖様等をお迎えし始める。地域によっては山や川より里へ通じる道の草刈りをするが、これは故人が山や川に居るという文化に則り、その彼岸からお還りになる故人が通りやすいように行う。また、地域によっては言い伝えて『地獄の釜の開く時期は、池や川などの水源にはむやみに近付いてはならない』というものもある

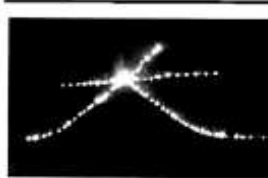
出所: ウィキペディア

迎え火



13 日夕刻の野火を迎え火(むかえび)と呼ぶ。以後、精霊棚の故人へ色々なお供え物をする。地方によっては、「留守参り」をすることもある。留守参りとは、故人がいない墓に行き掃除などをすることをいう。御招霊など大がかりな迎え火も行われる

送り火



16 日の野火を送り火(おくりび)と呼ぶ。京都の五山送り火が有名である。15 日に送り火を行うところも多い

初盆・新盆



人が亡くなり 49 日法要が終わってから次に迎える最初のお盆を特に初盆(はつぼん)または新盆(しんぼん、にいぼん、あらぼん)と呼び、特に厚く供養する風習がある。これも地方によって異なるが、初盆の家の人は門口や仏壇、お墓に白一色の盆提灯を立てたり、初盆の家の人にそういった提灯を贈ったりして特別の儀礼を行ない、また初盆以外の時には、模様のある盆提灯やお墓には白と赤の色が入った提灯を立てたりする

9月

防災訓練

1日

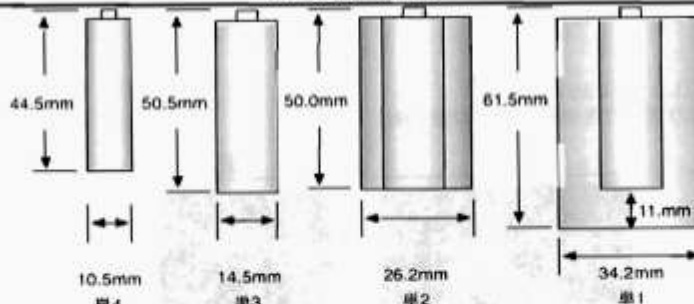
または土・日 大震災についての認識を深め、対処する心構えを準備する。今回は、非常用電池の作り方を学ぶ



※あくまでも「緊急用のアイデア」です

- お寺の役割: 行事の主催。大震災への実用的な備えを教える
- 費用: 無料もしくは有料(コピー代など実費のみ)
- 用意するもの
 - 単3乾電池(参加者の持参)
 - A4用紙(チラシでも印刷されていてもOK)
 - 1円玉8枚、アルミホイル、パチンコ玉
 - はさみ
 - 作成手順を記載した用紙

乾電池のサイズ



A4用紙



A4用紙は297×210なので二つ折りにして、1円玉の大きさ(20ミリ)だけずらして四つ折りにし、はみ出た分を切り落とすと紙の幅は42.5ミリになる。これを2枚分巻くとだいたい単2電池と同じサイズになる。

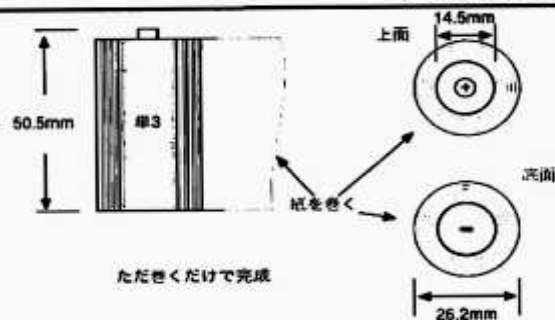
なお、あまりいい加減に巻いたり、実際の単2電池の直径(26.2ミリ)より太くなってしまうと懐中電灯などだと取り出せなくなるので注意。また、巻き始めを電池にセロテープで固定してしまうと後から電池が抜けなくなりますので固定しないように。(スペーサーは使い回せるため)

A4用紙は297×210なので縦長に四つ折りにすると幅が52.5ミリになる。

単3電池の下に(別に上でも良いが)パチンコ玉を挟んだ状態で紙(5枚分)を適当に巻き付けると緊急仕様の単1電池のできあがり。

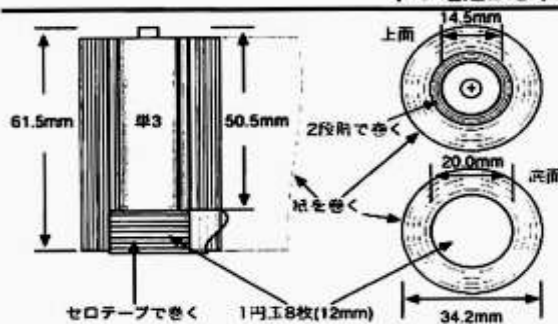
紙幅が若干狭い方が電極に干渉しないので良い。逆に紙がはみ出ていると電極が正しく接触しないなどの問題が出る。

単 3 電池から単 2 電池を作る方法



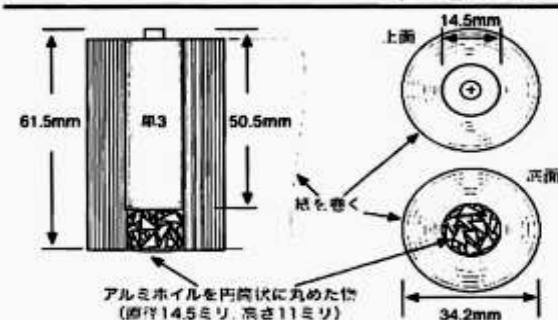
単 3 と単 2 は長さが(ほぼ)同じなので、紙などを巻いて 14.5mm を 26.2mm にまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように

単 3 電池から単 1 電池を作る方法①



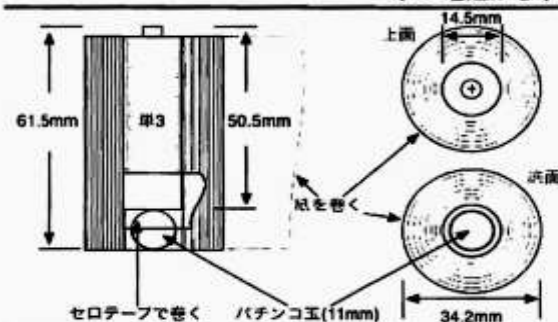
1 円玉を 8 枚(12mm)をセロテープなどで固定し、紙などを巻いて 14.5mm を 34.2mm にまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように
※なおこれは貨幣損壊には該当しない

単 3 電池から単 1 電池を作る方法②



アルミホイルを円筒状(電池と同じ太さ、高さ 11 ミリ)に固く丸めてゲタにし、電池と共に紙などを巻いて 14.5 ミリを 34.2 ミリにまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように

単 3 電池から単 1 電池を作る方法③



パチンコ玉(11mm)をセロテープなどで固定し、紙などを巻いて 14.5mm を 34.2mm にまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P16

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

10 月

終活(しゅうかつ)

いつでも 「人生の終わりのための活動」の略。人生の最期を自分の望むように準備することで、例えば葬儀の
または土・日 内容やお墓のことを事前に決めておく、遺産相続を円滑に進められるための計画を立てておく



- お寺の役割: 行事の主催。終活を通じて、死や人生を見つめなおす機会を提供
- 費用: 無料もしくは有料(テキスト代など実費のみ)
- 用意するもの
— テキストやパンフレット(葬儀、お墓、遺産相続、仏壇)
- 協力者: 知り合いの葬儀屋さん、墓石屋さん、司法書士、お仏壇のはせがわ等

【終活の本】

遺言・葬儀・相続の
すべてがわかる本



いざ、というときのために知
っておきたい大切なことが図
解を見て簡単に理解でき
る！「終活」を始めたい方に
も最適!!

おひとりさまの終活



自分らしい老後と最後の準備

葬式は必要!



最期の儀式に迷う日本人のた
めに

わたしの葬式自分のお墓



よりよく今を生きるために、人
生の最後を考える終活マニ
アル

【お仏壇のはせがわ】

はせがわ 祈り・供養・感謝

0120-558-594

365日24時間対応致します。

※サービスは、現在 1 都 7 県(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県)にお住まいの方に限らせていただいております。

お仏壇・お墓についてのお問い合わせ 受付時間 10:00～18:00 不定休

東日本 **0120-11-7676** 西日本 **0120-76-3976**
フリーコール フリーコール

お葬式についてのお問い合わせ・ご相談 受付時間 24時間 365日

0120-558-594 東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、
群馬県、栃木県、山梨県にお住まいの方に
限らせて頂いております。

出所: お仏壇のはせがわ(<http://sougi.kuyou.com/>)

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P17

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

11 月

エコ交換

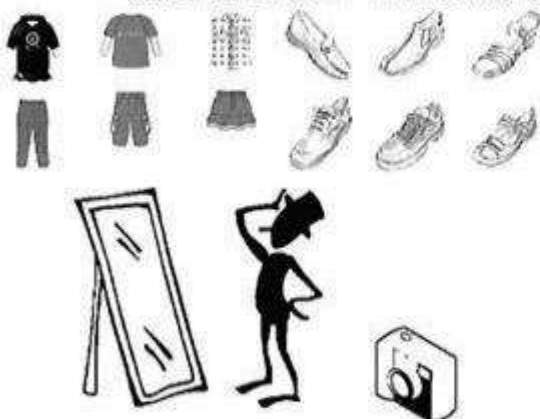
土・日 物々交換。リサイクルし、「もったいない」精神を育む



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - まだ使用可能な品物(洋服、靴、傘、文房具、CD、ゲーム、台所用品、タオル等、持ち帰るものに限定)
- 必要なこと: お知らせ

Re・コーディネート(リユース(Reuse・再使用)の「リ」)

土・日 タンスの肥やしになっている洋服やエコ交換で交換した服や靴などを洋服販売の方にコーディネート提案してもらい、リユース(再使用)する



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 無料もしくは有料(洋服販売の方への謝礼)
- 用意するもの
 - タンスの肥やしになっている洋服
 - エコ交換で交換した服や靴
 - 鏡(ない場合は、携帯のカメラ撮影で確認)
 - 携帯もしくはデジカメ
- 必要なこと: 洋服販売の方(デパートや商店街の方)

12 月

クリーン・アップ(清掃活動)の慰労会

第 3 土曜日 毎月 1 回行っているクリーン・アップの方々の交流を持ち、皆勤者には景品を贈呈



- お寺の役割: 場所の提供、作務(さむ)に関する説法を説く
- 費用: 有料(飲食代など実費のみ)
- 用意するもの
 - 景品(区・市役所など、もしくは参加企業から寄付してもらう)
- 必要なこと: 出勤の記録、管理

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

1. はじめに

今回の「地域社会のためのお寺の活用アイディア募集」というコンペにあたり、アイディアの募集とあったが、実際にそれらを活用しようとした時にアイディアだけでは不十分と考え、このような形で応募させていただいた。

地域にしても、お寺にしても、そのあり方には種々様々な形態がある。その為、地域やお寺の特性を十分に考慮に入れなければ、様々なアイディアも十分に活用しきれないと考えられる。そこで様々なアイディアを十分に活用するための前提として、地域やお寺のあり方やその分類について、論じさせていただいき、その後「地域社会のためのお寺の活用アイディア」を列挙させていただく。

2. 地域社会のためのお寺活用について

1) 現状

現在、日本の社会は、総人口うち65歳以上の占める割合が7～14%を占める高齢化社会をさらに越え、その割合が21%を越える超高齢化社会となっている。また、その歪な人口構成を正すための対策も遅々として進まず、その割合は、これからも増加の一途を辿ると考えられる。また、一方で日本は少子社会でもある。少子社会とは、高齢者人口（65歳以上人口）よりも子どもの数が少なくなった社会と定義され、日本は1997年より少子社会になっている。また、2005年には、日本の総人口が戦後初めて自然減少した。

また、個人主義を中心にした社会の発展は、生活の上で他者に頼らなくても生きていける便利な社会を生み出した反面、他者に頼ることで生まれる「つながり」を軽視する生活スタイルを生み出した。

このような人口構成の異常、個人主義中心の社会の発展は、都市や田舎といった地域社会そのものの、あるいは、それぞれの人が拠り所としている家族、あるいは様々な人間関係にも多大な影響を及ぼしている。即ち無縁社会という言葉に表されるような、人と人とのつながりの希薄化、あるいはつながりそのものの欠如である。

3月11日に起きた東日本大震災により、日本全国で絆という言葉が大きくクローズアップされた。しかし、逆に考えれば、それまでは絆がまったく気にされない社会だったともいえるのではないだろうか。

そのような、つながりの希薄化の実例を上げれば、日本において60%近くを占める核家族世帯、隣に誰が住んでいるかも分からないマンション・アパートの生活、ニート・引きこもりと呼ばれる人々の増加、限界集落と呼ばれる地域の増加などのように、枚挙にいとまがない。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そもそも、つながりとは仏教においては「縁起」のことであり、人間の本质、社会の本质であると説くほど重要なものなのである。しかし、今の社会ではそのつながりが欠如し、まるで一人だけでも生きていけるかのような錯覚を、与えているのである。

つながりの欠如・希薄化は間違いなく、日本の社会に悪い影響を与えている。例えば、年間自殺者数3万人という異常事態が毎年のように続く社会や、孤独死なる現象が現れ、無縁社会と呼ばれるようになっていく社会の現状、生活困窮者の増加、結婚してもすぐに離婚してしまう夫婦、幼児虐待、高齢者虐待と、様々な社会問題が起きているが、これらの多くは人と人とのつながりの希薄化・欠如が原因であり、遠因となっている。

現在の日本社会を一言で表すなら、本来欠くことのできない、人と人とのつながりが欠けてしまった社会なのである。

多くの地域社会では、上記に上げたような問題を抱えつつも、それぞれの地域の活性化を重要な課題として認識し、様々な取り組みを実行している。ではそのように様々な取り組みられる地域活性化とは、いったい何なのであろうか。前述したつながりの欠如した現代社会をふまえて表せば、地域活性化系とは、つながりを再度認識し、より強固に結び直したり、新たなつながりを結ぶことにある。その為に、地域活性化の名の下に、対外・対内に向けて様々な活動・イベントが催されているのだ。

さて、地域活性化とは、このように意図され、行われるわけだが、一口に地域活性化といっても、その地域が抱えている課題・問題は千差万別である。人の多い都市部もあれば、限界集落と呼ばれるような地域もある。農業や漁業を主要産業にしている地域、工場の多い工業地帯等々。その地域地域によって生活スタイル、人とのつながり方、風習、慣習、伝統と様々な要因によって、生まれてくる課題や問題も全く異なるものになる。

そこで次章では、まず、全体的な視点から地域社会とそこのお寺について、を論じさせていただく。次いで、具体的なお寺活用のアイデアをリストアップし、最後にまとめを書いていく。

2) 地域社会とお寺の分析

一言に地域社会といっても前節で述べたように、その場所ごとに生活スタイル、産業構造、習慣、風習、そして抱えている課題や問題は様々である。また、その中にあるお寺に関しても、檀家寺、祈祷寺、あるいは観光寺の違いや、檀家の数、その地域の中での立場など様々である。そのため、日本各地にある全てのお寺に適用でき、かつ有効に使えるようなお寺の活用方法などというものは存在しない。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P3	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そこで、必要となってくるのは、その地域の状況を十分に理解し、お寺の持っている資産・潜在力をきちんと把握することである。その二つが十分に理解できたなら、自ずとその地域が抱えている問題が見えてくるだろうし、その問題が起きている原因も見えてくるだろう。そして、同時に、その問題に対してお寺が持っている潜在力をいかに使えば効果的なのが見えてくる。そこまで分かれば、あとは実際に、行動を起こせばよいのである。

以上のことをふまえた上で、本章では地域社会、お寺について、私なりの分析・分類を行っていく。

・地域社会の分析と分類

まず、地域社会の分析であるが、地域社会は大きく都市部と農村部に分けることができよう。東京や大阪といった都市部と私が住んでいる熊野地方では、その生活スタイルも必要とするものも、全く異なる。さらに、都市部、農村部それぞれの中においてもお店や商店が集まる商業地区なのか、住居の多い居住地区なのか、田んぼや畑の多い農業地区なのか、工場の多い工業地区なのか、あるいはオフィス街、繁華街、また学校といったように、その場所や建物の機能によって地域社会を分類できる。以上は、場所や施設、建物の観点からおこなった地域社会の分析である。

続いては、人口、あるいは人口構成である。

その地域には何人の人が住んでいるのか。そして、その内、男女の比率はどのくらいなのか、あるいは、子どもはどれくらいの割合で、大人はどれくらい、老人はどれくらいなのか。このようなことも十分に把握しておかなければならない。

年代や男女の割合と同時に大切なことが、それぞれの人がついている職業である。学生であるか、仕事をしているか、仕事をしていないのか。仕事をしている場合にはさらに詳しく知る必要があるであろう。職業はもちろん、できるならば職業形態もふまえて、どのような仕事をしている人が、どのくらいの割合でその地域にいるのか、これらも分析する内容に含まれる。

以上は、人という観点からおこなった地域社会の分析である。

最後に、時間の流れからみた地域社会の分析である。

どのような地域であれ、そこに人がおり生活や仕事を行っている地域には、時間の経過による大小様々なサイクルが存在する。例えば、一日のサイクル、1ヶ月のサイクル、一年のサイクル。その他にも、伊勢神宮で行われる20年ごとの式年遷宮のような、その地域独特のサイクルも存在するだろう。このサイクルを把握することも地域を分析する上で大変重要なことである。例えば政治家は選挙期間中、通勤時間に駅に立って街頭演説をする事が多い。これはそこに住む人々の一日のサイクルを把握しており、その時間、その場所に人が多く集まることを知っているからである。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P4	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

その地域の中で一日のサイクルはどのように動いているのか、あるいは一ヶ月のサイクルの中で行われる行事や集まりのようなものはあるのか、あるいは一年ごとのサイクルで行われる行事や催し物は何なのか、そして、その中で人々はどのように動いているのか、しっかり把握されなければならない。

以上が、時間のながれという観点からの地域の分析である。

最後に社会全体・地域固有の動勢、流行、ニーズといったものも、常に考慮に入れておかなければいけない。今社会が何を求めているのか、また、地域の人々が興味を持つものは何なのか、それらは社会の動きと共に、常に変化し続けている。上記の場所・人・時間の分析をふまえた上で、社会の動勢の把握も、地域社会を分析するさい、重要なポイントとなるであろう

・お寺の分析と分類

次にお寺の分析について述べていく。

お寺にどれほどの潜在力があるのか。これはお寺で生まれ、そこで育った人ほど分かりにくいのではないだろうか。お寺やその周辺が日常になりすぎていて、何が特別なのか気づけないのだ。地域社会のためのお寺活用といわれても、お寺の何が地域社会の役に立つのか気づけなくなってしまうのだ。そこで、地域社会の分析と同様、お寺自身についての分析も必要になってくる。

さて、お寺というものを考えた時、まず大きく、施設の側面と人のつながりという側面に分けることができよう。

施設の側面から見たお寺の潜在力の分析とは、文字通り、建物や周辺状況について把握することである。設備はどのようなものがあるのか。本堂の広さ、本堂内部の配置、本堂以外の部屋はどれくらいあり、どんな配置か、水回りはどうなっているか。また、境内についても、広さ、諸堂の有無、植えられている木や花は何で季節によってどう変化するか、石畳なのか芝生なのか、この他にも気づいたことは何でも分析・分類の対象となるであろう。お寺そのものの以外にも、お寺の立地状況、周りにどのくらい建物があるのか、お寺までのアクセス情報、お寺周辺の道路事情等々、地域社会の中でお寺がどのような位置にあるのかも重要な分析・分類の項目となる。以上が施設の側面からのお寺の分析・分類である。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P5	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

次いで、お寺を中心とした人のつながりという側面からの分析である。お寺を地域社会のために役立てようとする時、この人のつながりこそが、最重要のポイントとなるのではないだろうか。何となれば、どんな活動、集まりも人によって行われるものであり、人のつながり無くしては成立しないのであるから。さて、その人とのつながりであるが、お寺という組織は人とのつながりという点において、他の商店や会社のような組織にはない大きなアドバンテージを持っている。それは、つながりの深さである。お店や会社におけるつながりとは、基本的には物の売買を通してのお客さんと組織・お店というつながりである。そのため、そのつながりの深浅は、組織内部の社員や店主のそれぞれの接客態度や資質による。しかし、お寺の場合のつながりは、その人の生老病死、それぞれの人生の岐路に深く関わることを前提としており、おのずからお寺と人とのつながりが深いものとなりやすく、家族ぐるみでつながることも稀ではない。これこそが、他にはないお寺のアドバンテージであり、地域社会に役立つなにかの活動をする際の強力な武器となる。

では、お寺と人とのつながりというものを分析するとどうなるであろうか。先ず大きく、①お寺を信仰の対象とする檀家・信者、②お寺を生活の場とする寺族や僧侶同士、そして、③その他の出入りの業者や観光客、散歩に立ち寄る人等に分けられる。このうち、なんらかの活動をする際に、最も力になってくれるのは①、②に属する人たちとのつながりであろう。それでは、以下よりそれぞれの分類について細かく述べていく。

先ず、①お寺を信仰の対象とする檀家・信者に属する人たちについてである。この分類に属する人たちは、お寺という組織を日常的に支えてくれている人たちでもあり、お寺自身にとっても最も重要な人たちである。であるから、檀家・信者について、できる限り詳細な情報を得ておくことは、何を置いても最優先されなくてはならない。そして、同時にその情報は常に更新し続けていかなければならない。人は時間の経過と共に、常に変化していくものであり、抱えている悩みや苦しみ、問題や課題も常に変化しているのだから。そこで役に立つのが、昨今言われるようになった現在帳であろう。現在帳を作ること、檀家・信者の動勢を視覚化し、きちんと把握しておく。そして、その変化を常時更新することで、最新の情報として管理しておく。これがきちんと行われているなら、お寺と檀家・信者とのつながりは、自然に太く、深いものとなり、お互いがお互いの存在を身近に感じることだろう。現在帳の作成は地域社会に役立つお寺を考える際にも、強力な武器となるのだ。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P6	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そこで現在帳を作る上で、書かれるべきである情報の項目例も以下に列挙しておく。

【現在帳項目例】

氏名、住所、電話、fax、お寺から家までの地図、家族構成（同居人、親戚等）、誕生日、学校、学歴、仕事、職歴、過去帳的項目（故人、年齢、法号、祥月命日、葬儀日時、法話内容、場所）、お見舞い・法事・葬儀の記録（月日、法事の内容、法話内容、備考）、人生相談の記録（月日、内容、指導内容、結果、備考）

以上、上げた項目は、あくまで必要最低限と考えられるものである。その他、その人について気づいたことがあれば何でも記録しておくべきだ。その情報の積み重ねこそが、実際に活動する時の大きな力となる。また、何度も書くが、これらの情報は常に更新を続けなくてはならない。それこそがお寺と人とのつながりの強化であり、深化なのである。

次いで、②お寺を生活の場とする寺族や僧侶同士のつながりについてである。この分類に属する人とのつながりは、①の分類の人たちとは別の側面で、大きな力となる。①に属する人たちが、お寺から見て対外的な側面が強いのに対して、②に属する人たちは対内的側面が強いのだ。では、具体的に②に属する人たちとはどのような人たちであろうか。まず上げられるのは、お寺に住んでいる住職とその家族、そして、その親戚たちである。場合によってはつながりの深くなった檀家・信者がこの分類に入ることもある。これらの人たちこそが、お寺が何か活動をおこなう際の中核となる。次いで、僧侶同士のつながりである。同じ地域に住む同業者、隣町のお寺さん、同じ県内のお寺さん、あるいは、大学や修行場で苦楽をともにした旧友。このような同業者のつながりも、同業者であるがゆえに、様々な悩みや困難を共有でき、助け合っていくことができる大切なつながりである。以上のように、①に属する人たちがお寺で行う活動の対象になることが多いのに比べて、②に属する人たちは様々な活動を行う時に頼もしいバックアップとなることが多いのだ。

最後は、③その他である。この分類に属する人たちとしては、様々な活動に際して初めてお寺に来る人や観光客、散歩に立ち寄る人、出入りの業者等があげられる。これらの人たちは、①、②に属する人たちに比べて、お寺とのつながりが薄い、あるいは全く無いことが特徴となる。その為、宣伝・広告等を何も行わなかった場合、もっともつながりが作りにくい人たちである。しかし、その困難を乗り越えることができたなら、地域にとっても、お寺にとっても非常に大きな可能性となる。であるから、地域社会の活性化のため、お寺が対外的な活動をおこなう際には、広告・宣伝にも気を使い、この分類に属する人たちにも、十分気を配る必要がある。

以上、お寺の持つ資産・潜在力ということについて、人とのつながりという側面からの分析をおこなった。

次章では、具体的なお寺活用のアイデアを列挙していく。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P7	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

3. お寺活用アイデア

1) お寺活用アイデアについて

本章では、お寺を地域活性化のために利用するための様々な活動・イベントについての具体的なアイデアを列挙していく。それぞれのアイデアには、そのアイデアの概要、目的、期待される効果、おおよその期間、対象となる人々の年代を記してあるので、実際に活動される際には参考にされたい。

なお、これらアイデアはあくまで、活動・イベントの核にしかすぎない。場合によっては他のアイデアと組み合わせたり、内容をアレンジしたりすることも十分にできるので、前章のような分析に基づいた各地域やお寺の状況・状態に合わせ、それぞれのアイデアを自由にアレンジしていただきたい。

2) お寺活用アイデア一覧

1 【お寺でコンサート】

概要：本堂を使用しておこなう様々な楽器によるコンサート。

例…クラシック、民族舞踊、ジャズ等のコンサート

目的：お寺という場に親しみを持ってもらう。

効果：本堂という通常とは違う雰囲気の中で音楽を聴いてもらうことで、一般のコンサートホールやライブハウスにはない独特な空気を作り出すことができ、新鮮な体験を味わってもらうことができる。これにより、会場のお寺に従来までの近寄りがたい、や敷居が高いといったイメージを変え、より地域の中に密着したものにすることができる。また、演奏家側にも通常とは違う場所でのコンサートに、お寺への親しみ、演奏家自身の新しいイメージを生み出すことができる。

期間：半日、御会式、お施餓鬼等の法要の後の数時間

対象：全年齢

2 【学習塾】

概要：本堂、あるいは客間等を使用した学習塾。形態として受験を目標にした形態、学校での授業の補習を目標にした形態が考えられる。

目的：勉強を教えていく過程で、学校、通常の塾では軽視されがちな、倫理道德、モラル等も指導する。また、子ども、学生といった若い世代に、お寺に親しんでもらう。

効果：子どもの成長の中にお寺の存在を加えることができる。また、お寺を支えていく信徒青年団へと繋げていくこともできる。

期間：1年～

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P8	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

3【図書館、図書スペースの設置】

概要：本堂、あるいはお寺内の一室、一面に図書ブースを作る。そして、仏教書、一般書等を並べた本棚を設置し、本の閲覧・貸出を自由に行う。また、その一部として閲覧・自習スペースを設けることも考えられる。

目的：檀家、一般地域住民の知識向上。知的好奇心の発育。また、お寺に足を向ける理由にもなる。

効果：身近にあるお寺に、簡単に閲覧することができる本があることにより、それまで本を読まなかったような人にも手に取ってもらいやすくなり、また本を読むことにより知識の向上を図ることができる。仏教書のみならず、一般書を置くことで、新たな興味を持ってもらえる。さらに設置する本に漫画、絵本、ライトノベルのような子ども向けの本も含めることで、子どもにまで対象を広げることができる。

期間：無期限

対象：全年齢

4【お茶会・カフェスペース・喫茶ブース・ラウンジ・オープンテラス】

概要：本堂、境内を使い、お茶会を開く。あるいは常設型のカフェ・喫茶スペースを設置する。

目的：人の集まりやすい場所、集まりたい場所を、本堂、境内を開放して設置し、様々な人を集める。そして、お茶と共にゆっくりした時間と参加者同士の交流・会話を楽しんでもらう。

効果：お茶と共にまじわされる会話により、コミュニティ内部のつながりの強化が考えられる。また雑談等の中から地域社会内部の様々な情報を得ることもできる。

期間：無期限

対象：20～50代

5【放課後の遊び場】

概要：小学校、中学校、高校の授業終了後の遊び場、勉強の場所として境内を開放する。

目的：安全な境内を遊び場とすることで、親や子どもが安心して遊べる場を提供する。

効果：子ども達に仏教に基づく倫理道徳を学ばせることができる。子ども同士の、学校を越えてのつながりができる。子どもの成長過程にお寺が関わるきっかけとなり、よりモラルの高い青少年育成に繋がる。

期間：無期限

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P9	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

6 【カルチャースクール】

概要：お寺の持つ人脈を生かし、様々な文化・教養を持つ人を講師に定期的なカルチャースクール、講習会を行う。

例…茶道、華道、ビジネスマナー、地域の歴史、パソコン教室、ヨガ、英会話、写真講座、囲碁、将棋、書道等

目的：お寺の人脈を地域に住む人々と繋げ、それぞれの人に有意義に活用してもらう。

効果：お寺の、これまでとは違った側面を見せることができる。様々な文化を学ぶことに対して、移動や資金の面であきらめていた人々に、敷居を低くして参加してもらうことで、新しい事を学ぶ満足感を得てもらうことができる。

期間：3ヶ月～1年

対象：20～70代

7 【修行会・修行道場】

概要：短期間、短時間で簡易的な修行体験を行う。

修行例…勤行、唱題行、写経、作務、水行、

目的：癒しというような心の安心が求められることが多かった昨今、修行を通して、心に平安、平穏を取り戻してもらい、それからの日々の生活の助けとしてもらう。

普段なじみのない仏教とその実践に触れてもらうことで、仏教に興味を持ってもらい、また、仏教が日々の生活に役立つことを感じてもらう。

効果：それぞれの生活の中に仏教とその実践を取り入れるきっかけとなり、心安らかに日々を送るきっかけとなる。お寺、僧侶とのつながりができることで、それからの法事や葬式、お寺での行事への取り組み方も変化してくる。

期間：1日～1週間

対象：20代～

8 【朗読会・読み聞かせ会】

概要：本の朗読会、また、幼児、小学生対象の読み聞かせ会を本堂でおこなう。

目的：知育、知識向上。普段本に接することが少ない人に物語の面白さ、楽しさに触れてもらう。また、普段本を読む人にも、耳から物語を聞くという新しい体験を経験してもらう。

効果：物語の内容、面白さが耳から直接伝わることで、それまで本に接することが少なかった人も、本を読むきっかけとなる。ひいては知的好奇心の増進、知識の向上にも繋がる。

期間：半日

対象：全年齢

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P10	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

9【写経・写仏・仏像制作の会】

概要：お経を自らの手で書き上げる写経や、仏の絵を書く写仏、また彫刻刀で自ら仏を作る仏像制作等の行為を、本堂という場で行う。

目的：写経、写仏、仏像制作を通して、自らと向き合い、乱れた心を整え、心の平安を取り戻す。

効果：お経や仏像と真剣に向き合うことで、それまでとは違った見方が、お経や仏像に対してできるようになる。よりお経、仏像を身近なものとして感じられるようになる。

期間：半日～1日

対象：20代～

10【アマチュア趣味人の展示会、各人の趣味紹介】

概要：お寺を展示会場と見立て、様々なアマチュア趣味人の展示会を行う。また同時に展示を行った本人による講習会、体験会等を行う。

発表・展示例…写真、絵、陶芸、アロマテラピー、書道、詩、活け花、水墨画、彫刻等

目的：同好の志の交流。その趣味に興味を持っている人には、より詳しく知ってもらえる場となる。また、全く知らなかった人にも興味を持ってもらう。地域社会内の趣味を通したつながり作り。

効果：色々な人の色々な趣味を展示・発表する場を提供することで、発表者は刺激と向上心を得られ、見に来てくれる人には、自分の知らなかった趣味との出会いとなる。趣味を紹介することで、お互い同士をより深く知り合える。

期間：1日～1週間

対象：10代後半～

11【田舎暮らし移住支援・移住体験】

概要：田舎に暮らしてみたい、農家になりたいといった人を対象にした、衣食住から人付き合い、田舎暮らしのノウハウまで含めた移住支援。あるいは、田舎暮らし、農家体験。

目的：田舎暮らしをしたいが、不安だという人に、様々なサポートを行うことで、より長く、安心して田舎に移住してもらい、その地域の活性化に繋げる。

効果：閉塞感の強い農村部に他の地域から人を迎えることで、新しい変化をもたらす。田舎移住を考えている人には、安心感を与え新しい一歩を踏み出す後押しになる。同時に迎える側も、それまでのマンネリ化した生活から、新しいつながりを育て、成長させる生活に変化し、日々の生活に意欲が生まれメリハリを与え、より生き甲斐のある生活になる。

期間：半年～数年

対象：30～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P11	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

12【農業体験】

概要：檀家、あるいはお寺周辺の農家と協力して、それまで農業体験をしたことがない人々に畑を耕す、種を植える、収穫する等の農業体験をしてもらう。

目的：普段食べている野菜や果物がどのように収穫されるのか体験してもらう。食べ物のありがたさの再確認。いただきますの心を取り戻す。

効果：食べ物の大切さを再認識できる。

期間：半日～1日

対象：10～60代

13【お葬式セミナー・臨終行儀・エンディングノート作成】

概要：お葬式そのものの意味や読まれるお経の内容、祭壇に飾られる様々なものの意味をセミナー、講習会の形で説明する会。また、実際にお葬式を体験する体験型セミナー、講習会。その一環として自分自身の死に対しての終活支援（エンディングノートの作成等）を行う。

目的：お葬式やそれに付随する様々な儀式の意義、必要性、大切さを理解させる。避けることのできない死について、きちんと考える時間を持つ。

効果：普段考えることのない死について、考えるきっかけとなる。死を実感、体験することで周囲に対する優しさ、思いやりが生まれるまた自分自身の生活においても、死を意識することでメリハリが生まれてくる。

期間：半日～1日

対象：20～60代

14【スポーツチャンバラ】

概要：境内を開放して行うスポーツチャンバラ。あるいは新聞紙等を丸めて作った紙製刀によるチャンバラごっこ。

目的：スポーツ振興。子ども達の体力・健康の増進。子ども同士のつながりを広げ、深める。

効果：外で走り回って遊ぶ子どもが少なくなった昨今、チャンバラという単純ながらも、熱中できるスポーツを通して体力の増強、健康の促進を図れる。また団体戦形式で遊ぶことで、子ども同士のコミュニケーションが深まる。

期間：1時間～半日

対象：10代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P12	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

15【町内清掃】

概要：お寺周辺、あるいは地域全体の清掃作業を地域住民と共に定期的に行う。

目的：周辺地域をきれいに保つ。また同じ作業を共同して行うことで地域社会の中での人と人のつながりを再確認する。

効果：町がきれいに維持されることで、そこに住む人の意識も健康に保たれる。またそれらを自分の手で行うことで地域社会への愛着、周辺住民との深いつながりを感じることができる。

期間：無期限

対象：全年齢

16【手製お守り作り】

概要：参加者自身に一からお守りを作ってもらい、その場で参加者と一緒にお経を唱え、ご祈祷をしてお守りを以て帰ってもらう。

目的：普段持つお守りにより愛着を持ってもらう。自分が持つお守りにはお経が読まれていることを自覚してもらう。

効果：普段何気なく買ったりするお守りを、一から自分の手で作ることで、お守り、ひいてはご祈祷をする仏さまにより親しみ、愛着が持てるようになる。そして、お守りの加護をより感じられることで、日々の生活に安心を感じられる。

期間：1時間～半日

対象：20～70代

17【タイムカプセル】

概要：境内の一面に、希望者の記念品などを入れたタイムカプセルを埋め、石碑、記念碑を立てて数年後～十数年後に開封する。

目的：子どもの頃の思い出、夢を、境内に保存することで、その周辺地域への愛着を持たせる。また、その地域に対して、タイムカプセルを何年後かに開封するというつながりを持ってもらう。

効果：タイムカプセルというつながりを持つことで、成長過程において地域に対して愛着、親しみを持つことができる。実際にタイムカプセルを開封した時に、子どもの時のつながりを再度結べたり、過去とのつながりを結び直すことができる。

期間：数年～十数年

対象：10代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P13	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

18 【職業紹介・講習、体験】

概要：それぞれが就いている職業の紹介。あるいはその職業技術で生活に役立つものを講習形式で教えてもらう。

目的：互いの職業理解。より深いコミュニケーション。

効果：それぞれが就いている仕事について理解することで、お互いの理解が深まり、より深いコミュニケーションを行える。また自分が就いている仕事を他者に紹介することで、自分自身もそれまで気づかなかった新たな側面を発見できる。講習を聞いた側は専門家から学べるので知識向上にも繋がる。

期間：半日～一日

対象：30～60代

19 【精進料理、郷土料理教室】

概要：精進料理、あるいはその地域に伝わる郷土料理を教わる料理教室。

目的：精進料理教室を通して仏教の精神を学ぶ。郷土料理教室を通して、その地方の歴史や伝統を学び継承していく。参加者同士の交流。

効果：精進料理を学ぶことで、普段の食も変化していき、食、ひいては健康に対する意識を変えることができる。

伝統料理に触れることで、郷土愛、地元への愛着を生み、また先人から学ぶということを通じてコミュニティのつながり強化になる。

期間：半日～一日

対象：20～30代

20 【瞑想】

概要：ヴィパッサナー瞑想、マインドフルネス瞑想法、チベット仏教の瞑想法等を本堂のような清浄な空間で行う。

目的：瞑想を行うことで、日常生活で見過ごしている様々な気づきを得て、心の平静を取り戻す。

効果：心に平静、安心が戻ることで、日々積み重なる様々なストレスの軽減になる。

期間：1時間～一日

対象：10～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P14	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

2 1 【朝夕の声かけ活動】

概要：朝夕の通学時間に、お寺の前や周辺で通学中の学生達に声かけを行う。

目的：地域の安全向上。学生のモラル向上と同時に、学生達とのつながりを結ぶ。

効果：大人の目が子供に向けられていることをしっかりと形で表すことで周辺地域の安全性が上昇し、学生、またその親たちも安心して生活できる。大人達の目がきちんと自分（学生）に向いていることを自覚し、支えられている、繋がっているという安心感と同時に学生自身のモラル向上になる。

期間：毎日

対象：学生全般

2 2 【ペットパーク・広場】

概要：境内の一部を解放し、ペットを自由に遊ばせることのできるフリースペースにする。

目的：ペットの運動場。飼い主同士の交流。

効果：ペットの運動不足解消。飼い主同士がコミュニケーションを取ることで、様々な情報交換ができ、地域のつながり強化にもなる。子どもにも開放することで、ペットと触れ合える場にもなる。

期間：毎日

対象：10～60代

2 3 【墓地ガーデニング】

概要：各家の墓地区画それぞれにプランター等を置いてガーデニングが可能なようにし、希望する家庭には自由にガーデニングを行ってもらう。また、お寺側は、ガーデニングの管理のバックアップや、共同して使える資器材の管理を行う。

目的：お墓に定期的に通ってもらう。ガーデニングを通して、土いじり、自然とのふれ合いを体験してもらう。

効果：お墓に定期的に通うことによって、家族のつながりの強化になる。また、お墓でも生花やお菓子をお供えすることが規制されている昨今、お墓を飾る彩りとなる。

期間：1年

対象：20～70代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P15	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

24【境内ガーデニングスペース】

概要：境内の一区画をガーデニングスペースとして、開放し希望者に自由にガーデニングをしてもらう。あるいはお寺側が指揮しガーデニングスペースを管理し、ガーデニングスペースの花が見頃の時期には人を集め観覧会、散歩会等を行う。

目的：共同作業を通しての地域社会のつながり強化。景観美化。花と接することによる癒しの体験。

効果：マンションやアパート住まいで庭を持っていない人でも気軽にガーデニングを楽しむことができる。また花の生長に合わせて様々な作業を行わなければいけないため定期的にガーデニングスペースにて作業を行う必要があり、様々な人と接する機会にもなる。

地域社会の景観に彩りを添える一助にも成る。

期間：1年

対象：20～70代

25【フリーマーケット、物産展】

概要：本堂、境内を開放し、フリーマーケットや物産展等の会場とする。

目的：地域社会の活性化。様々な物品を、必要のない人から必要のある人へ結びつける場。

効果：様々な人が色々な物を持ち寄り、売り買いすることで地域全体に活気が広がる。地域社会のつながりが強化される。

まだまだ使える物の有効活用ができる。もったいないという精神が育成される。

期間：半日～1日

対象：10～60代

26【境内散歩の会、森林浴】

概要：ある程度境内が広い場合は境内内をゆっくり歩行による瞑想を意識しつつ散歩する。また地域内に自然公園や遊歩道がある場合でも、同じようにその中を、歩行による瞑想を意識しつつ散歩を行う。

目的：散歩による地域の自然の再認識。散歩による癒し・リラクゼーション。

効果：散歩をしながらの交流で参加者同士の親交が深まる。また、いつもは通り過ぎるだけの風景を、ゆっくり散歩をしながら眺めることで違った視点で見ることができ、気づきのきっかけになる。地域のことを知ることで、その地域への愛着が増す。

期間：1時間～半日

対象：20代～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P16	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

27【異業種交流会】

概要：お寺周辺の地域で、様々な職業に就いている人たちを集め交流会を行う。

目的：お互いの職業について理解を深める。他者の職業を知ること、その人のことをより詳しく知り、つながりを深める。

効果：異業種間で交流を深めることで様々な視点、価値観を得ることができ、参加者それぞれがスキルアップを図れる。地域の人たちと交流することで、地域の理解が進み、より愛着がわく。

期間：1時間～半日

対象：20～40代

28【仏教に基づく生活講座】

概要：仏教経済学、少欲知足、地産地消、自給自足など仏教に基づく生活を実践するための講習会。

目的：生活のスタイルを見直すきっかけ。エコロジー等が盛んに言われる現代において、仏教的見地から見た自然に優しい循環型の生活を紹介する。

効果：仏教の教理を学ぶと同時に、その実践方法として環境負荷の少ない生活スタイルを学ぶことができる。自分の生活がいかに関や自然とのつながりの上で成り立っているのか、再確認ができ、過度な欲望を抑え、自然に自然や社会に優しい生活へと変化できる。

期間：1時間～半日

対象：20～40代

29【断食体験】

概要：きちんと計画され、管理された断食を行うことで、身体に負担が少ない形で内部から身体がきれいになることを実践する。

目的：身体を内部からきれいにする。食に対する欲望を制御、我慢することを通して精神修養をはかる。食のありがたさの再認識。

効果：身体が中身からきれいになることを実感すると同時に、普段の食生活がいかに関自身自身の身体に汚れを与えているのかを感じることができる。食べ物のありがたさ、それを用意してくれる全ての人に対する感謝の心がおきる。

期間：1日～10数日

対象：20～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P17	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

30【人材スキルマッチング】

概要：あるスキルを持つ人と、そのスキルを必要としている人たちをマッチングさせる、登録制のシステムをお寺で管理運営する。マッチングの際、お金を介在させないというシステムの組み方も考えられる。

目的：人と人との交流の促進。お金依存型社会からの脱却。

効果：人に頼り、頼られるという関係が自然にでき、地域社会のつながりをより実感できる。同じ地域に住む他人がどんな職業に就いているのか知るきっかけになる。

期間：半日～数日

対象：20～70代

31【家系図作り】

概要：家系図を作るための様式・テンプレートを用意し、家族参加のワーク形式、あるいは、それを渡し帰宅後それぞれに作業をしてもらう形で、各家庭の家系図を自分で作ってもらい、自分のルーツ、家族のルーツを理解してもらう。

目的：自分自身のルーツを知る。家族のつながりの再確認。先祖の大切さの再確認。

効果：両親はもちろん祖父母やその父母を家系図という図にしてまとめることで、自分が一人で生きているのではなく、つながりの中で生きていることを実感できる。家族間で会話を促進するきっかけとなる。法事やお盆に対する意識も変化し、より積極的になる。

期間：半日～1日

対象：10～30代

32【目標実現のための誓いと実現過程報告の会】

概要：目標実現のためのワークグループを作り、を本堂等にメンバーを集め、定期的な会を実施する。具体的な内容は、ある一定の期間を定め、その日までに叶えたい目標を発表し、その実現のためにこれからどのようなスケジュールを行っていくのかを皆の前で発表しあう。そして、その期間までの間に定期的にメンバーが集まり目標達成までどれだけ進んでいるのかを発表しあう。聞いている方は、発表の中で気づいた問題点を指摘したり、より有効なアドバイスをを行い、発表者の目標実現までをしっかり見守っていく。そして、最終的に定められた期日までに目標を実現していく、というもの。

目的：各人の目標を実現することで、より充実した人生を歩んでもらう。目標を複数の人とで共有することで目標実現の可能性を高める。

効果：一人では諦めてしまう目標でも、他人と共有することで高いモチベーションを維持でき目標実現につながる。また目標実現に向けて前向きに日々を送ることができるため、生活そのものの質も向上し、ひいては地域社会全体の活性化にもつながる。

期間：1年間～5年間

対象：20～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P18	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

33 【家族・友人への手紙のすすめ】

概要：遠くに離れて暮らしている家族や友人に季節の便りや手紙を定期的を送ることをすすめる。その為の手紙のテンプレート作成や配布、皆で集まり手紙を書く会のような集まりをお寺で行う。

目的：進学や仕事等で家族の元を離れることになった家族や、遠くにいる友人とのつながりの維持。地域の情報の発信。

効果：地域から離れてしまった人でも、手紙や便りをもらうことで、その地域のことを思い出す。また、遠く離れていても自分は一人ではない、ちゃんとつながりがあるんだと自覚することができる。

期間：1時間～半日

対象：10～70代

34 【お寺・地域の新聞の発行】

概要：地域に関連するニュースを発行し、道の駅、観光スポット等に置かせてもらう。また元々その地域に住んでいた人などにも郵送し、地域のことに関心を持ってもらう。記事内容等は地域に住んでいる人たちにお願いし書いてもらう。

目的：地域の情報の発信。地域とのつながりが疎遠になってしまった人に、再度地域に関心を持ってもらう。地域の魅力の再発見。

効果：地域に住んでいる人ならではの情報を発信することで、その地域の魅力が広まる。その地域を離れてしまった人にも、地域の変化を伝え、郷愁を呼び起こし地域に関心を持つようになる。その地域の人たちが自ら新聞を作ることで、当たり前のことや日常だったものに新たな気づきを得ることができる。

期間：1ヶ月～数ヶ月おきに定期的

対象：全年齢

35 【作務衣・着物・浴衣作り】

概要：作務衣や着物、浴衣を自分の手で作る集まり。その会場として本堂やお寺の一室を開放する。

目的：同じ作業を一緒にすることによる交流。伝統文化の継承。服作りを通してリサイクル、「もったいない」の精神を感じる。

効果：服作りを一緒に行うことで交流が深まり、参加者同士のつながりが深まる。作務衣や着物、浴衣を自作することで、それらを着る機会が少ない人にも興味を持ってもらえる。着なくなった着物を再利用することでリサイクルの実践になり、また、それを残してくれた人たちとのつながりを実感する機会にもなる。

期間：1時間～半日の会を定期的に

対象：10～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P19	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

36 【マイお経本作り】

概要：白紙のお経本、あるいはルーズリーフのようなお経本を使い、自分で写経をしたお経本を作る会を定期的に行う。その際、お経の意味や仏教の思想の解説等を行うのも良い。

目的：お経本作りを通して、その内容や仏教思想の勉強を行う。お経、あるいはそれを読むことに親しみを持ってもらう。

効果：自分でお経本を作り、それを持って法事や行事に出ることでお経を読む時の気持ちや法事や行事にのぞむ姿勢がより積極的になる。また、定期的に集まりを行うことで、参加者の交流が深まる。

期間：1時間～半日の会を定期的に。

対象：30～70代

37 【昔語りの会】

概要：その地域に長い間住んでいた年配の方に昔、その地域でどんなことがあったのかお話ししてもらう。数人で座談会のような形でおこなってもよい。できるだけ年配の方々が自然に話せるような場を作る工夫が必要。

目的：地域の歴史を知ることによる、地域とのつながり強化。年配の方が持つ潜在力の発揮。年配の方と若い世代の橋渡し。

効果：地域の歴史をじかに聞くことにより、自分たちの住む地域により愛着が湧く。それまで接することの少なかった年配の方と接することで、新しいつながりが生まれ、地域が活性化するきっかけとなる。。

期間：1時間～半日

対象：10～80代

38 【自分の戒名を考えよう】

概要：自分の死後、つけられる戒名を自分で考える会、あつまり。年一回のように定期的におこない、自分の人生を振り返る機会にしてもよい。

目的：戒名の本来の意味を理解する。死を身近に考えることによって生を充実させる。

効果：自ら戒名をつけることで戒名に関心を持つようになる。自分の死後を考えることで、死の準備、心構えが養われる。また、死の実感、生の実感にもつながり、日々の生活を瑞々しく輝かせる。

期間：1時間～半日

対象：40～80代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35才	男性
NO.189	P20	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

39【アナログゲーム交流会】

概要：将棋や囲碁、麻雀、あるいはモノポリーのようなボードゲームのようなアナログゲーム遊ぶ会、あつまりを本堂、お寺の一部屋等を使い開く。

目的：ゲームを通して人と人との交流をはかる。伝統的な遊びの継承。

効果：顔を合わせてゲームをすることで交流が深まり、地域社会のつながりの強化になる。子どもも参加させることで、老人から子どもへ遊び文化の継承がおこなわれる。また、デジタルなゲームしか知らない子どもにとっては、新鮮な面白さとなる。

期間：半日～1日、定期的に

対象：10～70代

40【無人市場】

概要：境内の一画に無人市場用のスペース、売り場を設置し、お寺で管理する。

目的：新鮮な野菜の流通。農家が収穫した野菜等の売り場確保。

効果：定期的に無人市を開くことで、周辺の人々の食生活の向上に役立つ。また農家にとっても売り場が増えるので、やる気と共に生活の質も向上する。

期間：毎日、週一回、のように定期的におこなう。

対象：30～70代

41【中学・高校・大学の部活・サークル対象の精神修養】

概要：中学・高校の部活（運動部系など）や大学の運動部系サークルを対象に唱題行や読経、寒行、水行などをおこなわせ、精神修養の一環とする。

目的：学生の精神修養。

効果：精神修養、修行体験を通して規律・規範を守るということを覚え、モラル向上になる。厳しい修行をやり遂げたという経験は、学生達が困難に出会った時の大きな力になる。

期間：半日～一週間

対象：10～20代

42【中学・高校の部活と連動した活動】

概要：中学・高校の部活の発表・活動の場としてお寺の境内、本堂を開放する。それぞれの企画はできるだけ学生たち主導でおこなう。

例…茶道部のお茶会・野点、美術部・写真部・書道部などの展示会、演劇・演奏会など

目的：学生にとっての新しい表現の場所としてお寺を提供する。

効果：学生たちが自ら企画を考え、それを実行するために協力し合うことで学校での活動だけではできない経験ができる。

期間：半日～2、3日

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P21	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

4 3 【仏前結婚式の紹介、体験セミナー、お見合い仲介、婚活支援】

概要：お寺でおこなう仏前結婚式を紹介するセミナー、あるいは実際に体験できる体験会をおこなう。また、その一環としてお寺の人脈を使ったお見合いの仲介や、婚活パーティーのような婚活支援もできればなおよい。

目的：若者達の結婚の支援。

効果：結婚支援を積極的におこなうことで、少子化対策となる。また、地域の中で新たなつながりが生まれるきっかけとなる。

期間：半日～1日

対象：20～30代

4 4 【仏像パー、カフェ】

概要：お寺の雰囲気を取り入れた空間を作り、様々な仏像を展示し、お酒やお茶を提供する。店舗を構える場合とお寺の中を利用する場合とが考えられる。お坊さんならではのお説教や法話をメニューに加えるのもよい。

目的：地域交流ができる場の提供。様々な仏像の展示、鑑賞。

効果：お酒やお茶を交えて交流することで、つながりがより深くなる。穏やかな空間で様々な仏像を鑑賞することで、心の平安、安らぎが得られる。

期間：店舗型の場合、毎日。お寺の一画を利用の場合は、週一回や月一回のように定期的に。

対象：20～70代

4 5 【法要荘厳への参加、その為の練習会】

概要：花祭りやお施餓鬼、御会式などの季節ごと、節目ごとの法要に際して、法要荘厳（散華、楽、太鼓、稚児行列など）をやってもらうメンバーを集め、定期的に練習会をおこなう。そして、法要本番にも法要荘厳として参加してもらう。

目的：伝統行事の継承と振興。それぞれの行事の意味を理解する。

効果：お寺が催す伝統行事に積極的に参加することで、その意味や歴史を知り、伝統行事の継承に役立つ。同じ目標に向かう仲間ができることで地域内の交流が活発になる。

期間：1時間～半日程度の練習会を、週一回、あるいは月一回といった間隔で定期的に。

対象：20～50代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P22	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

4 6 【映画、ビデオ上映会】

概要：本堂にてプロジェクター、スクリーンを使い映画の上映会をおこなう。娯楽としての映画鑑賞だけでなく、ドキュメンタリーなどの映画を上映し、知識向上を目的とすることも考えられる。

目的： 娯楽提供。知識向上。

効果：映画館がないような地域では、地域の人々にとっての娯楽になる。趣味嗜好が似た人々が集まるので、その人達の交流の場となりやすい。

期間： 1 時間～3 時間

対象： 1 0 ～ 7 0 代

4 7 【送迎、循環バス運行】

概要：お寺や地域内での行事に際して、マイクロバスやハイエース等の大型車両にて送り迎えをおこなう。

あるいは、お寺が中心となり、地域の人々にメンバーとなってもらい乗り合いバス・車を相互に利用し合う集まりを作る。そして、遠出をするために車を利用したい人と、お寺で手が空いている人が運転手をするか、メンバー内で運転できる人をマッチングさせる。また運行情報を電話、ネット等で連絡することで、相乗りしたい人も見つける。

目的：地域内外での移動が困難な人への移動支援。高齢者への定期的な声かけ。

効果：運転が困難になりなかなか外に出なくなった人も移動手段があることによって生活にメリハリができる。このシステムを利用してくれる人たちとは定期的に会うことになるので、それぞれに自然に声かけができ、体調が悪くなった場合にすぐに対応できる。また、孤独死などを防ぐこともできる。

期間： 毎日

対象： 運転手… 2 0 ～ 5 0 代、利用者… 6 0 ～ 9 0 代

4 8 【ハンモックで昼寝会】

概要：折りたたみ式ハンモック、簡易式ハンモックなどを、仕切をした境内（芝生などを敷くことができればなお良い）の一面などに設置して、自然を感じながらリラックスしてもらう昼寝会のようなものをおこなう。

目的：自然と親しむ中で、心の平安、安定を得る。ゆったり流れる時間を体験する。癒しの体感。

効果：ハンモックでのんびりする体験を通して、生活リズムをリセットすることができ、それ以後の仕事や生活への活力を生み出す。

期間： 半日～1 日

対象： 2 0 ～ 6 0 代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P23	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

49【親子会】

概要：親と子が心おきなく遊べる場として本堂、あるいは境内を開放する。あるいは親と子が協力して行う作業や遊びをイベントとして企画する。

目的：親と子のつながり強化。子を持つ親同士の交流。子ども同士の交流。

効果：遊びや作業を親と子が一緒におこなうことにより、親子のつながりがさらに強化される。また、親同士が子どもに関する様々な悩みを共有することで、育児の助けにもなる。

期間：1時間～1日。定期的におこなう。

対象：子どもとその親

50【夏祭り、正月等での境内開放、実行委員会方式での運営】

概要：お寺の境内を開放して、季節のお祭りや農作物の収穫祭、正月の初詣など人を集めるイベントをおこなう。その際には実行委員会を立ち上げ、できるだけ地域の人々に運営から関わってもらう。

目的：様々なイベント・お祭りに地域の人々に主体的に参加してもらう。地域の人々の交流活性化。

効果：自分たちでイベント・お祭りを運営することにより、地域への愛着が生まれる。また、日々の生活にもメリハリが生まれ、モチベーション向上にもなる。

期間：実行委員会として1年間、定期的にあつまる。イベント・お祭り自体は1～3日程度。

対象：20～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P24	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

4. まとめ

地域の活性化とは、そこに住む人々の人生がより良いものとなり、笑顔が絶えず、日々の生活が充実していることを目標とするべきである。主役はあくまで地域の人々の生活でなければならない。そして、地域社会のために行われるお寺の活用も同様でなければならない。

昨今、地域活性化とは、沢山の人や物をその地域に集めること、あるいは地域の物を売ってお金を儲けることであるというような印象が強い。しかし、物やお金といったものは、あくまでもその地域に住む人々の生活をより良く向上させ、幸せに生活するための手段に過ぎない。しかし、物やお金を求めすぎることが、その地域に住む住民の幸せを、逆に奪ってしまうことがたびたびある。

良質な地域住民の生活や人生の幸福には、何を置いても人それぞれのつながりが重要となってくる。人を人たらしめているのは、他の存在（この場合の存在とは、人に限らず、動物や植物、情報や知識も含まれる）とのつながりなのである。人が、今の状態から別の状態に変化する原因は、他の存在とのつながりの中にしかない。今の状態から幸せな状態になれるのは、良いつながりがあるからである。今の状態から悪い状態になってしまうのは、悪いつながりがあるからなのである。

地域社会のためのお寺活用を考える時も、当然このつながりの重要性を無視することはできない。地域をより良く活性化させようと思うのなら、良いつながりを重視した活動をしていかなければならないのである。先に挙げたアイディアのリストについても、人と人とのつながりという視点から、活動を行われなければ全く意味をなさないのである。その点では、つながりの重要性を最も理解しているお寺・お坊さんは色々な活動・イベントを行う上では最適なのである。

それらをふまえた上で、地域社会・お寺の分析・分類をしっかりとこない、現状を十分に把握し、リストアップしたそれぞれのアイディアを、分析・分類にもとづきアレンジしていただき、自由に活用してもらいたい。

乳幼児、児童の時間預かり		不明	不明
NO. 201	P1	同じ趣味の会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化 一般年中行事／情報発信	
			⇒ジャンルへ

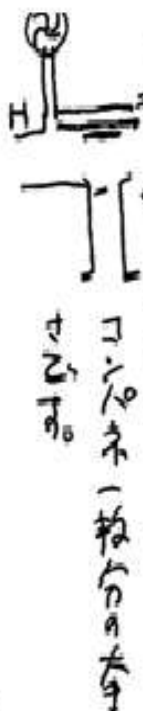
地域社会のための、お寺の活用アイディア

家内は元保育師。寺内で役立つ仕事を探そう。乳幼児、児童の時間預かりを実施。一時間〇〇円から、四、五日何回、何年もの例もあり。入園まで預り、母、祖父母、若い母と子のグループの集いがあり、接触あつて、遊ぶ所など（又は少ないとある）そこで境内開放し、毎春秋深いのこ、焼芋大会と昼食会実施。本堂でお昼寝。フリマ、演芸会も以前はしたことあり。カルタ大会も。

知名度も、お寺の姿勢を力に、こまめに知らせることも実施。

丁字路つまり当り、ガードレールに、場末板屋等と行事を看板を

す。等一軒停ぶしますから、



地元新聞に不要本と其の冊子、文庫、新刊、コミック絵本、このついでに八月一日まで